

江別市子ども・子育て支援に関する ニーズ調査報告書

平成31年3月

江 別 市

目 次

I 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査の種類と実施方法	1
3. 配布と回収状況	1
4. 調査結果の見方	2
II 就学前調査	3
1. お子さんご家族の状況について	3
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	6
3. 保護者の就労状況について	13
4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について	22
5. 地域の子育て支援事業の利用について	28
6. 土日等の定期的な教育・保育事業の利用について	30
7. お子さんの病気の際の対応について	33
8. 一時預かり等の不定期の教育・保育事業の利用について	37
9. 就学後における放課後の過ごし方について	40
10. 育児休業等の職場の両立支援制度について	43
11. 幼児教育・保育の無償化について	49
12. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	53
III 小学生調査	61
1. お子さんご家族の状況について	61
2. 子どもの育ちをめぐる環境について	63
3. 保護者の就労状況について	68
4. 放課後の過ごし方について	76
5. お子さんの病気の際の対応について	79
6. 一時預かり等の利用について	82
7. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて	84

I 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、現行の「江別市子ども・子育て支援事業計画」が2019年度で終了となることから、「第2期江別市子ども・子育て支援事業計画」（計画年度：2020～2024年度）の策定に向けて、量の見込み算定などの基礎資料とするために実施したものです。

2. 調査の種類と実施方法

本調査においては、対象者別に次の2種類のアンケート調査を実施しました。

調査の種類	調査の対象（母集団）	実施方法
就学前子どもアンケート	市内の就学前（0～5歳） 5,173人の保護者	無作為抽出 1,500人 郵送による配布・回収
小学生アンケート	市内の就学児童（小学1～6年生） 5,724人の保護者	無作為抽出 1,500人 郵送による配布・回収

【基準日】平成30年11月1日

【調査期間】平成30年11月30日～12月21日（12月28日回収分まで受付）

3. 配布と回収状況

調査票の配布と回収の状況は、次のとおりです。

	配布数	回収数	回収率
就学前子どもアンケート	1,500件	946件	63.1%
小学生アンケート	1,500件	892件	59.5%

4. 調査結果の見方

○設問ごとにその設問内容を示すタイトルをつけています。

○タイトルの横には、次のデータを掲載しています。

- ・ 限定設問である場合の回答対象者
- ・ 質問形態

SA=単数回答：「1つに○」等、選択肢を1つ選ぶ質問形態

MA=複数回答：「あてはまるものすべてに○」等、選択肢を2つ以上選ぶ質問形態

NA=数量回答：日数や時間、回数などの数値を記入する質問形態

FA=記述回答：自由回答など文字を記入する質問形態

○グラフ・表における「無回答」は、当該設問に対する無回答のほか、回答規則違反（単数回答設問における複数回答等）を含む割合・件数を示しています。

○グラフ・表においては、原則として回答総数に対する各集計数の占める割合を表示しています。

○集計は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

○各設問の選択肢等について、その意味を損なわない程度に表現を簡略化している場合があります。

○グラフ上の割合の数値については、表示の都合により2.0%未満を掲載していない場合があります。

○お子さんの年齢は、

「平成24年4月2日～平成25年4月1日生まれ」を「5歳」、

「平成25年4月2日～平成26年4月1日生まれ」を「4歳」、

「平成26年4月2日～平成27年4月1日生まれ」を「3歳」、

「平成27年4月2日～平成28年4月1日生まれ」を「2歳」、

「平成28年4月2日～平成29年4月1日生まれ」を「1歳」、

「平成29年4月2日以降生まれ」を「0歳」としています。

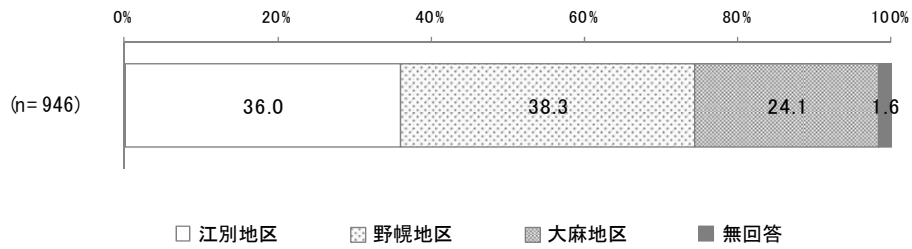
II 就学前調査

1. お子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地区 (FA)

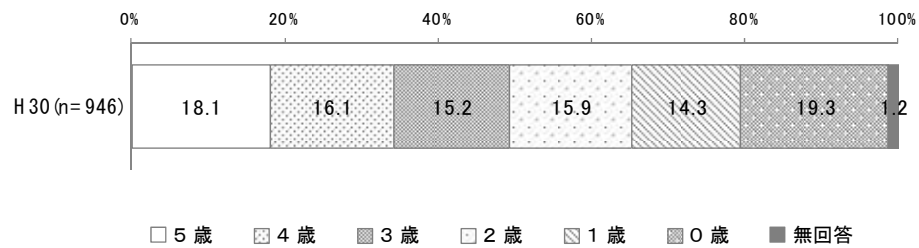
「江別地区」が36.0%、「野幌地区」が38.3%、「大麻地区」が24.1%となっています。

図表1 お住まいの地区



問2 お子さんの年齢 (SA)

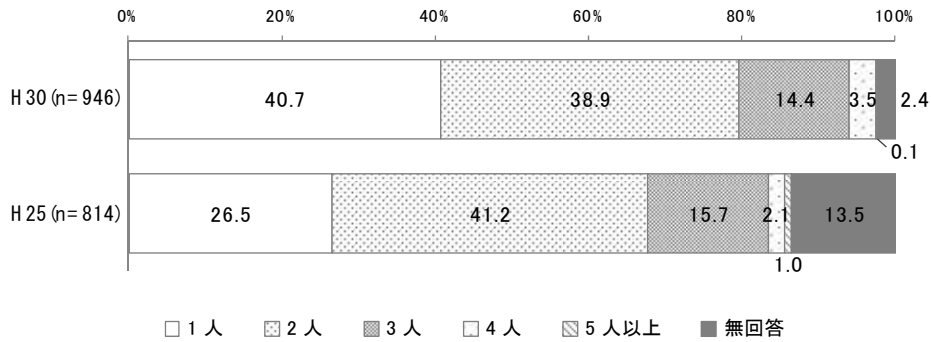
図表2 お子さんの年齢



問3 お子さんの人数と末子の年齢 (FA)

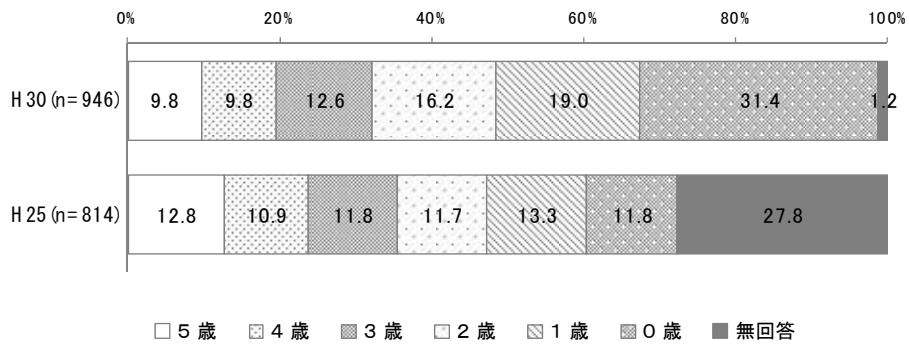
「1人」が40.7%と最も多く、次いで「2人」が38.9%となっています。

図表3 お子さんの人数



「0歳」が31.4%、「1歳」が19.0%、「2歳」が16.2%となっています。

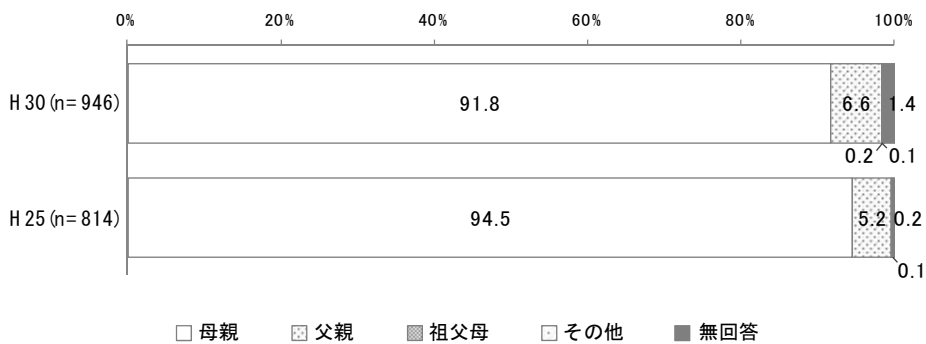
図表4 末子の年齢



問4 回答者 (SA)

「母親」が91.8%となっています。

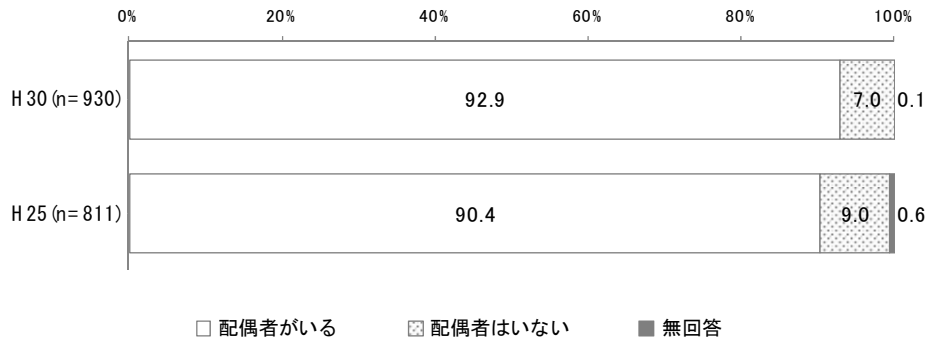
図表5 回答者



問5 回答者の配偶関係 (SA)

「配偶者がいる」が92.9%となっています。

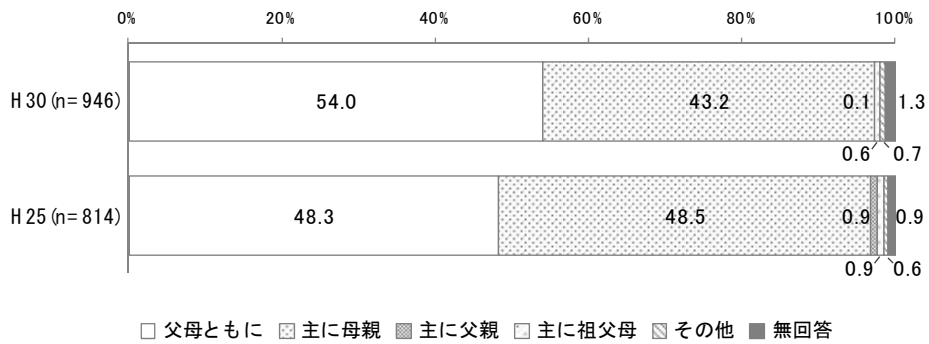
図表6 回答者の配偶関係



問6 子育てを主に行っている人 (SA)

「父母ともに」が54.0%と最も多く、次いで「主に母親」が43.2%となっています。
 前回調査 (H25) と比較して、「父母ともに」が増加し、「主に母親」が減少しています。

図表7 子育てを主に行っている人

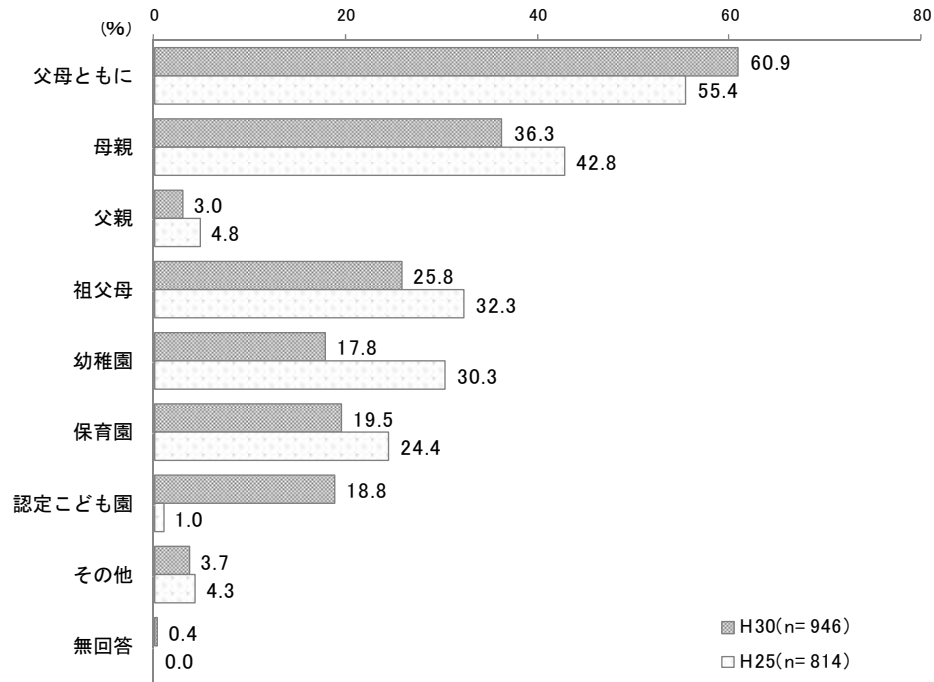


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問7 子育てに日常的にかかわっている人や施設 (MA)

「父母ともに」が60.9%と最も多く、次いで「母親」が36.3%、「祖父母」が25.8%となっています。前回調査（H25）と比較して、「父母ともに」が増加し、「母親」「祖父母」が減少しています。

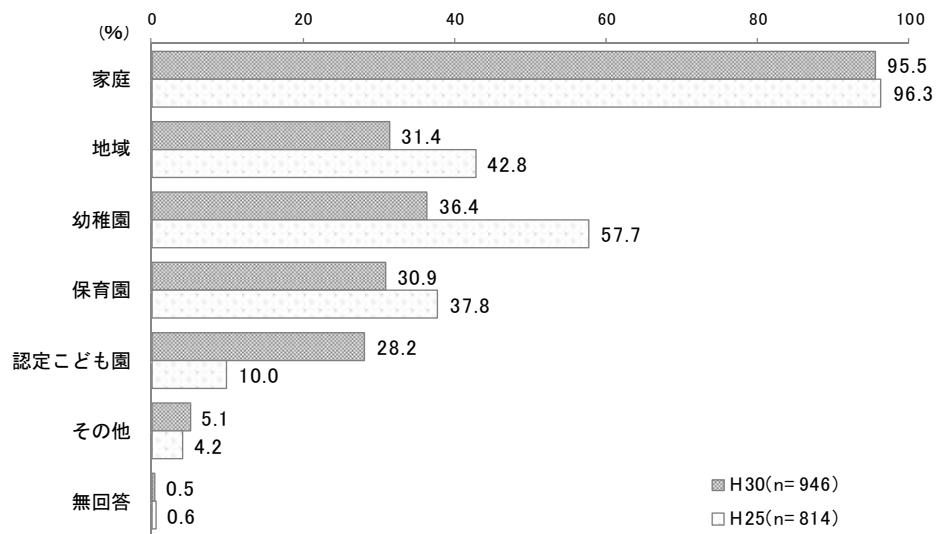
図表8 子育てに日常的にかかわっている人や施設



問8 子育てに影響すると思う環境 (MA)

「家庭」が95.5%と最も多く、次いで「幼稚園」が36.4%、「地域」が31.4%となっています。前回調査（H25）と比較して、「地域」が減少しています。

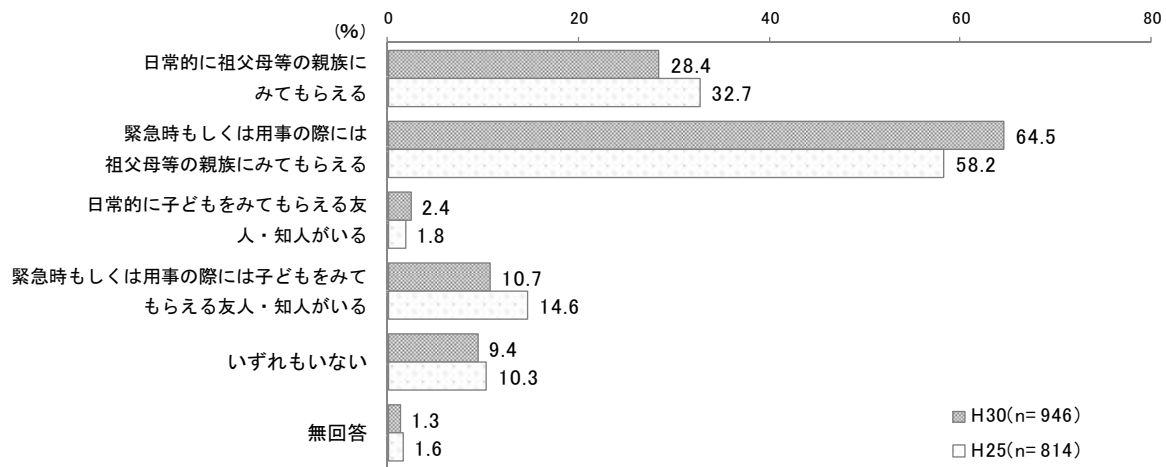
図表9 子育てに影響すると思う環境



問9 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が64.5%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が28.4%となっています。

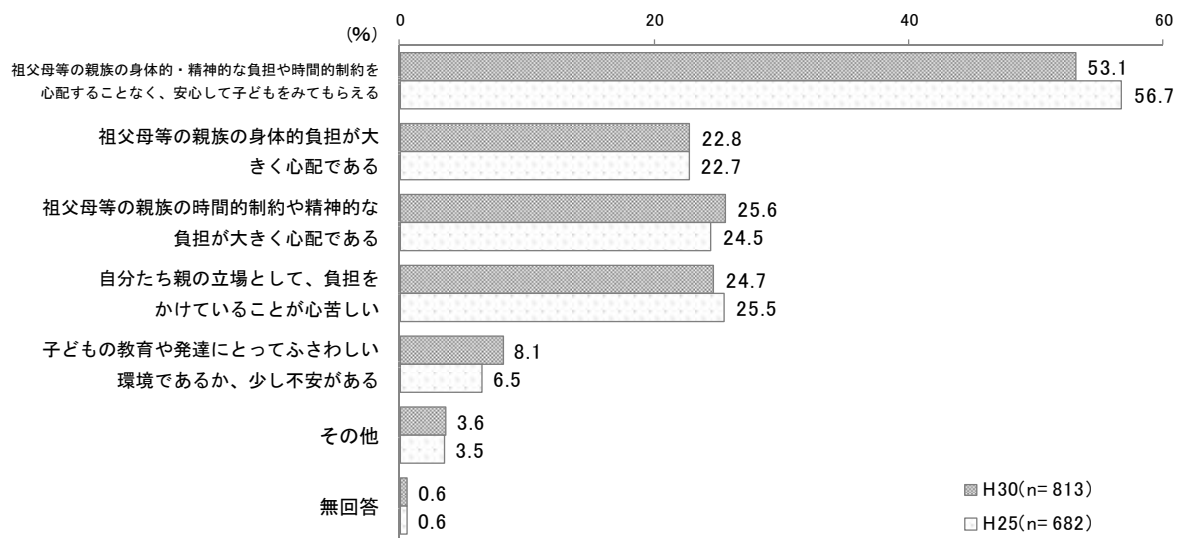
図表10 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無



問9-1 祖父母等の親族にみてもらう状況 (MA)

「祖父母等の親族の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が53.1%と最も多くなっていますが、前回調査 (H25) との比較では減少しています。

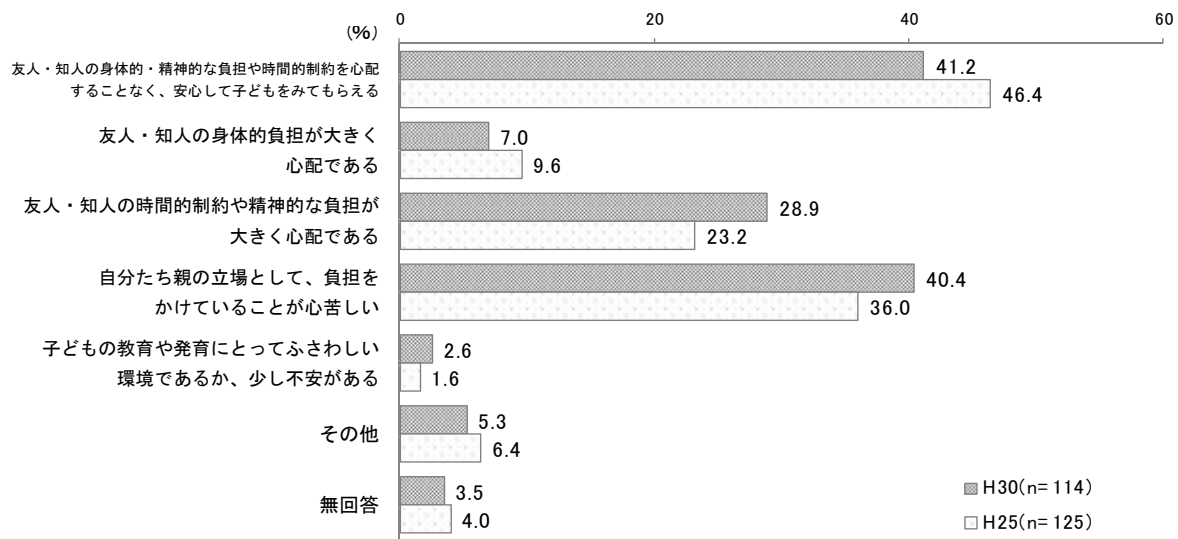
図表11 祖父母等の親族にみてもらう状況



問9-2 友人・知人にみてもらう状況 (MA)

「友人・知人の身体的・精神的な負担や時間的制約を心配することなく、安心して子どもをみてもらえる」が41.2%と最も多くなっていますが、前回調査 (H25) との比較では減少しています。

図表 12 友人・知人にみてもらう状況

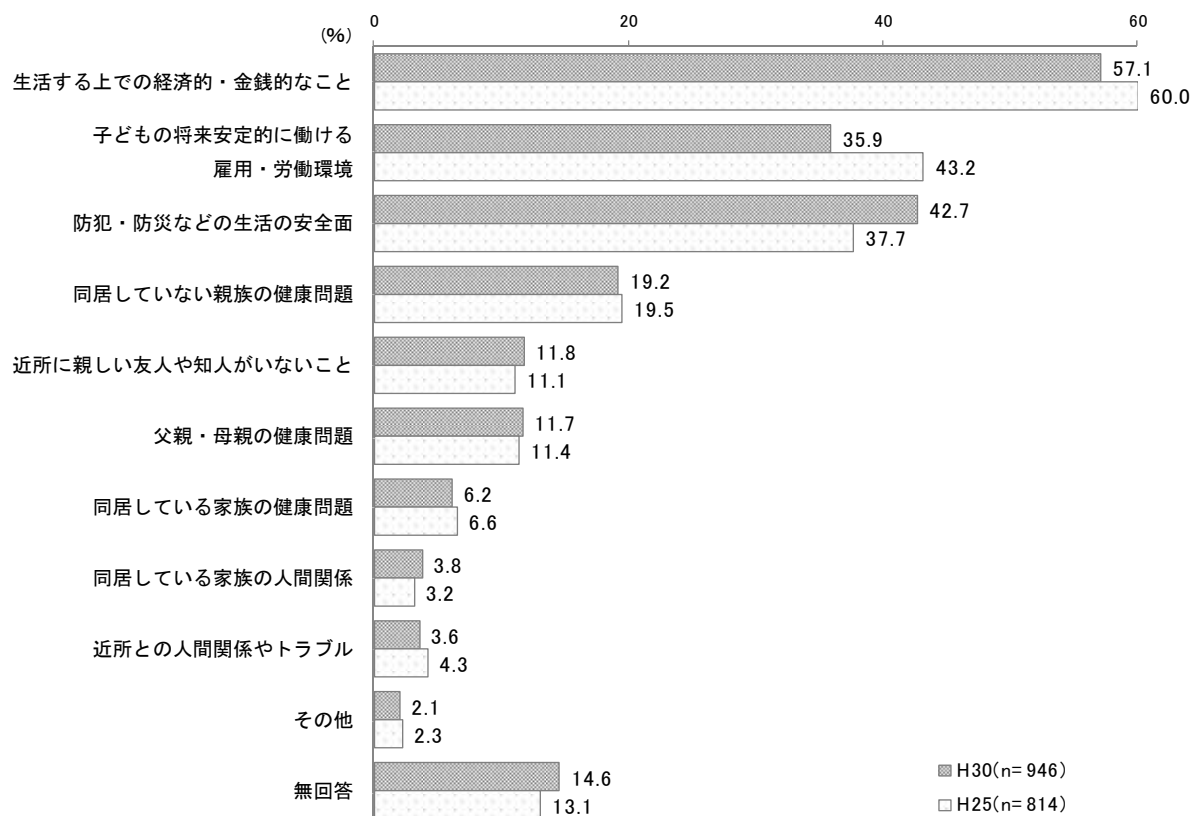


問10(1) 家庭で気になっていること 生活全般 (MA)

「生活する上での経済的・金銭的なこと」が57.1%と最も多く、次いで「防犯・防災などの生活の安全面」が42.7%、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が35.9%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「防犯・防災などの生活の安全面」が増加し、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が減少しています。

図表 13 家庭で気になっていること 生活全般

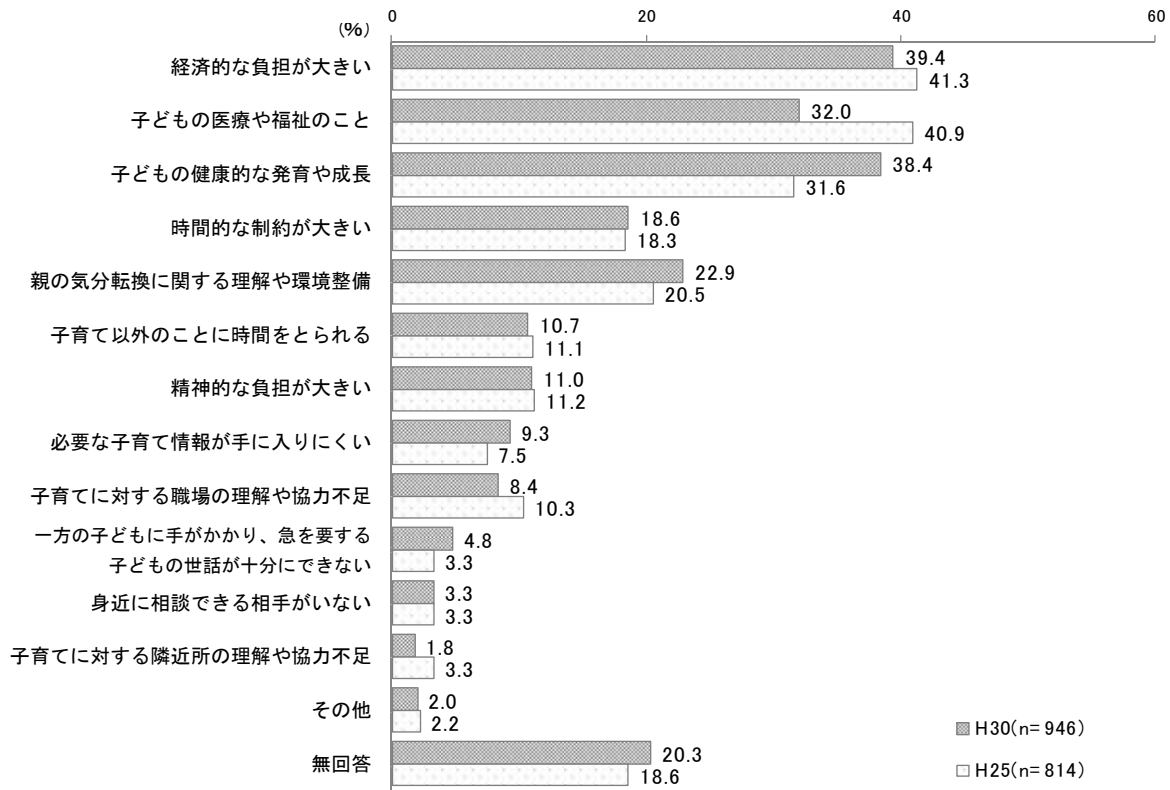


問 10 (2) 家庭で気になっていること 子育て (MA)

「経済的な負担が大きい」が39.4%と最も多く、次いで「子どもの健康的な発育や成長」が38.4%、「子どもの医療や福祉のこと」が32.0%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「子どもの健康的な発育や成長」が増加し、「子どもの医療や福祉のこと」が減少しています。

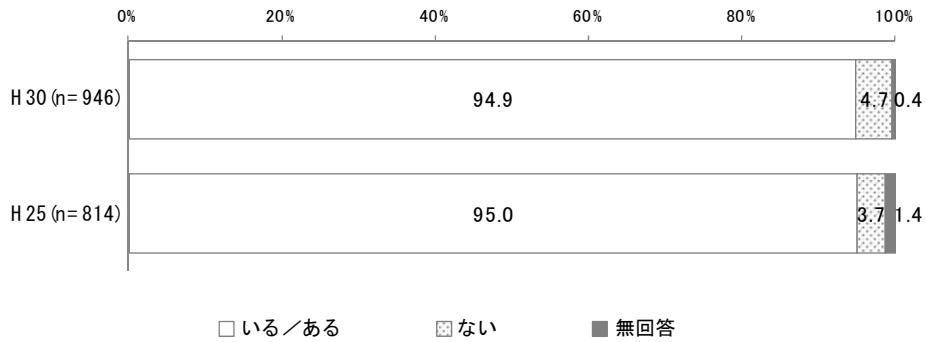
図表 14 家庭で気になっていること 子育て



問 11 相談相手や場所の有無 (SA)

「いる／ある」が 94.9%となっています。

図表 15 相談相手や場所の有無

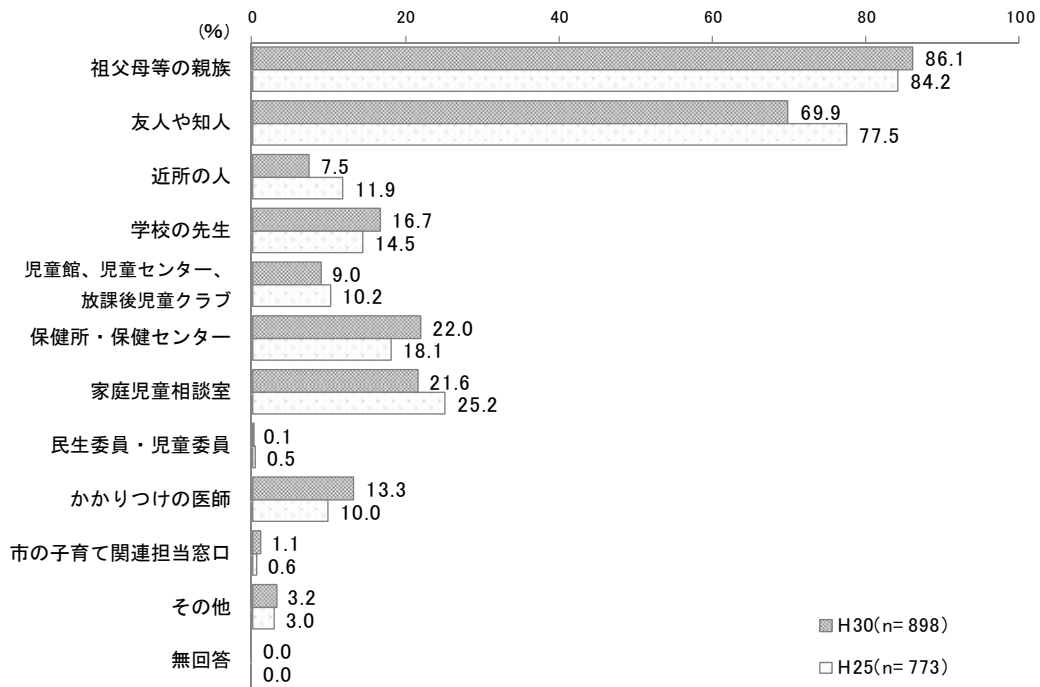


		問11 相談できる人・相談できる場所の有無			
		合計	いる／ある	ない	無回答
全体		946	898	44	4
		100.0	94.9	4.7	0.4
問5 配偶関係	配偶者がいる	864	822	38	4
		100.0	95.1	4.4	0.5
	配偶者がいない	65	59	6	-
		100.0	90.8	9.2	-
問9 お子さんを みてもらえる親 族・知人の有無	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	269	260	8	1
		100.0	96.7	3.0	0.4
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	610	586	24	-
		100.0	96.1	3.9	-
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	23	22	-	1
		100.0	95.7	-	4.3
	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	101	101	-	-
	100.0	100.0	-	-	
	いずれもない	89	75	14	-
		100.0	84.3	15.7	-

問 11-1 相談先 (MA)

「祖父母等の親族」が86.1%と最も多く、次いで「友人や知人」が69.9%となっています。前回調査（H25）と比較して、「友人や知人」が減少しています。

図表 16 相談先



問 12 周囲からあればよいと思うサポート（FA）

周囲からあればよいと思うサポートについて、280 人からご意見等をいただきました。
 主な意見内容等は、以下のとおりです。

生活環境・遊び場	
○子どもが遊べる場所が欲しい。 ○児童館や放課後児童クラブを充実して欲しい。	
地域における支援	
○子育てママや異年齢児の交流会を開いて欲しい。 ○自治会や子ども向けのイベントを開催して欲しい。 ○母親がリフレッシュできる場所を提供して欲しい。	
保育サービス	
【一時預かり保育】	○利用料金を安価にして欲しい。 ○小学生でも利用できるようにして欲しい。
【保育園】	○JR駅の近くに作って欲しい。 ○夕飯を食べさせて欲しい。 ○保育時間をもっと延長して欲しい。
【病児保育】	○保育園に併設して欲しい。 ○市営にして欲しい。
情報提供	
○幼稚園・保育園・小学校・習い事の情報が欲しい。	
交通	
○公共交通を充実して欲しい。 ○子育て世代にタクシーチケットを交付して欲しい。	
健康・医療	
○市立病院小児科を土曜日を開いて欲しい。 ○医療費の助成を拡大して欲しい。 ○予防接種を無料化して欲しい。 ○児童精神科を市内に作って欲しい。	
相談体制	
○気軽に相談できる場所が欲しい。 ○発達相談や訪問相談を充実して欲しい。	
経済的支援	
○オムツ代の支援をして欲しい。 ○ごみ袋の補助をして欲しい。 ○児童手当を増額して欲しい。 ○高校や大学費用を無償化して欲しい。	
仕事と子育ての両立支援	
○小さな子がいても働ける場を提供して欲しい。	
その他	
○子育てに対する男性の意識を改革して欲しい。	

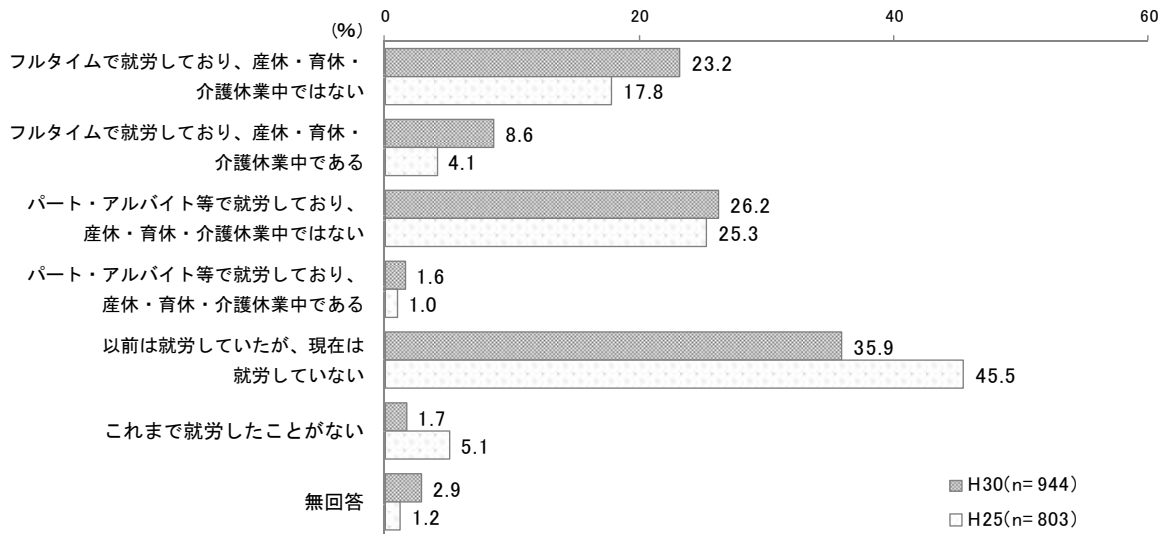
3. 保護者の就労状況について

問13 母親の就労状況 (SA)

「以前は就労していたが、現在は就労していない」が35.9%と最も多く、次いで「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.2%、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が23.2%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が増加し、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が減少しています。

図表 17 母親の就労状況

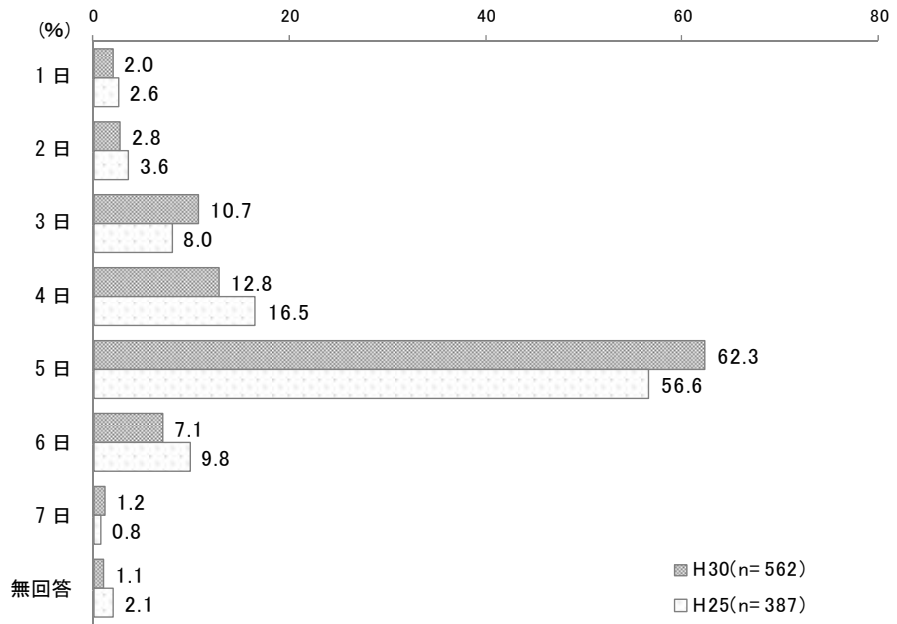


		問13 母親の就労状況							
		合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		944 100.0	219 23.2	81 8.6	247 26.2	15 1.6	339 35.9	16 1.7	27 2.9
問2 お子さんの生年月日	0歳	182 100.0	11 6.0	52 28.6	18 9.9	9 4.9	83 45.6	3 1.6	6 3.3
	1歳	135 100.0	41 30.4	11 8.1	32 23.7	2 1.5	44 32.6	3 2.2	2 1.5
	2歳	150 100.0	41 27.3	12 8.0	35 23.3	2 1.3	55 36.7	2 1.3	3 2.0
	3歳	144 100.0	33 22.9	4 2.8	44 30.6	-	57 39.6	3 2.1	3 2.1
	4歳	152 100.0	46 30.3	-	57 37.5	1 0.7	41 27.0	4 2.6	3 2.0
	5歳	170 100.0	45 26.5	1 0.6	59 34.7	-	54 31.8	1 0.6	10 5.9

問 13-1 母親の1週当たりの平均就労日数と1日当たりの平均就労時間 (NA)

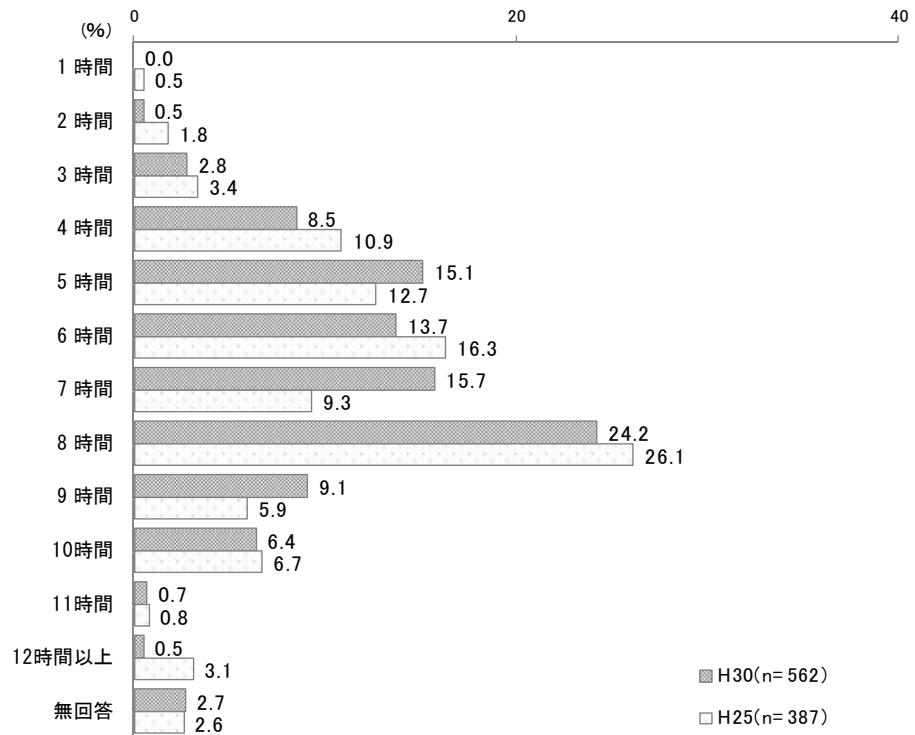
「5日」が62.3%と最も多く、前回調査（H25）との比較でも増加しています。

図表 18 母親の1週当たりの平均就労日数



「8時間」が24.2%と最も多く、次いで「7時間」が15.7%、「5時間」が15.1%となっています。前回調査（H25）と比較して、「7時間」「5時間」が増加しています。

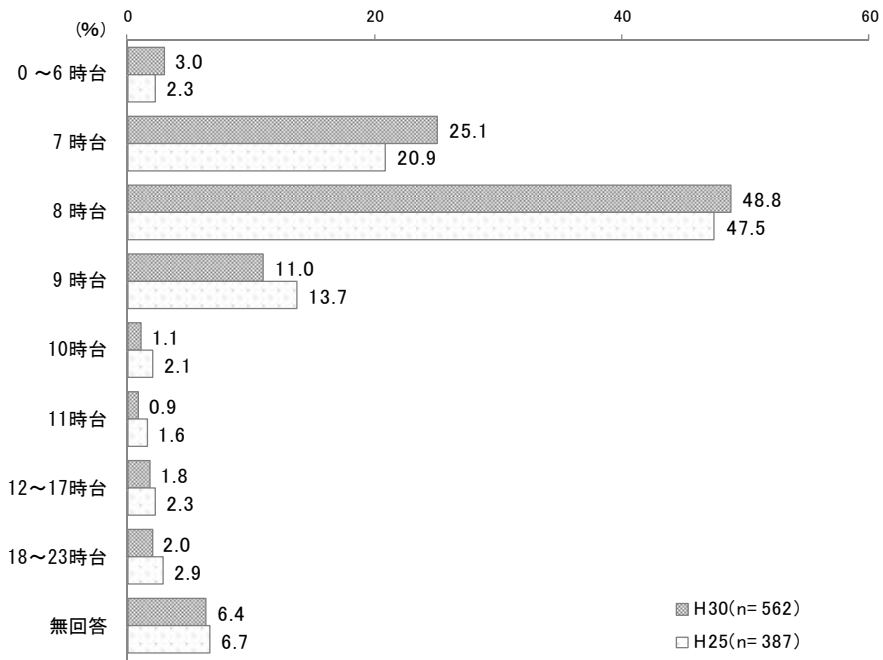
図表 19 母親の1日当たりの平均就労時間



問 13-2 母親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

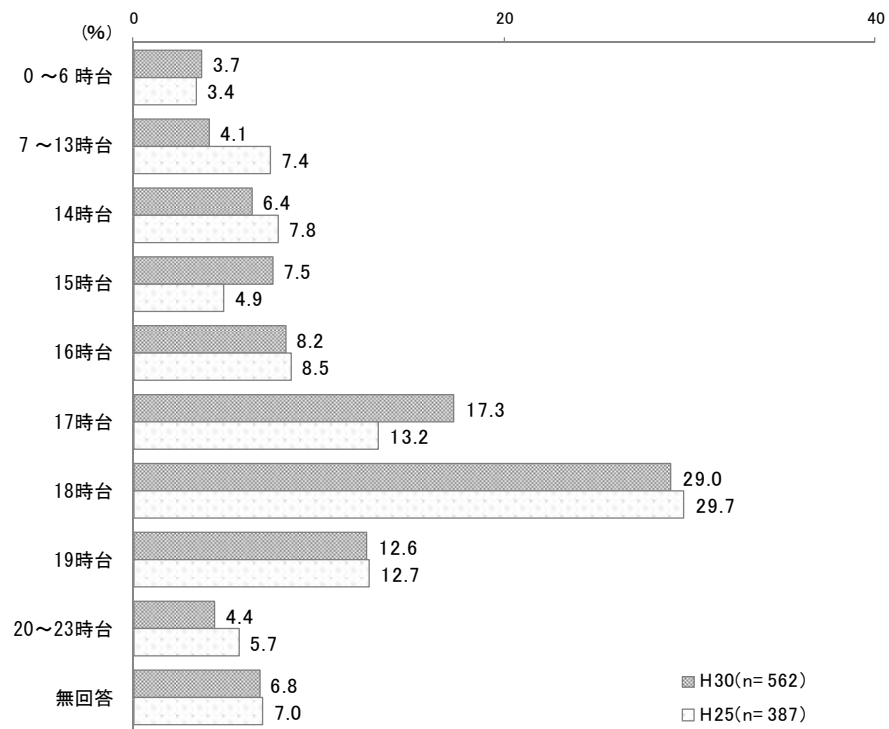
「8時台」が48.8%と最も多く、次いで「7時台」が25.1%、「9時台」が11.0%となっています。

図表 20 母親の家を出る時間



「18時台」が29.0%と最も多く、次いで「17時台」が17.3%、「19時台」が12.6%となっています。

図表 21 母親の帰宅時間

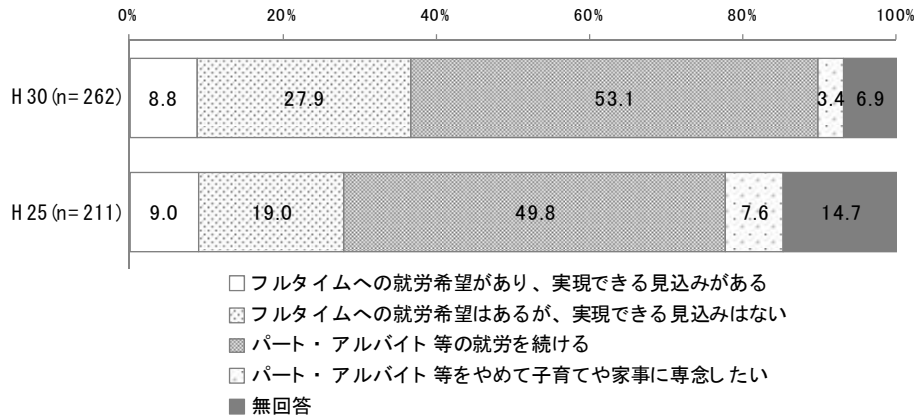


問 13-3 母親のフルタイムへの就労希望 (SA)

「パート・アルバイト等の就労を続ける」が53.1%と最も多く、次いで「フルタイムへの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」が27.9%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「フルタイムへの就労希望はあるが、実現できる見込みはない」「パート・アルバイト等の就労を続ける」が増加し、「パート・アルバイト等をやめて子育てや家事に専念したい」が減少しています。

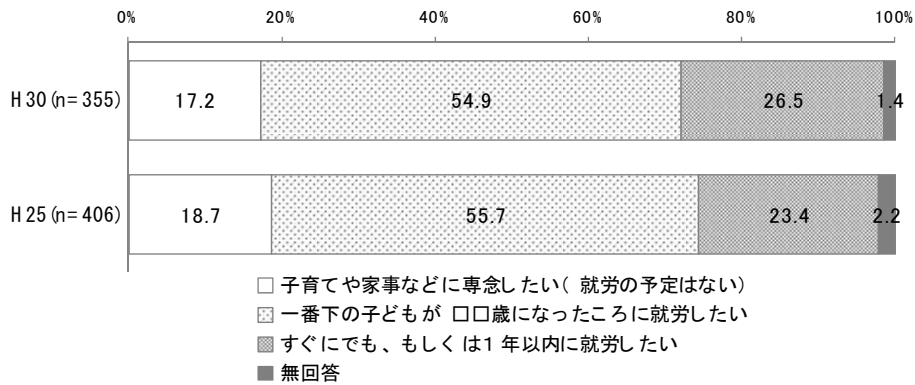
図表 22 母親のフルタイムへの就労希望



問 13-4 母親の就労希望 (SA・NA)

「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」が 54.9%と最も多く、次いで「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 26.5%となっています。

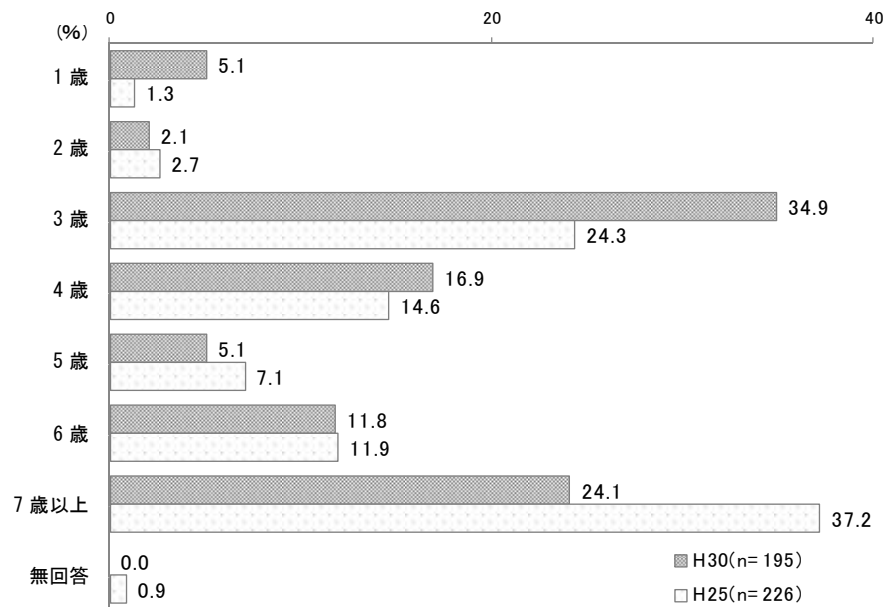
図表 23 母親の就労希望



「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」と回答した方の〇〇歳の年齢は、「3歳」が 34.9%と最も多く、次いで「7歳以上」が 24.1%、「4歳」が 16.9%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「3歳」が増加し、「7歳以上」が減少しています。

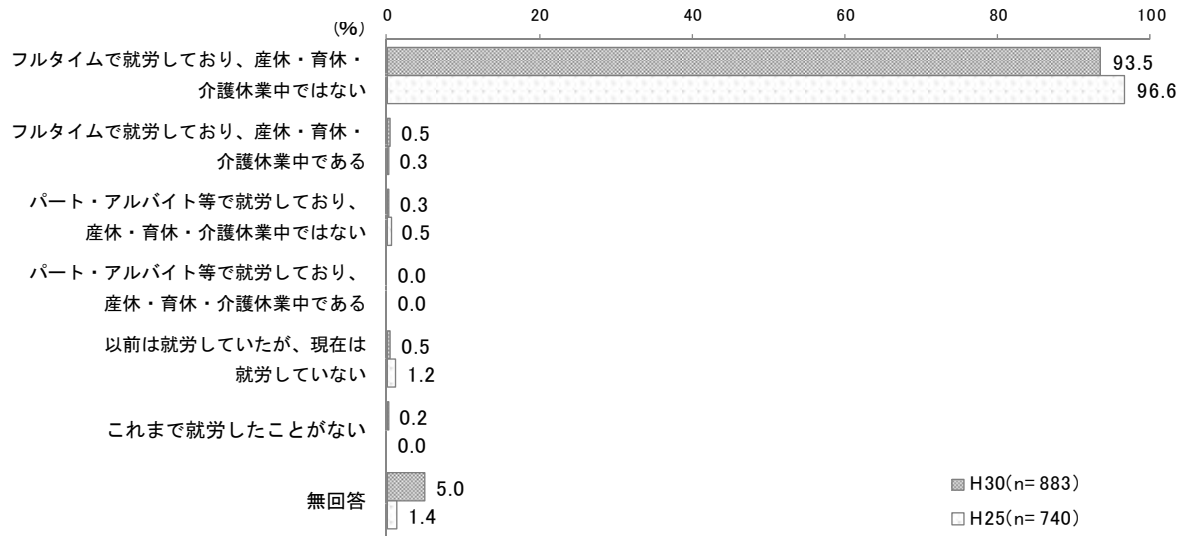
図表 24 〇〇歳になったころ



問 14 父親の就労状況 (SA)

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.5%となっています。

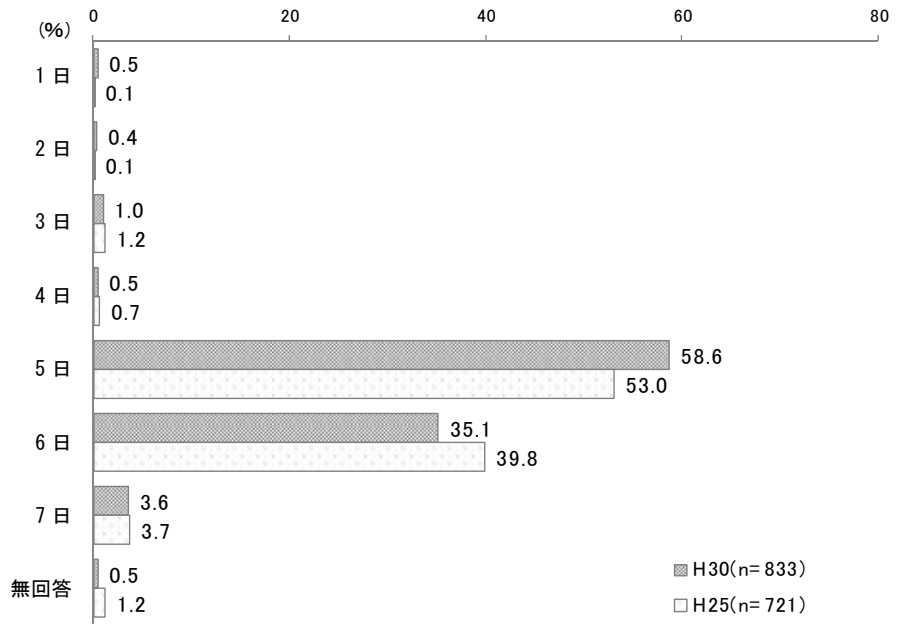
図表 25 父親の就労状況



問 14-1 父親の1週当たりの平均就労日数と1日当たりの平均就労時間 (NA)

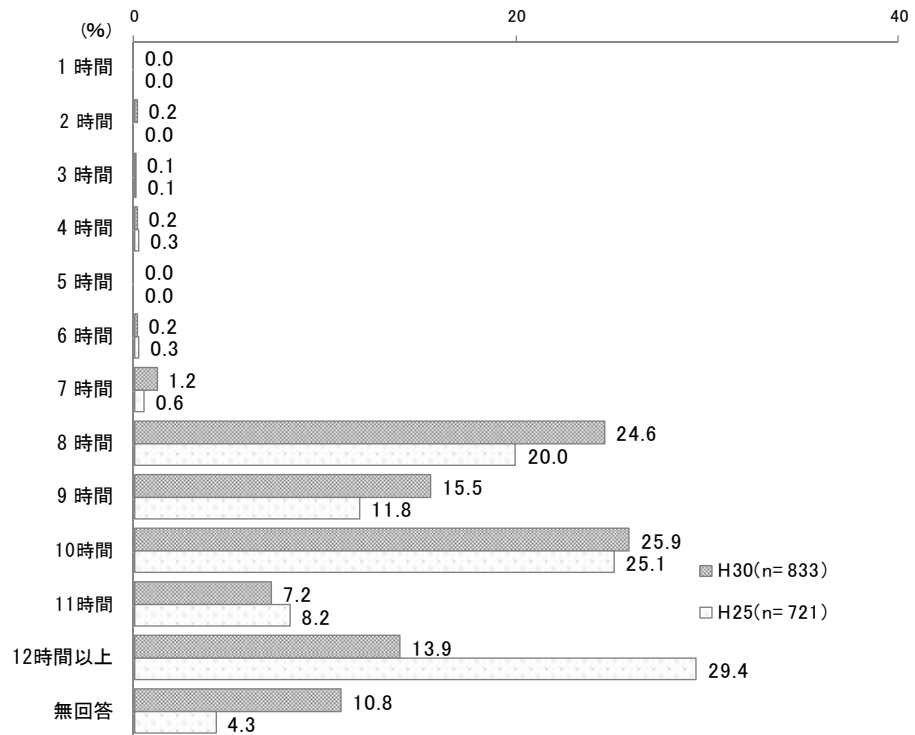
「5日」が58.6%、「6日」が35.1%となっています。

図表 26 父親の1週当たりの平均就労日数



「10時間」が25.9%と最も多く、次いで「8時間」が24.6%、「9時間」が15.5%となっています。前回調査（H25）と比較して、「12時間以上」が減少しています。

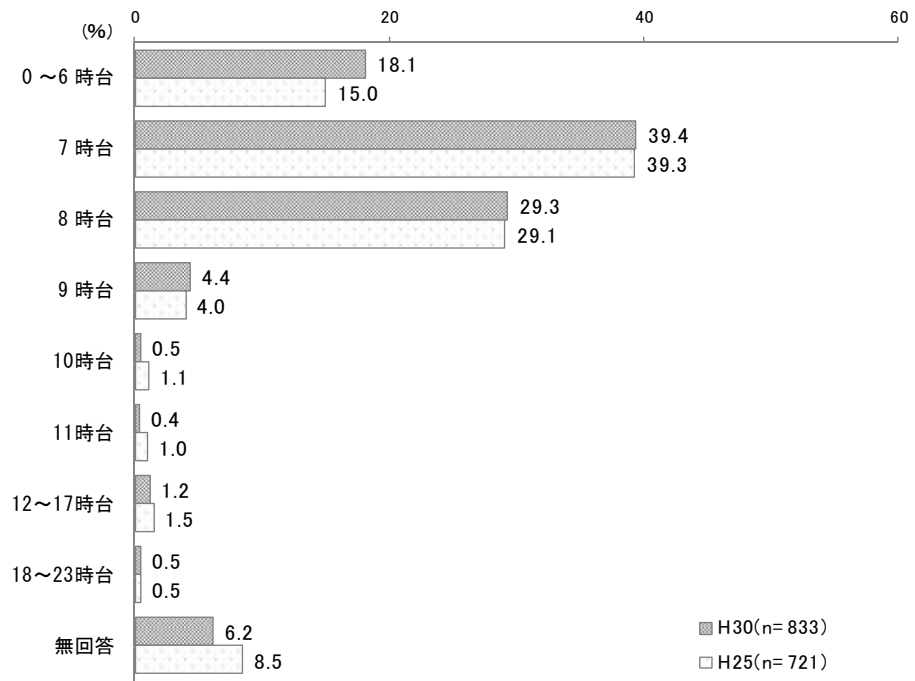
図表 27 父親の1日当たりの平均就労時間



問 14-2 父親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

「7時台」が39.4%と最も多く、次いで「8時台」が29.3%、「0～6時台」が18.1%となっています。

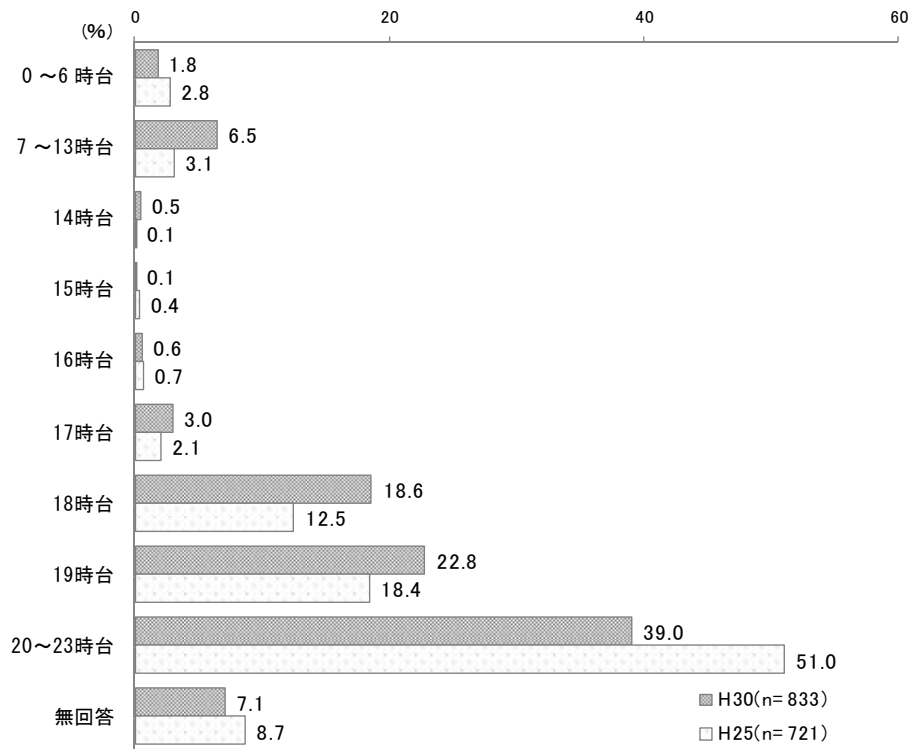
図表 28 父親の家を出る時間



「20～23時台」が39.0%と最も多く、次いで「19時台」が22.8%、「18時台」が18.6%となっています。

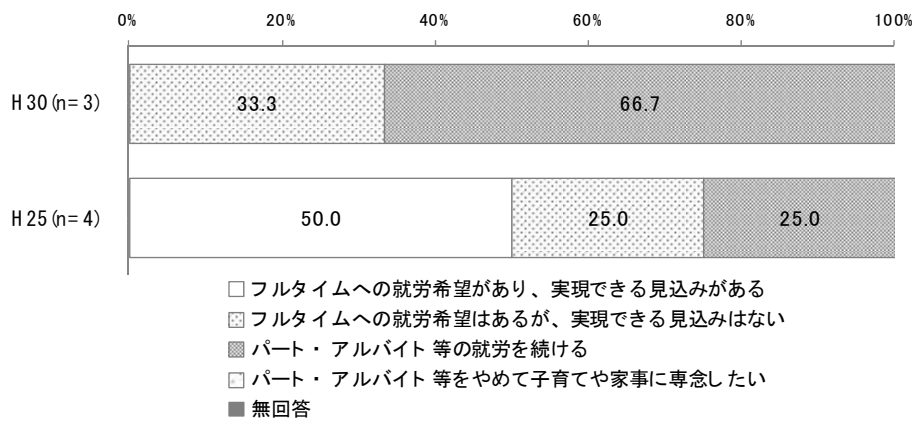
前回調査（H25）と比較して、「18時台」「19時台」が増加し、「20～23時台」が減少しています。

図表 29 父親の帰宅時間



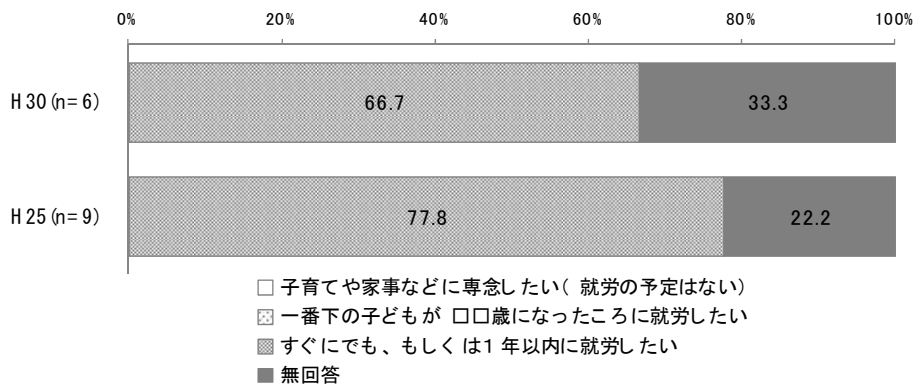
問 14-3 父親のフルタイムへの就労希望 (SA)

図表 30 父親のフルタイムへの就労希望



問 14-4 父親の就労希望 (SA)

図表 31 父親の就労希望

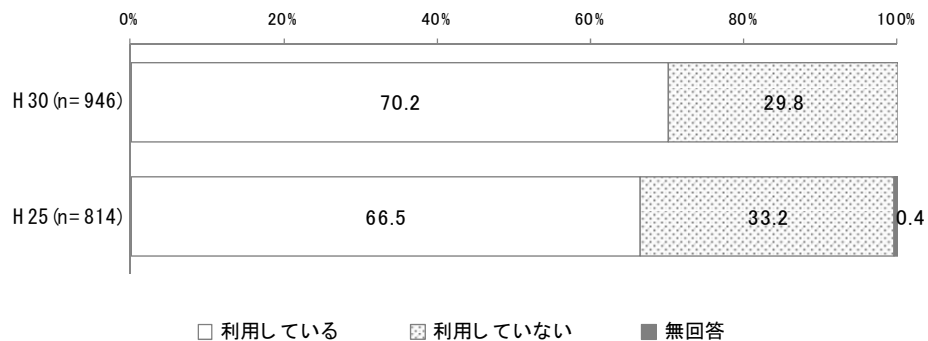


4. 平日の定期的な教育・保育の利用状況について

問 15 教育・保育事業の利用の有無 (SA)

「利用している」が70.2%、「利用していない」が29.8%となっています。

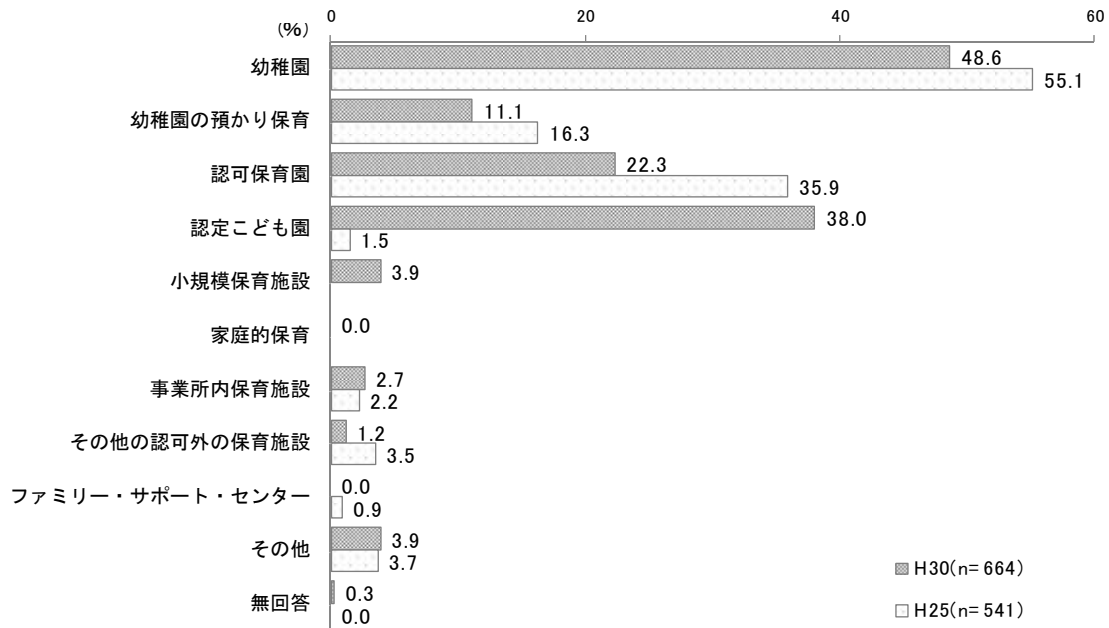
図表 32 教育・保育事業の利用の有無



問 15-1 利用している教育・保育事業 (MA)

「幼稚園」が48.6%と最も多く、次いで「認定こども園」が38.0%、「認可保育園」が22.3%となっています。

図表 33 利用している教育・保育事業

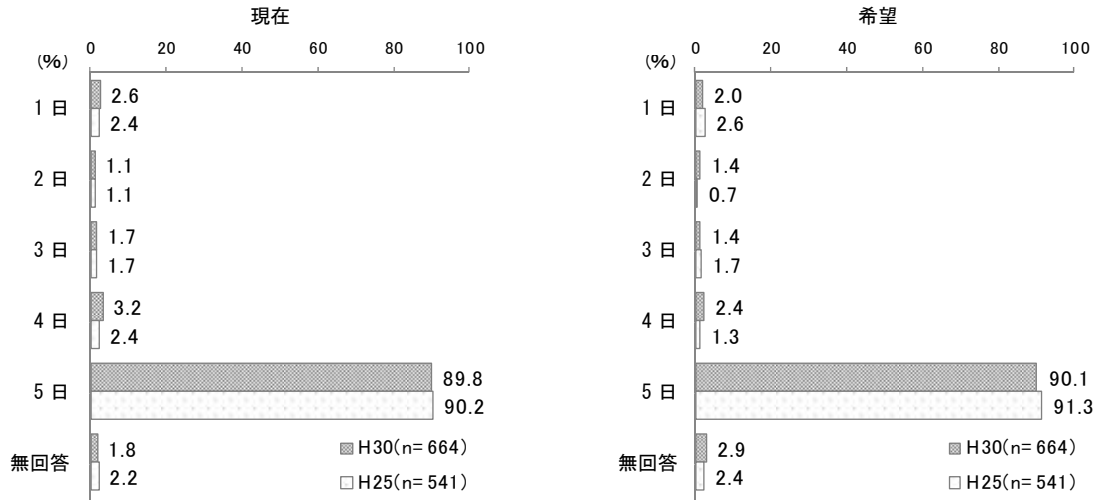


		問15-1 利用している教育・保育事業											
		合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可 保育園	認定 こども園	小規模保 育施設	家庭的保育	事業所内 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答
全体		664	323	74	148	252	26	-	18	8	-	26	2
		100.0	48.6	11.1	22.3	38.0	3.9	-	2.7	1.2	-	3.9	0.3
問2 お子さんの 生年月日	0歳	25	3	-	10	6	2	-	4	2	-	-	-
		100.0	12.0	-	40.0	24.0	8.0	-	16.0	8.0	-	-	-
	1歳	74	5	1	32	24	6	-	6	1	-	5	1
		100.0	6.8	1.4	43.2	32.4	8.1	-	8.1	1.4	-	6.8	1.4
	2歳	103	26	3	27	39	17	-	6	1	-	4	1
		100.0	25.2	2.9	26.2	37.9	16.5	-	5.8	1.0	-	3.9	1.0
	3歳	139	89	16	22	58	-	-	1	1	-	4	-
	100.0	64.0	11.5	15.8	41.7	-	-	0.7	0.7	-	2.9	-	
4歳	148	91	22	27	57	1	-	-	2	-	8	-	
	100.0	61.5	14.9	18.2	38.5	0.7	-	-	1.4	-	5.4	-	
5歳	170	108	32	29	66	-	-	1	1	-	4	-	
	100.0	63.5	18.8	17.1	38.8	-	-	0.6	0.6	-	2.4	-	

問 15-2 利用状況・利用希望 (NA)

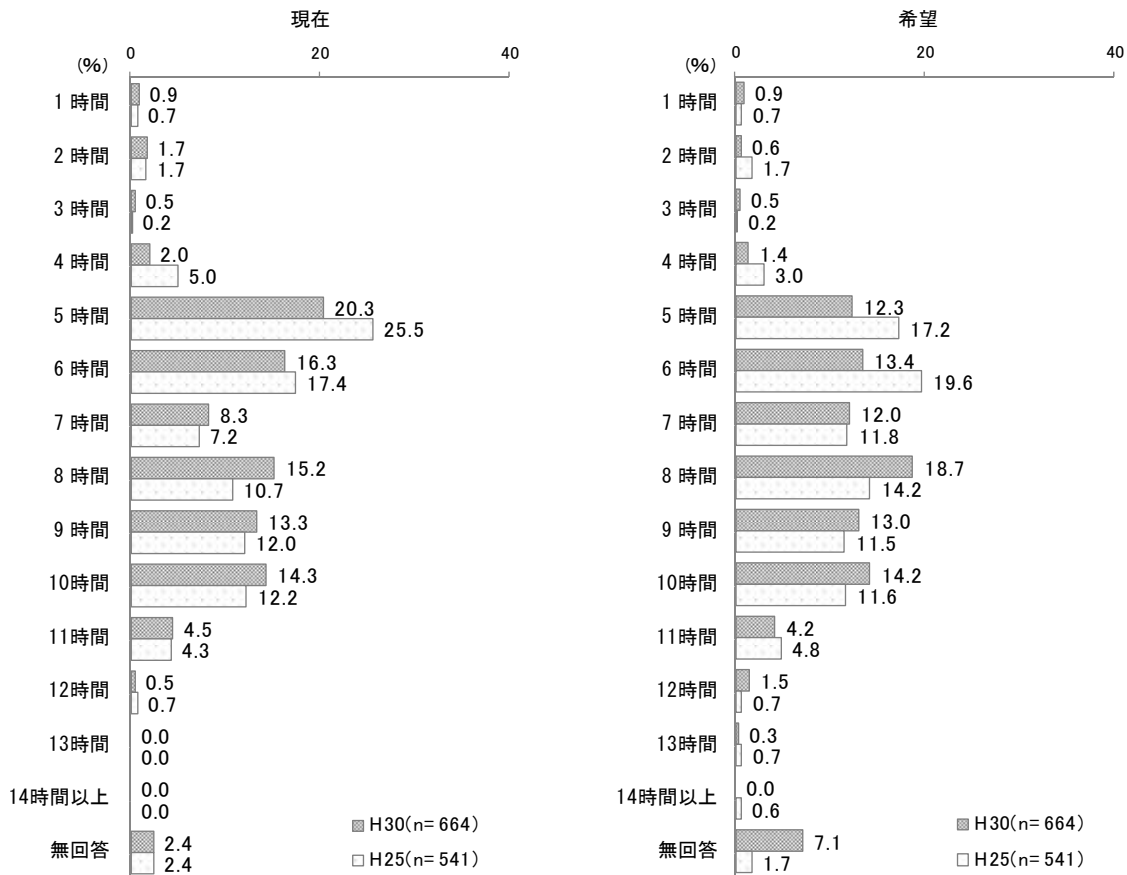
「5日」が現在で89.8%、希望で90.1%となっています。

図表 34 1週当たりの現在の利用日数と希望する利用日数



現在は「5時間」が20.3%と最も多く、希望は「8時間」が18.7%と最も多くなっています。前回調査（H25）と比較して、現在、希望ともに「7時間以上」が増加し、「6時間以下」が減少しています。

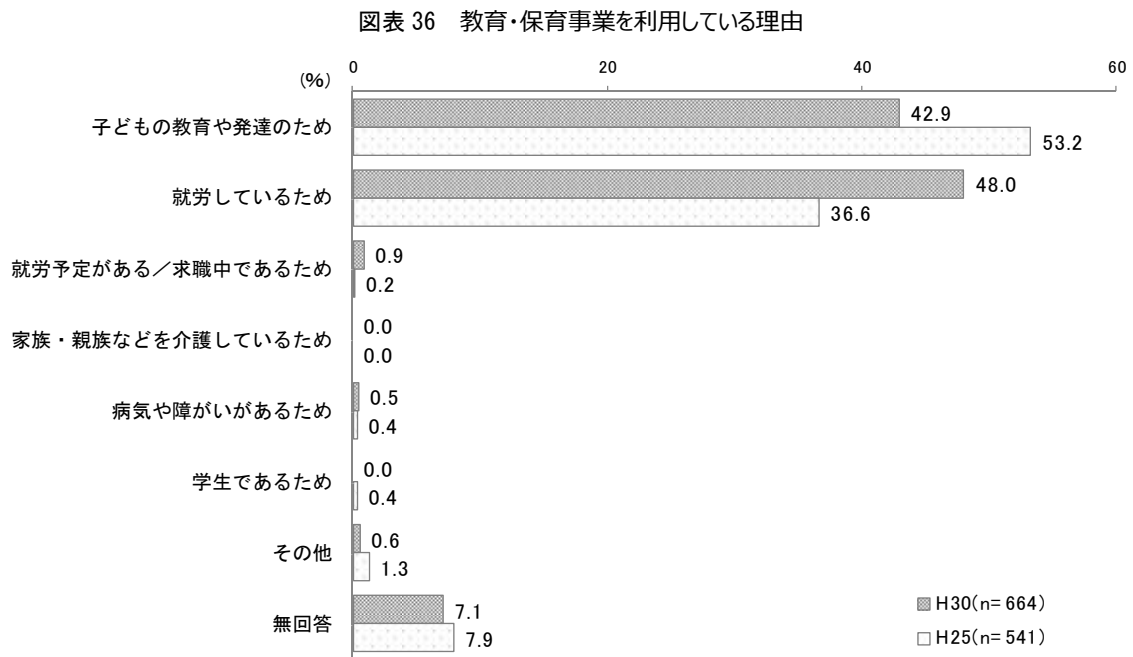
図表 35 1日当たりの現在の利用時間と希望する利用時間



問 15－3 教育・保育事業を利用している理由（SA）

「就労しているため」が 48.0%と最も多く、次いで「子どもの教育や発達のため」が 42.9%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「就労しているため」が増加し、「子どもの教育や発達のため」が減少しています。

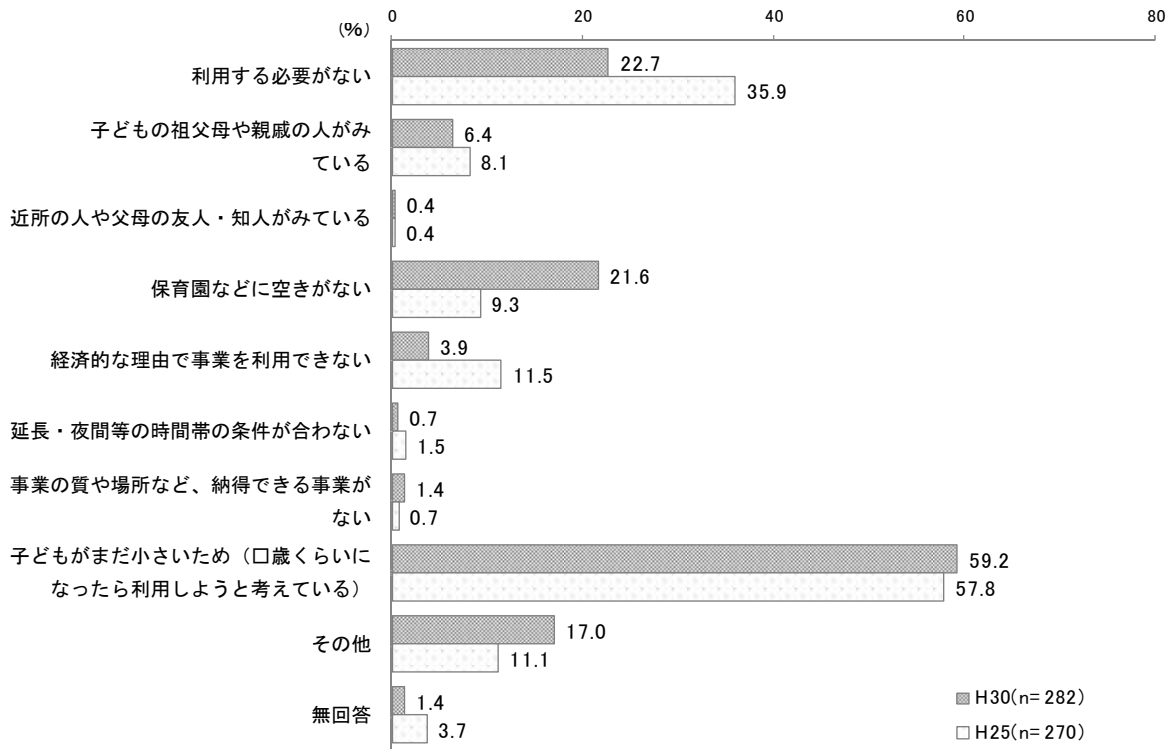


問 15-4 教育・保育事業を利用していない理由 (MA・NA)

「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」が59.2%と最も多く、次いで「利用する必要がない」が22.7%、「保育園などに空きがない」が21.6%となっています。

前回調査(H25)と比較して、「保育園などに空きがない」が増加し、「利用する必要がない」「経済的理由で事業を利用できない」が減少しています。

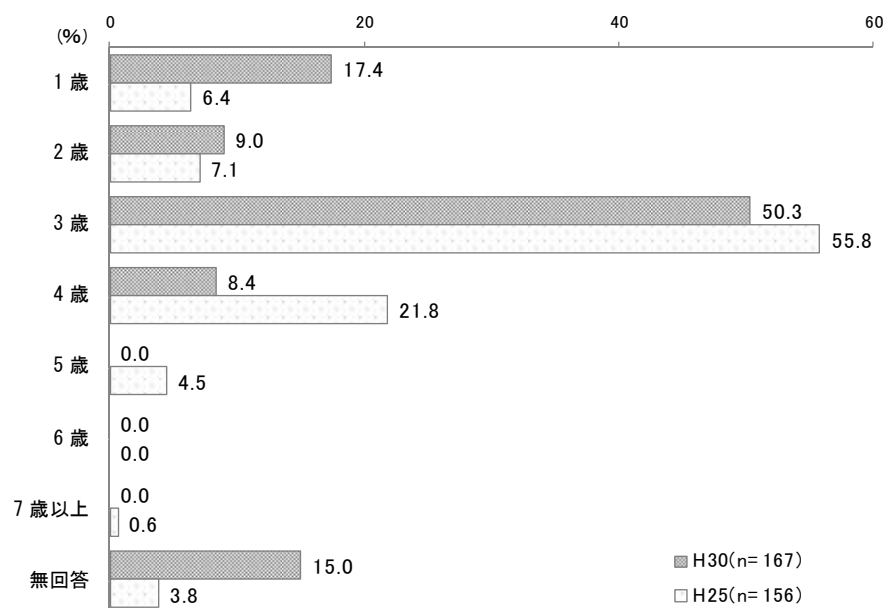
図表 37 教育・保育事業を利用していない理由



「子どもがまだ小さいため(□歳くらいになったら利用しようと考えている)」と回答した方の□歳に当てはまる子どもの年齢は、「3歳」が50.3%と最も多くなっています。

前回調査(H25)と比較して、「1歳」が増加し、「4歳」が減少しています。

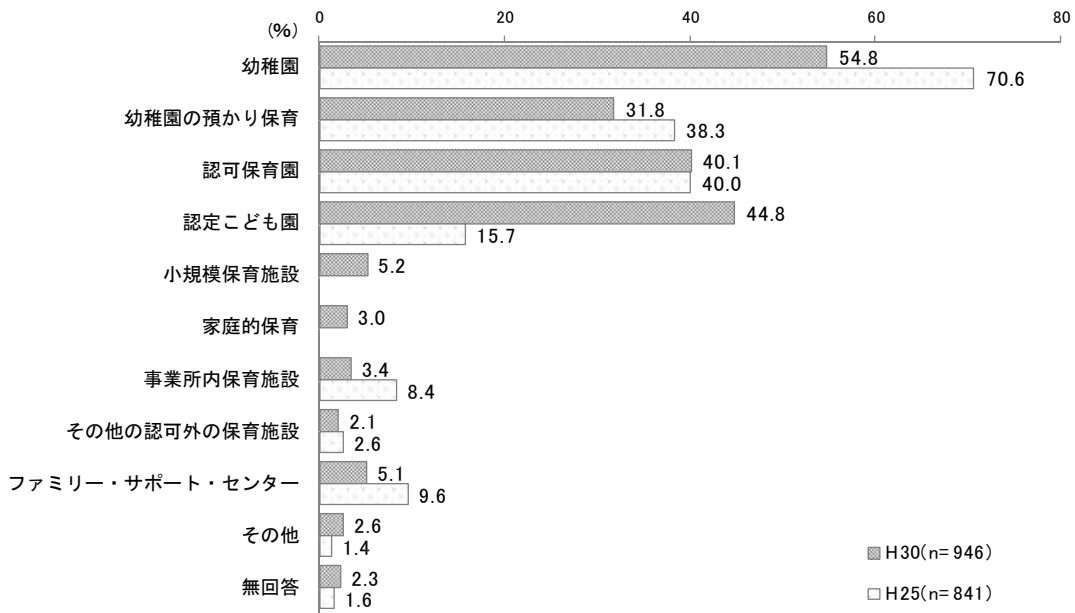
図表 38 □歳くらい



問 16 定期的に利用したい教育・保育事業 (MA)

「幼稚園」が54.8%と最も多く、次いで「認定こども園」が44.8%、「認可保育園」が40.1%となっています。

図表 39 定期的に利用したい教育・保育事業

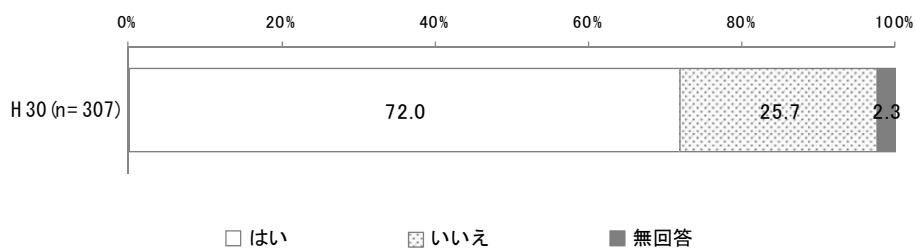


		問16 定期的に利用したい教育・保育の事業											
		合計	幼稚園	幼稚園の 預かり保育	認可 保育園	認定 こども園	小規模保 育施設	家庭的保育	事業所内 保育施設	その他の 認可外の 保育施設	ファミリー・ サポート・ センター	その他	無回答
全体		946	518	301	379	424	49	28	32	20	48	25	22
		100.0	54.8	31.8	40.1	44.8	5.2	3.0	3.4	2.1	5.1	2.6	2.3
問2 お子さんの 生年月日	0歳	183	90	41	114	96	16	12	10	6	13	4	4
		100.0	49.2	22.4	62.3	52.5	8.7	6.6	5.5	3.3	7.1	2.2	2.2
	1歳	135	67	43	75	66	13	5	11	5	3	3	3
		100.0	49.6	31.9	55.6	48.9	9.6	3.7	8.1	3.7	2.2	2.2	2.2
	2歳	150	83	38	64	65	11	1	4	2	6	1	4
		100.0	55.3	25.3	42.7	43.3	7.3	0.7	2.7	1.3	4.0	0.7	2.7
	3歳	144	73	47	33	67	3	4	1	-	9	2	4
	100.0	50.7	32.6	22.9	46.5	2.1	2.8	0.7	-	6.3	1.4	2.8	
4歳	152	93	60	43	58	2	2	2	2	8	6	5	
	100.0	61.2	39.5	28.3	38.2	1.3	1.3	1.3	1.3	5.3	3.9	3.3	
5歳	171	107	68	46	69	3	4	3	4	7	8	2	
	100.0	62.6	39.8	26.9	40.4	1.8	2.3	1.8	2.3	4.1	4.7	1.2	

問 16-1 幼稚園を強く希望しているか (SA)

「はい」が72.0%、「いいえ」が25.7%となっています。

図表 40 幼稚園を強く希望しているか



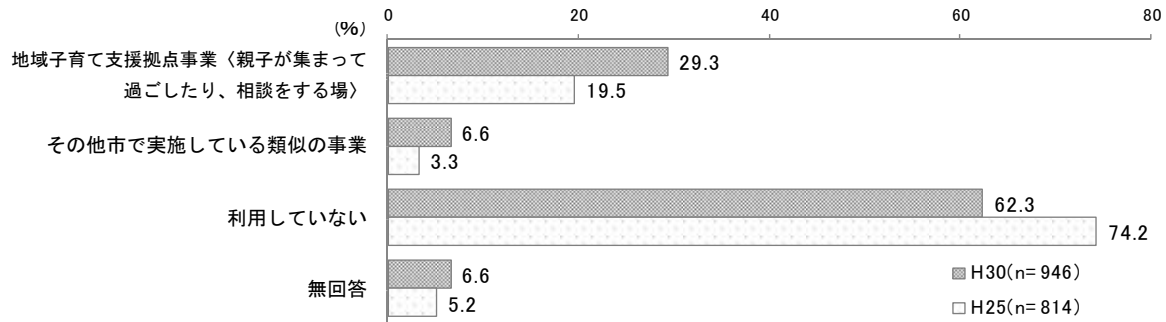
5. 地域の子育て支援事業の利用について

問 17 地域子育て支援拠点事業の利用状況 (MA)

「利用していない」が62.3%と最も多く、次いで「地域子育て支援拠点事業〈親子が集まって過ごしたり、相談をする場〉」が29.3%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「利用していない」が減少しています。

図表 41 地域子育て支援拠点事業の利用状況

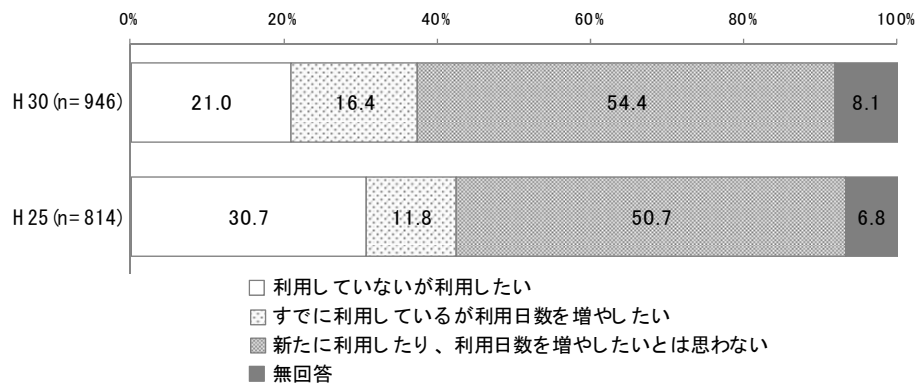


問 18 地域子育て支援事業の利用希望 (SA)

「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が54.4%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「利用していないが利用したい」が減少しています。

図表 42 地域子育て支援事業の利用希望



問 19 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望 (SA)

認知度は、「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 83.1%と最も多く、次いで「⑦児童センター・児童館」が 74.3%、「①マタニティスクール・両親学級」が 73.3%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「①マタニティスクール・両親学級」「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が減少しています。

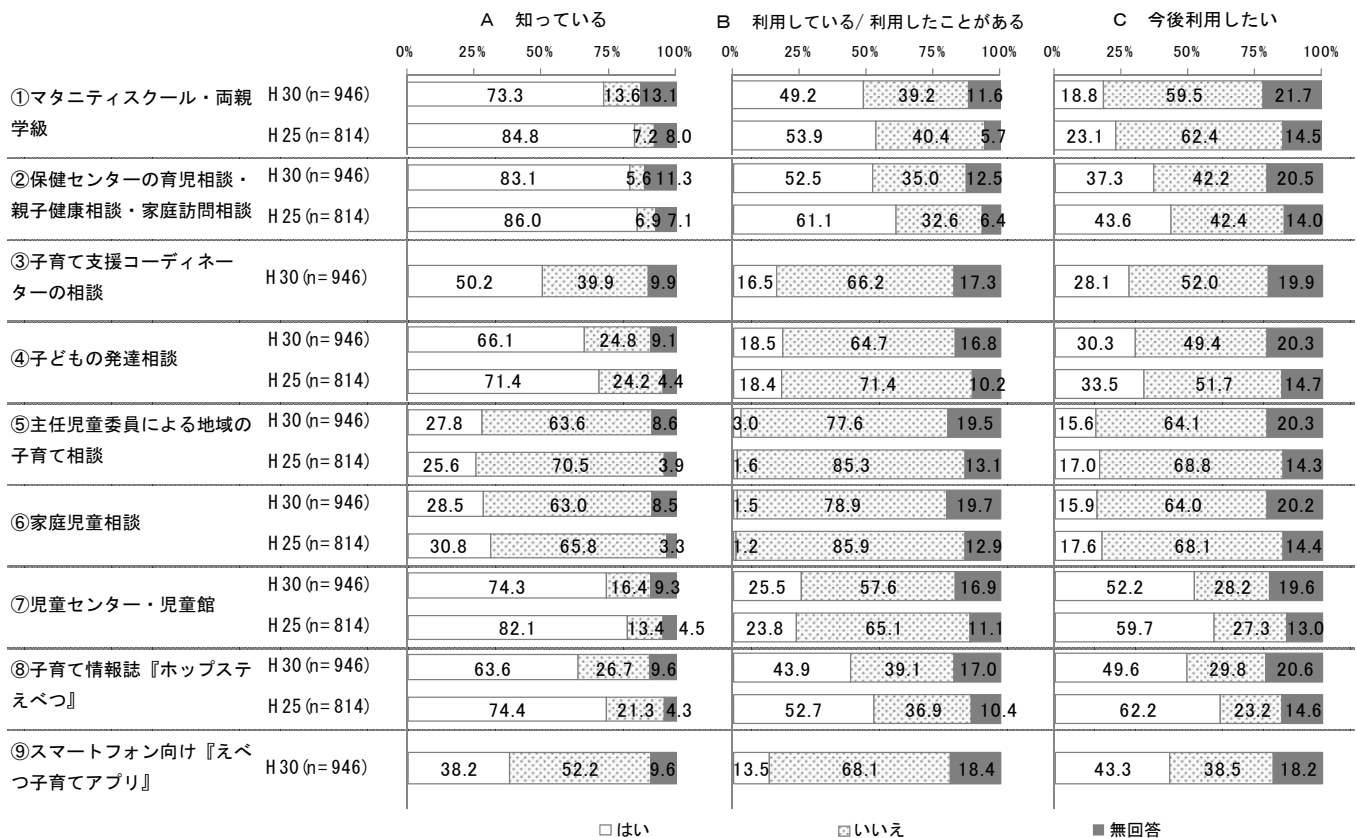
利用経験は、「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が 52.5%と最も多く、次いで「①マタニティスクール・両親学級」が 49.2%、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 43.9%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」「②保健センターの育児相談・親子健康相談・家庭訪問相談」が減少しています。

今後の利用希望は、「⑦児童センター・児童館」が 52.2%と最も多く、次いで「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が 49.6%、「⑨スマートフォン向け『えべつ子育てアプリ』」が 43.3%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「⑧子育て情報誌『ホップステップえべつ』」が減少しています。

図表 43 子育て支援事業の認知度・利用経験・利用希望

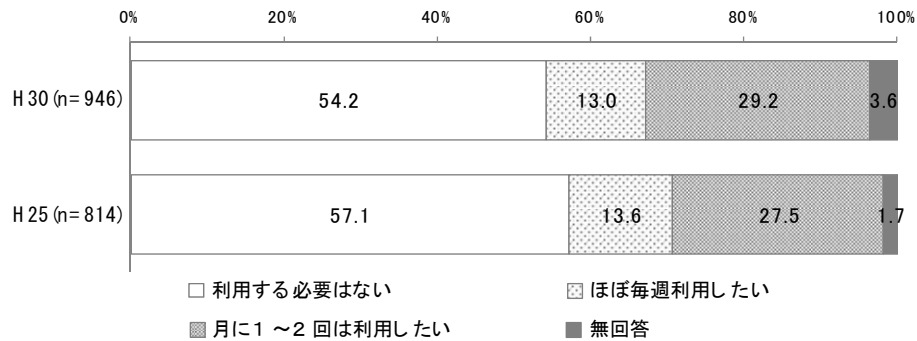


6. 土日等の定期的な教育・保育事業の利用について

問 20 (1) 土曜日の利用希望 (SA)

「利用する必要はない」が 54.2%となっています。

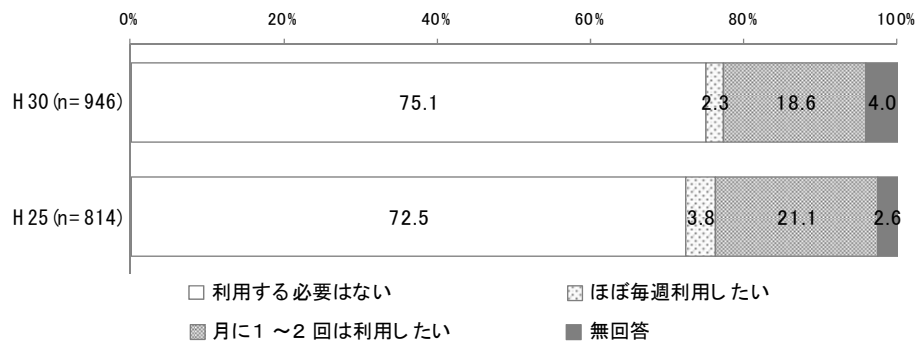
図表 44 土曜日の利用希望



問 20 (2) 日曜日・祝日の利用希望 (SA)

「利用する必要はない」が 75.1%となっています。

図表 45 日曜日・祝日の利用希望

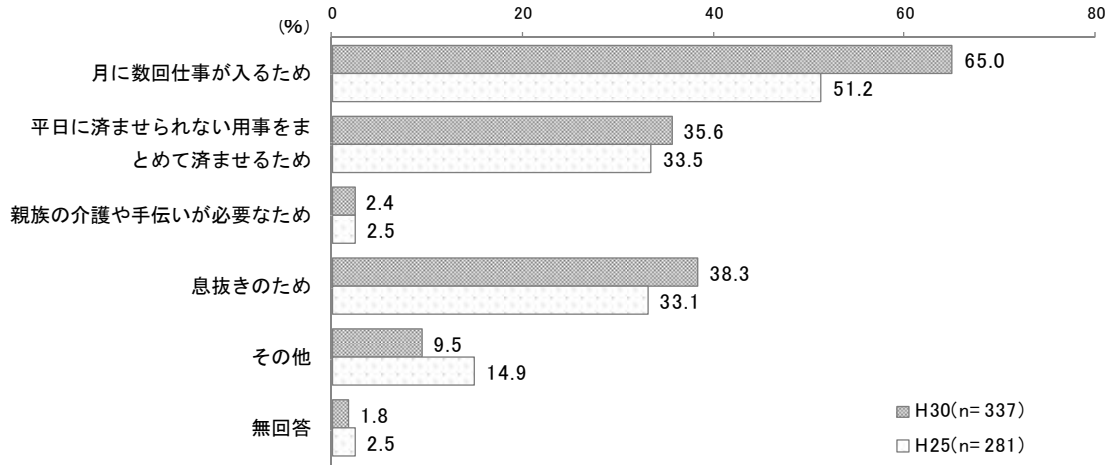


問 20-1 土曜日・日曜日・祝日にたまに利用したい理由 (MA)

「月に数回仕事が入るため」が65.0%と最も多く、次いで「息抜きのため」が38.3%、「平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため」が35.6%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「月に数回仕事が入るため」「息抜きのため」が増加しています。

図表 46 土曜日・日曜日・祝日にたまに利用したい理由



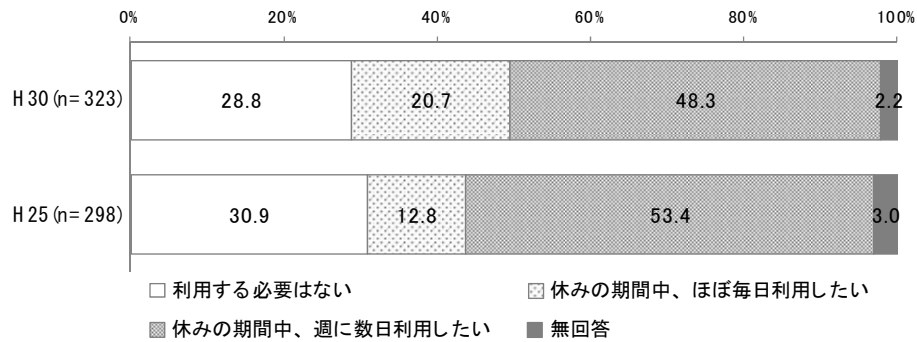
		問20-1 たまに利用したい理由						
		合計	月に数回仕事が入るため	平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため	親族の介護や手伝いが必要なため	息抜きのため	その他	無回答
全体		337	219	120	8	129	32	6
		100.0	65.0	35.6	2.4	38.3	9.5	1.8
問16 定期的に利用したい教育・保育の事業	幼稚園	152	91	57	2	62	20	2
		100.0	59.9	37.5	1.3	40.8	13.2	1.3
	幼稚園の預かり保育	115	73	44	3	47	17	1
		100.0	63.5	38.3	2.6	40.9	14.8	0.9
	認可保育園	174	119	60	2	67	18	3
		100.0	68.4	34.5	1.1	38.5	10.3	1.7
	認定こども園	161	113	63	4	66	12	2
		100.0	70.2	39.1	2.5	41.0	7.5	1.2
	小規模保育施設	21	14	9	-	9	2	-
		100.0	66.7	42.9	-	42.9	9.5	-
	家庭的保育	13	10	6	-	4	-	-
	100.0	76.9	46.2	-	30.8	-	-	
事業所内保育施設	15	12	6	-	7	-	-	
	100.0	80.0	40.0	-	46.7	-	-	
その他の認可外の保育施設	8	6	3	-	2	-	-	
	100.0	75.0	37.5	-	25.0	-	-	
ファミリーサポート・センター	29	20	10	-	16	3	1	
	100.0	69.0	34.5	-	55.2	10.3	3.4	
その他	12	7	6	-	6	2	-	
	100.0	58.3	50.0	-	50.0	16.7	-	

問 21 長期休暇（夏休み・冬休みなど）の利用希望（SA）

「休みの期間中、週に数日利用したい」が48.3%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「休みの期間中、ほぼ毎日利用したい」が増加しています。

図表 47 長期休暇の利用希望

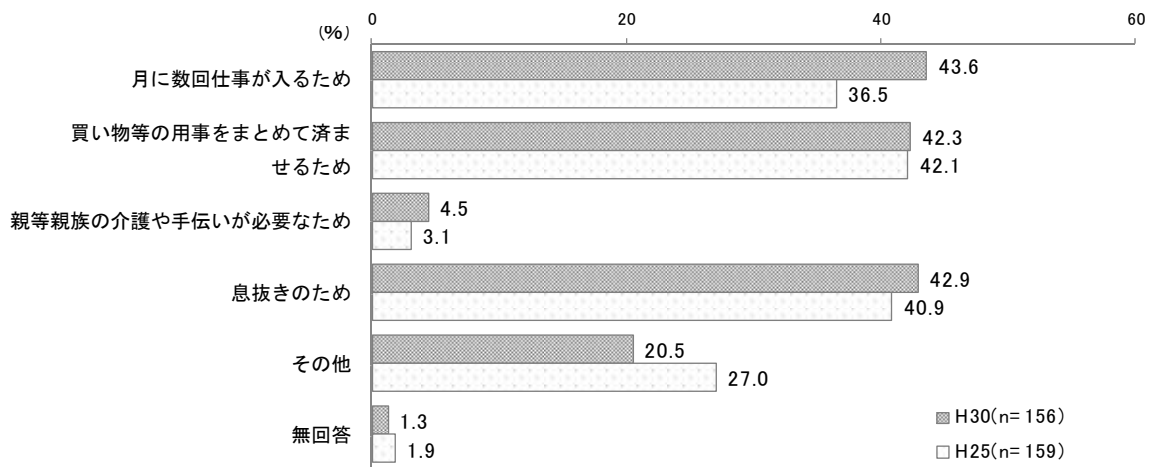


問 21-1 長期休暇（夏休み・冬休みなど）にたまに利用したい理由（MA）

「月に数回仕事が入るため」が43.6%と最も多く、次いで「息抜きのため」が42.9%、「買い物等の用事をまとめて済ませるため」が42.3%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「月に数回仕事が入るため」が増加しています。

図表 48 長期休暇にたまに利用したい理由

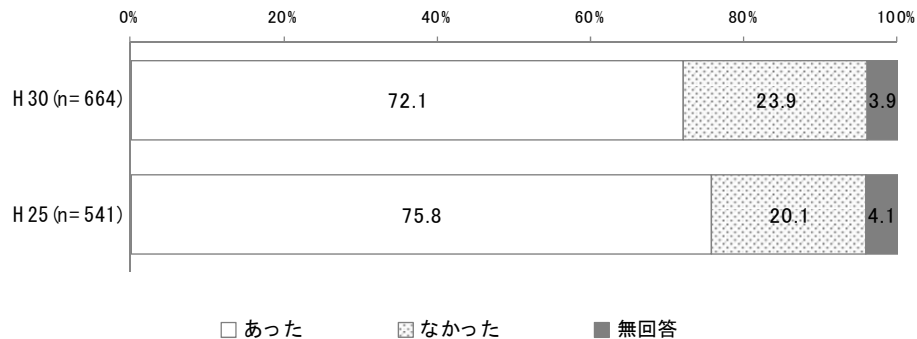


7. お子さんの病気の際の対応について

問 22 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験 (SA)

「あった」が72.1%、「なかった」が23.9%となっています。

図表 49 お子さんの病気やケガによって事業が利用できなかった経験

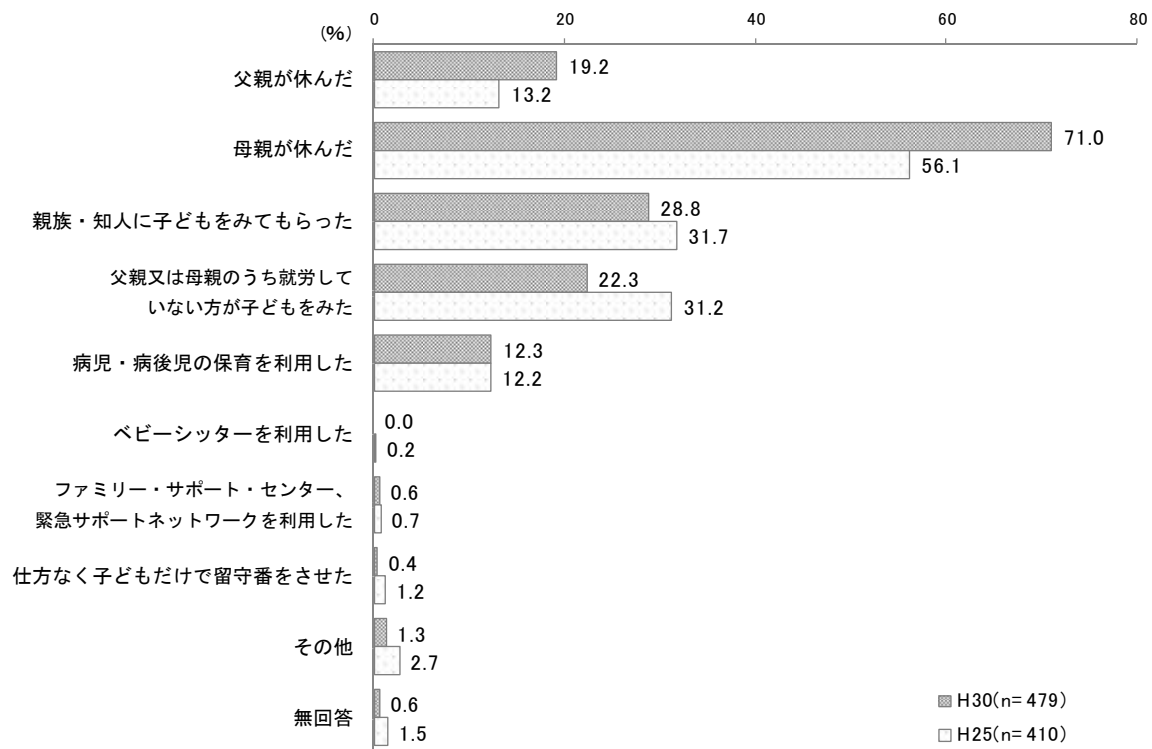


問 22-1 利用できなかったときの対処方法 (MA)

「母親が休んだ」が71.0%と最も多く、次いで「親族・知人に子どもをみてもらった」が28.8%、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が22.3%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「母親が休んだ」「父親が休んだ」が増加し、「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が減少しています。

図表 50 利用できなかったときの対処方法

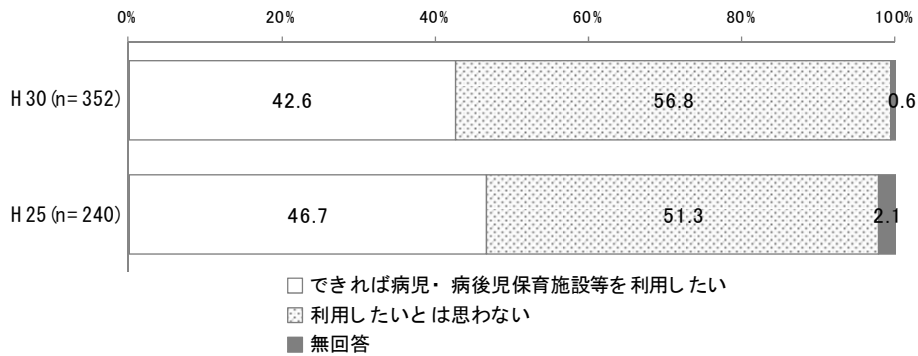


問 22-2 病児・病後児の保育施設等の利用希望 (SA・NA)

「利用したいとは思わない」が56.8%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が42.6%となっています。

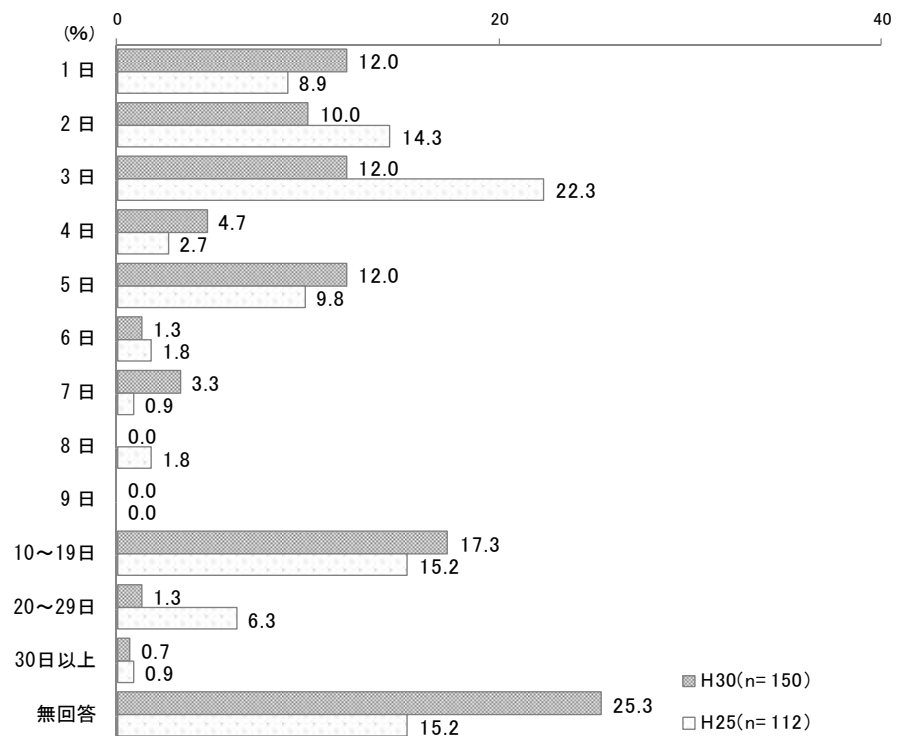
前回調査 (H25) と比較して、「利用したいとは思わない」が増加しています。

図表 51 病児・病後児の保育施設等の利用希望



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方の利用希望日数は、「10～19日」が17.3%と最も多く、次いで「1日」「3日」「5日」が各12.0%となっています。

図表 52 病児・病後児保育施設等の利用希望日数

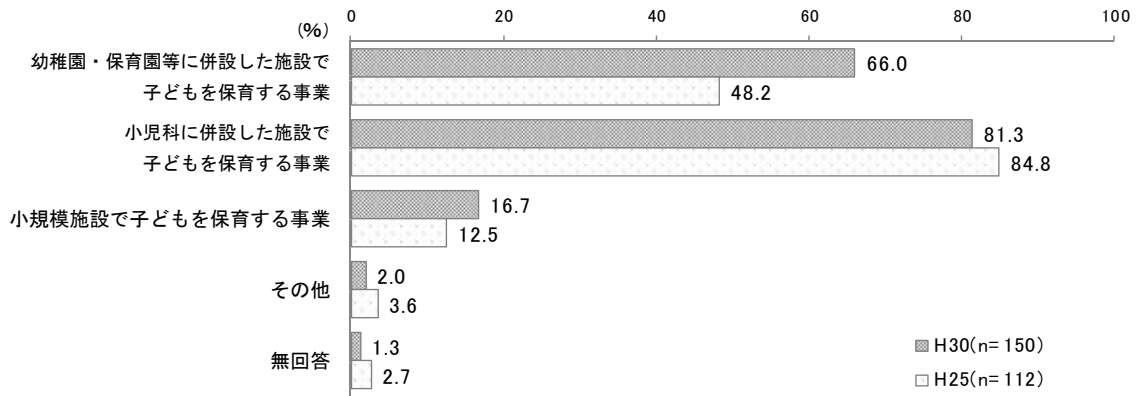


問 22-3 病児・病後児の保育施設等の望ましい事業形態 (MA)

「小児科に併設した施設で子どもを保育する事業」が81.3%と最も多く、次いで「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が66.0%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「幼稚園・保育園等に併設した施設で子どもを保育する事業」が増加しています。

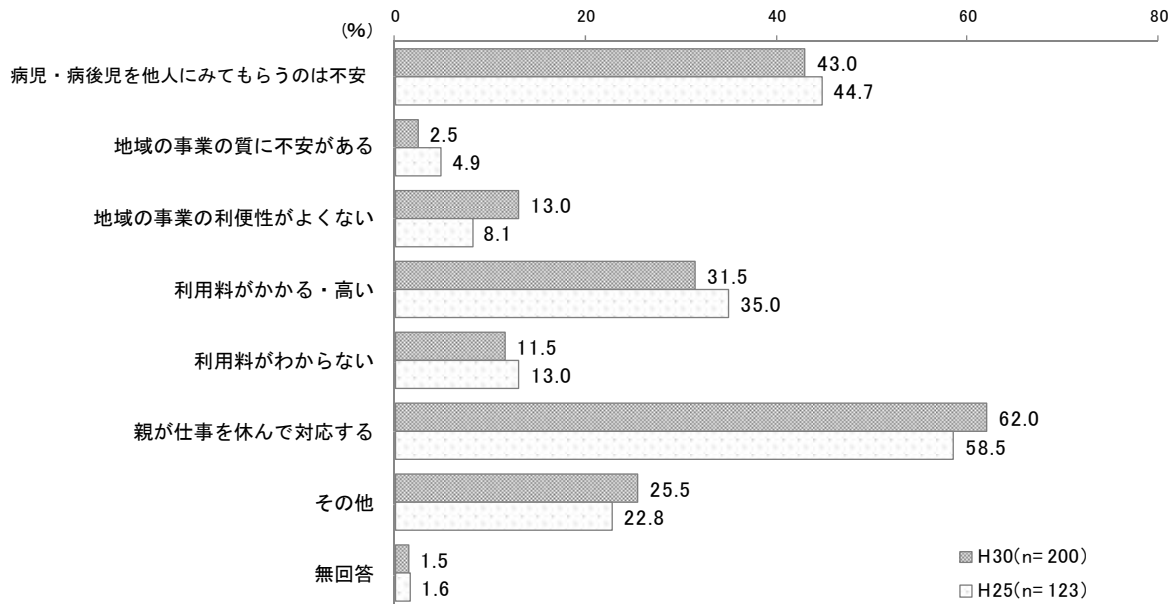
図表 53 病児・病後児の保育施設等の望ましい事業形態



問 22-4 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由 (MA)

「親が仕事を休んで対応する」が62.0%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が43.0%、「利用料がかかる・高い」が31.5%となっています。

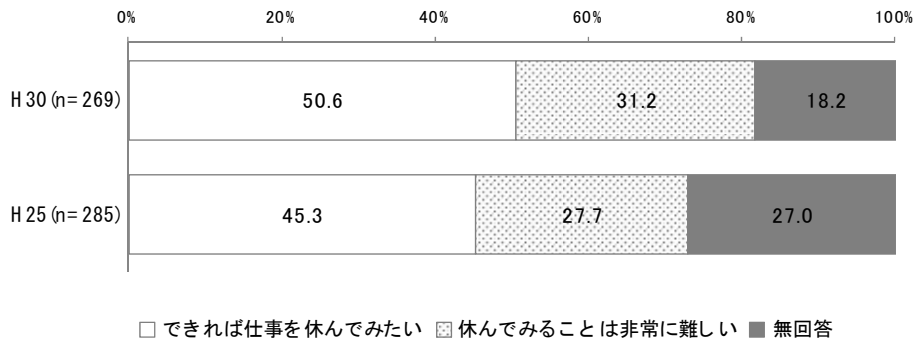
図表 54 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由



問 22-5 仕事を休んで対処をしたかったか (SA)

「できれば仕事を休んでみたい」が50.6%、「休んでみることは非常に難しい」が31.2%となっています。

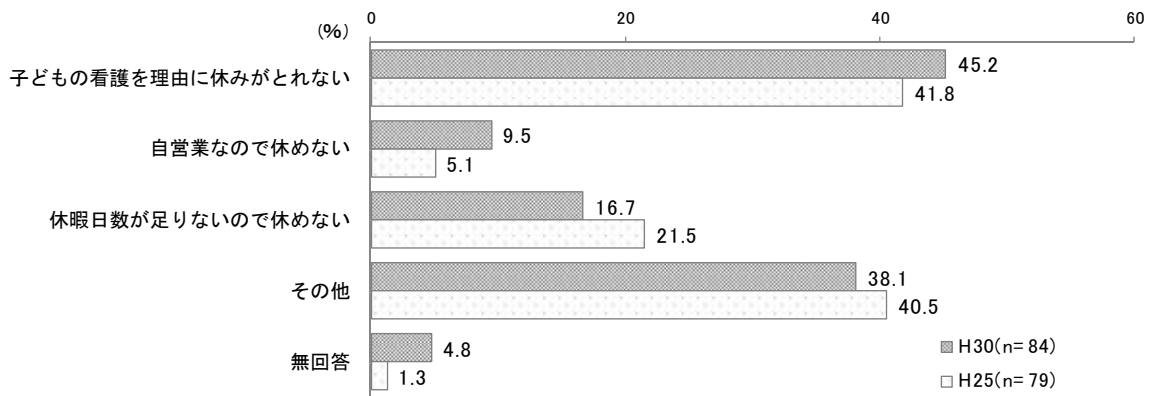
図表 55 仕事を休んで対処をしたかったか



問 22-6 仕事を休めない理由 (MA)

「子どもの看護を理由に休みがとれない」が45.2%と最も多くなっています。

図表 56 仕事を休めない理由



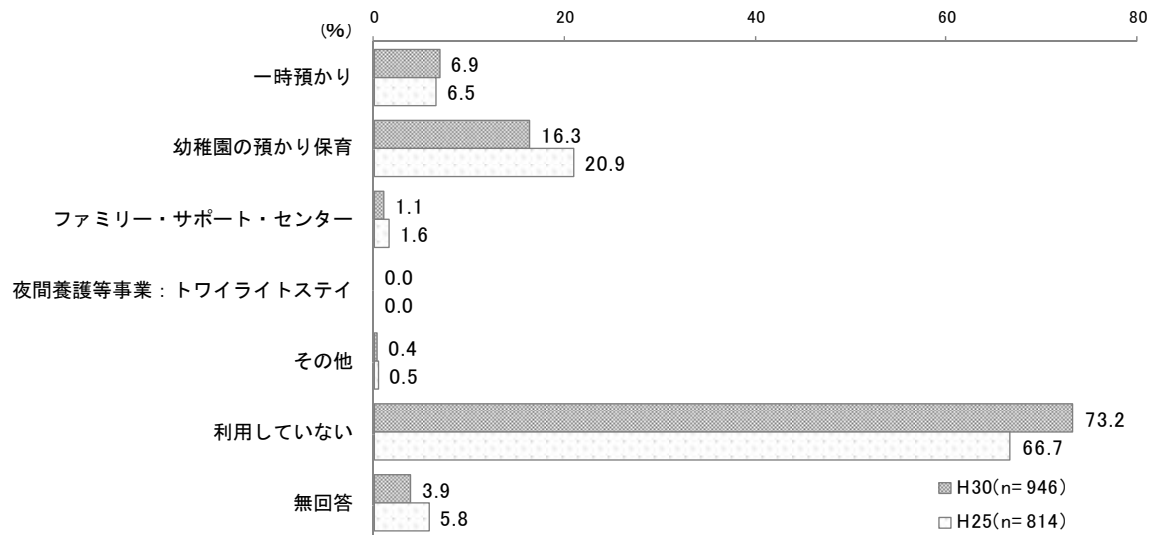
8. 一時預かり等の不定期の教育・保育事業の利用について

問 23 不定期に利用している教育・保育事業（MA）

「利用していない」が73.2%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「利用していない」が増加しています。

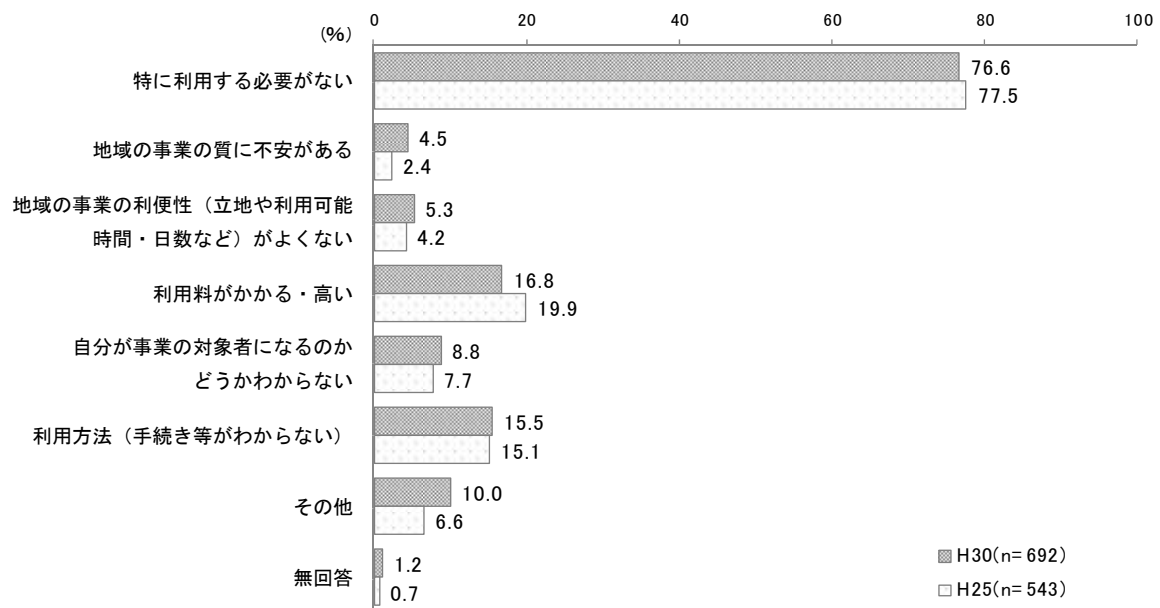
図表 57 不定期に利用している教育・保育事業



問 23-1 利用をしていない理由（MA）

「特に利用する必要がない」が76.6%と最も多く、次いで「利用料がかかる・高い」が16.8%、「利用方法（手続き等がわからない）」が15.5%となっています。

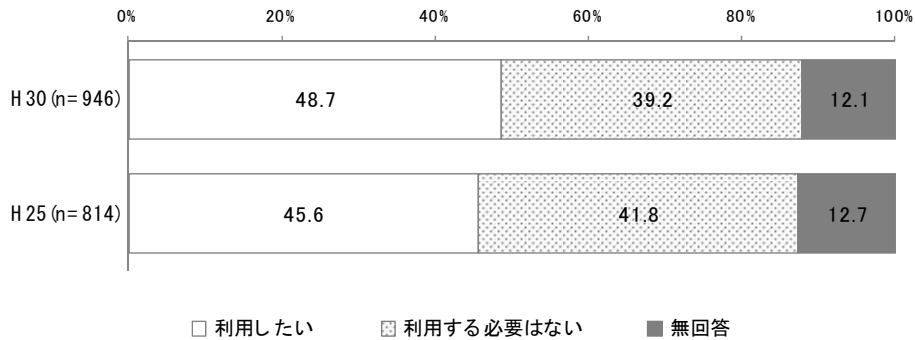
図表 58 利用をしていない理由



問 24 不定期の教育・保育事業の利用希望と目的 (SA・MA)

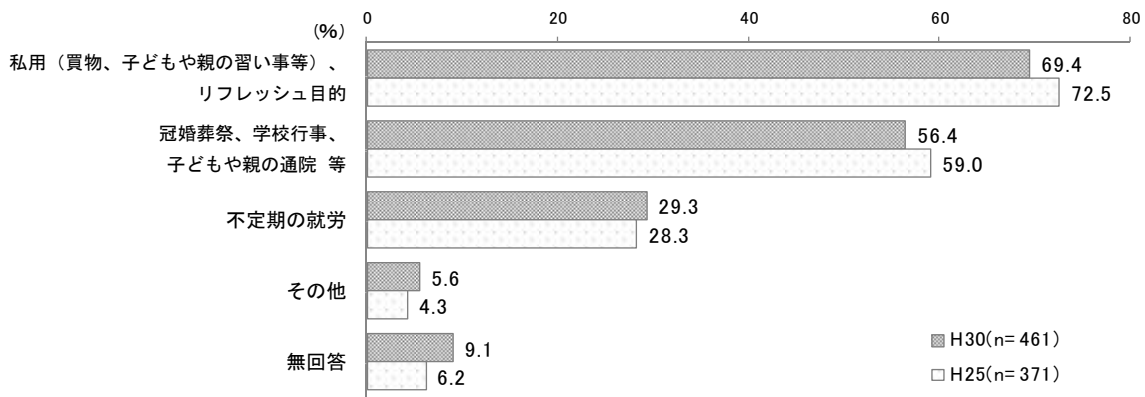
「利用したい」が48.7%、「利用する必要はない」が39.2%となっています。

図表 59 不定期の教育・保育事業の利用希望



「利用したい」と回答した方の利用目的は、「私用、リフレッシュ目的」が69.4%と最も多く、次いで「冠婚葬祭、学校行事、子どもや親の通院等」が56.4%となっています。

図表 60 不定期の教育・保育事業の利用目的

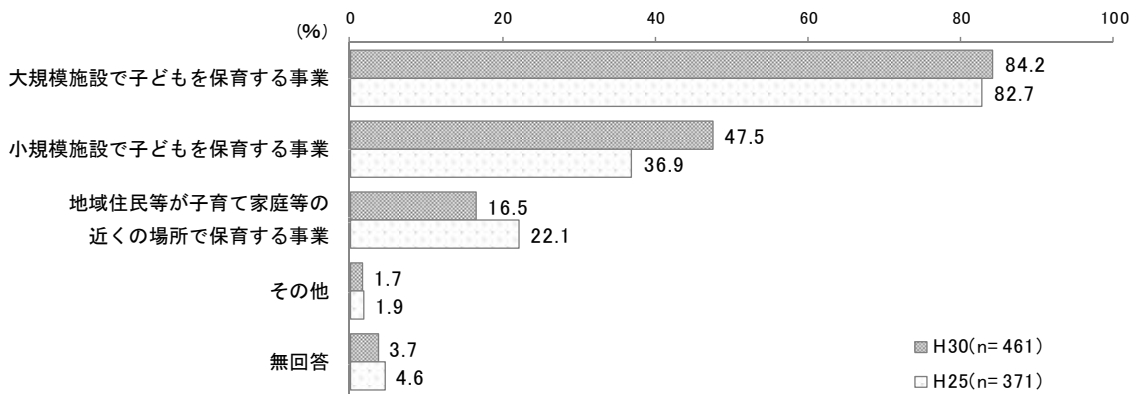


問 24-1 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態 (MA)

「大規模施設で子どもを保育する事業」が84.2%と最も多く、次いで「小規模施設で子どもを保育する事業」が47.5%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「小規模施設で子どもを保育する事業」が増加し、「地域住民等が子育て家庭等の近くの場所で保育する事業」が減少しています。

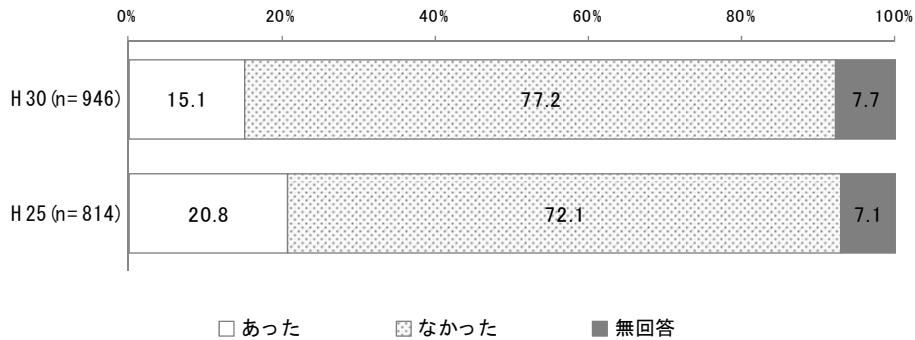
図表 61 不定期の教育・保育事業の望ましい事業形態



問 25 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無 (SA・MA)

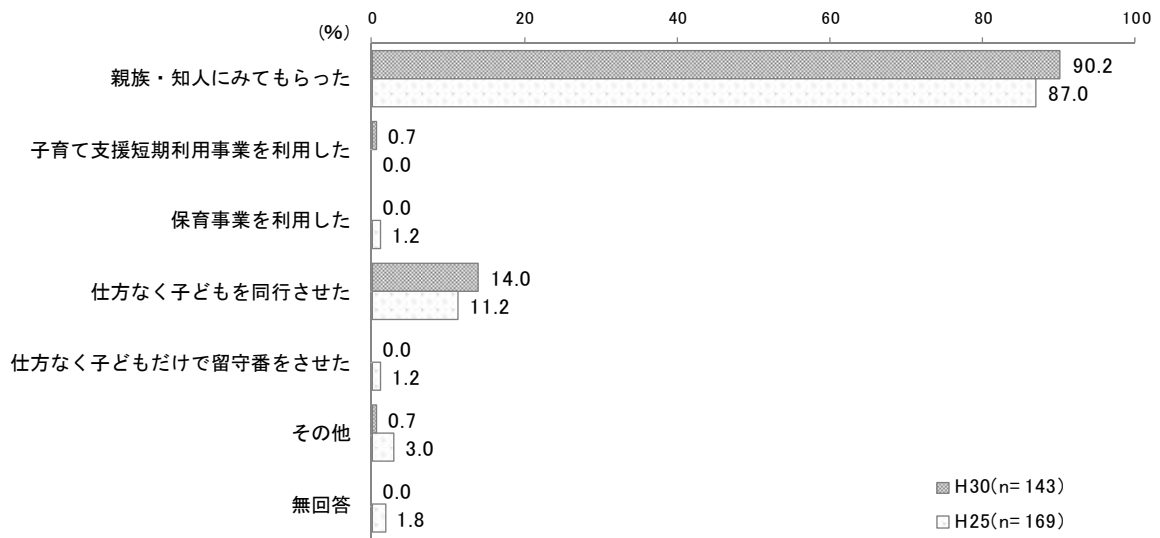
「なかった」が77.2%、「あった」が15.1%となっています。

図表 62 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無



「あった」と回答した方の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が90.2%と最も多くなっています。

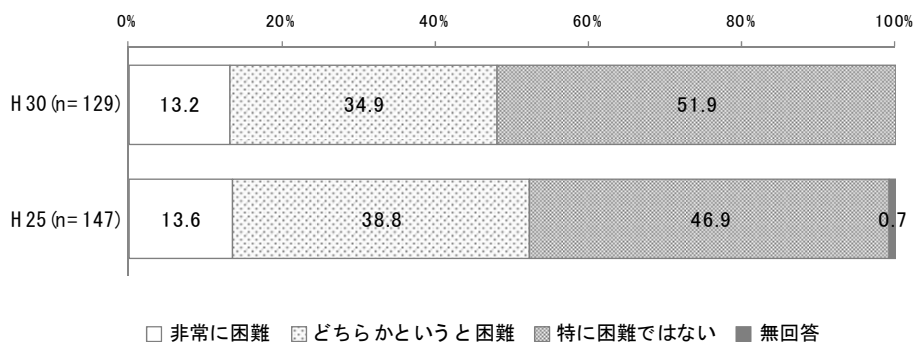
図表 63 対処方法



問 25-1 宿泊を伴う一時預かり等の利用する場合の困難度 (SA)

「特に困難ではない」が51.9%となっています。

図表 64 宿泊を伴う一時預かり等の利用する場合の困難度



9. 就学後における放課後の過ごし方について

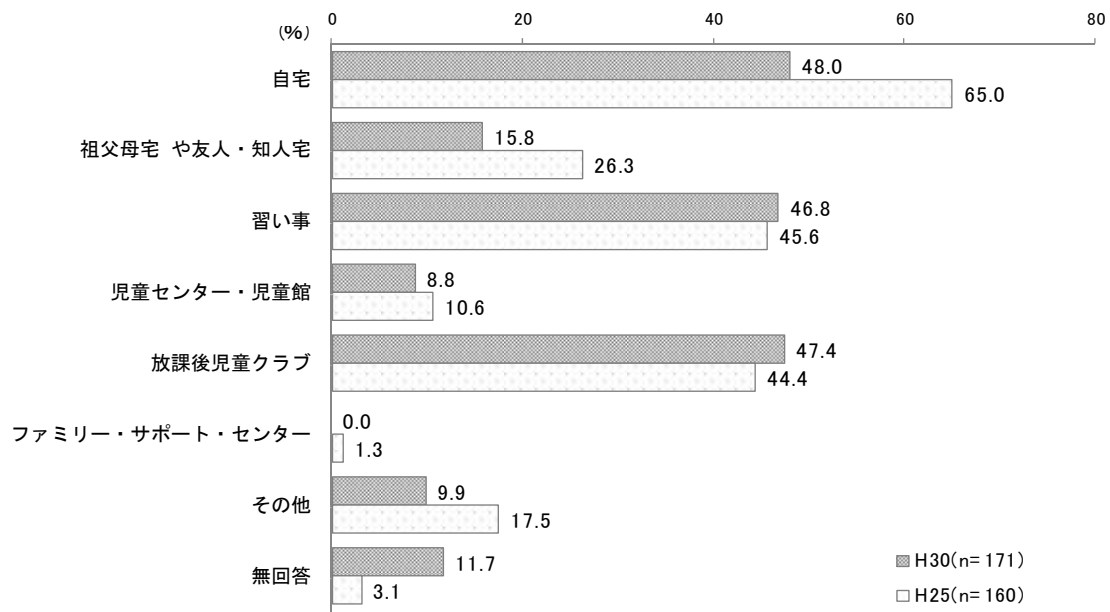
問 26 就学後の放課後に希望する居場所 (MA)

【1～3年生までの間】

「自宅」が48.0%と最も多く、次いで「放課後児童クラブ」が47.4%、「習い事」が46.8%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「自宅」「祖父母宅や友人・知人宅」が減少しています。

図表 65 就学後の放課後に希望する居場所 低学年

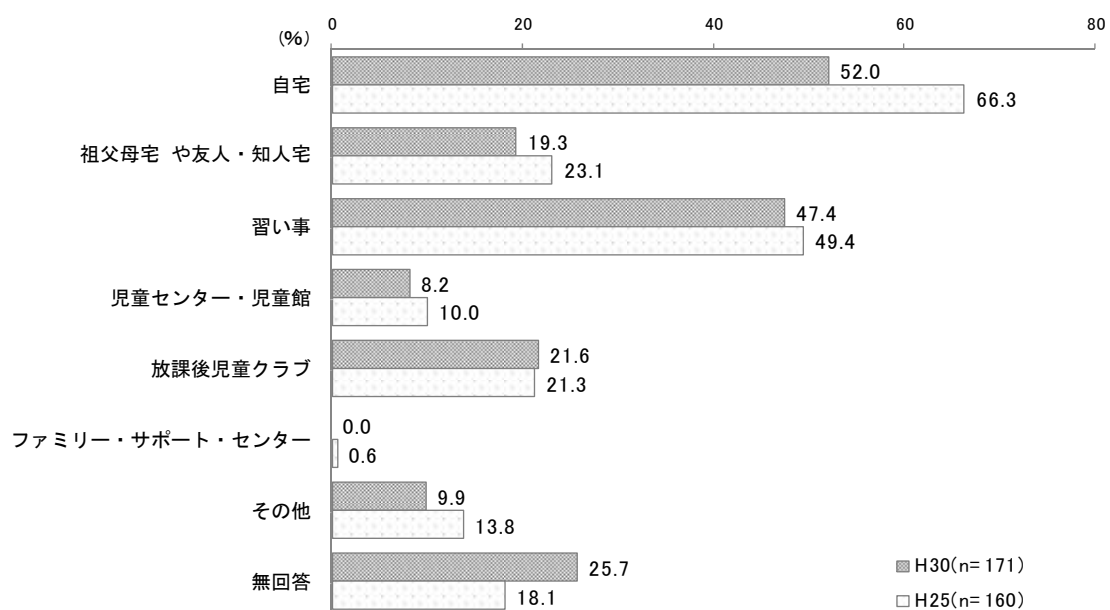


【4～6年生までの間】

「自宅」が52.0%と最も多く、次いで「習い事」が47.4%、「放課後児童クラブ」が21.6%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「自宅」が減少しています。

図表 66 就学後の放課後に希望する居場所 高学年



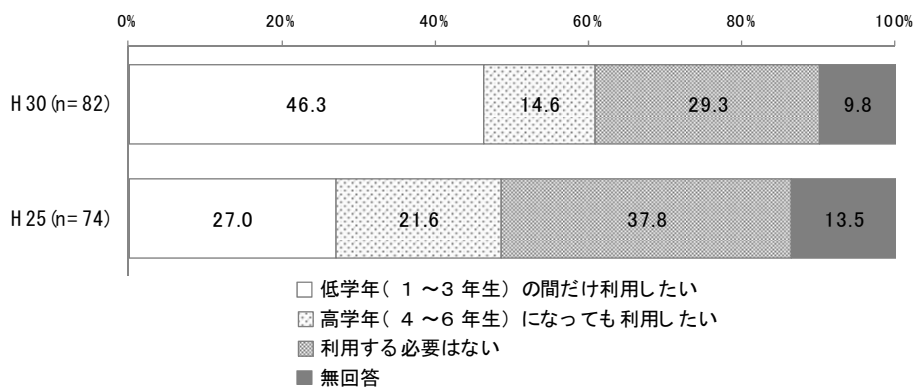
問 27 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）での放課後児童クラブの利用希望（SA）

【土曜日の利用希望】

「低学年の間だけ利用したい」が46.3%と最も多く、次いで「利用する必要はない」が29.3%、「高学年になっても利用したい」が14.6%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「低学年の間だけ利用したい」が増加し、「利用する必要はない」「高学年になっても利用したい」が減少しています。

図表 67 土曜日の利用希望

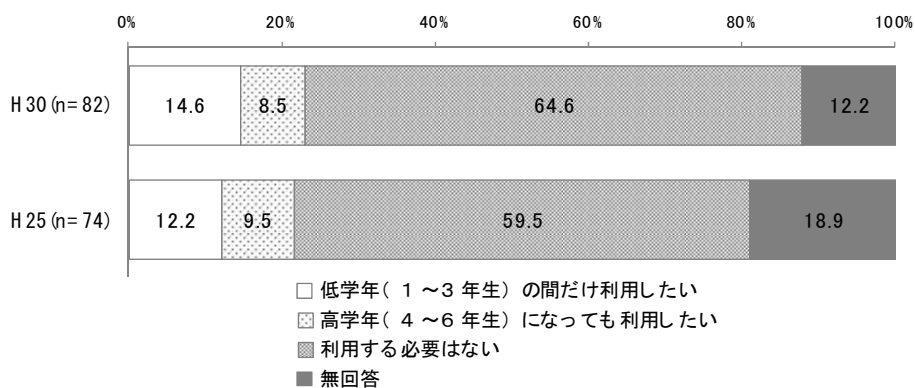


【日曜日・祝日の利用希望】

「利用する必要はない」が64.6%と最も多く、次いで「低学年の間だけ利用したい」が14.6%、「高学年になっても利用したい」が8.5%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「利用する必要はない」が増加しています。

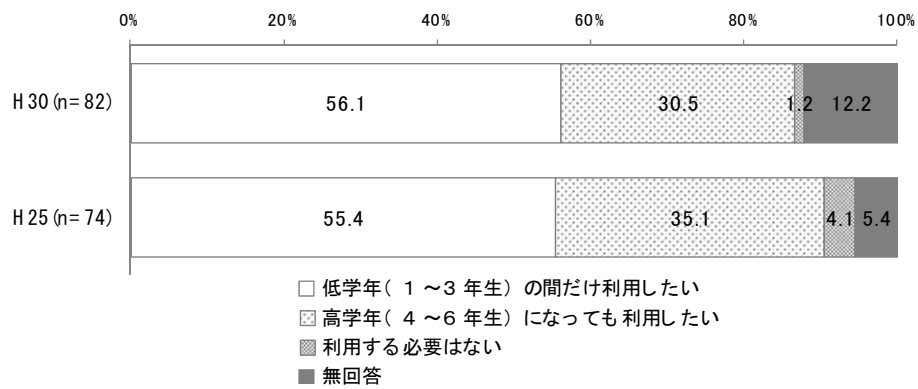
図表 68 日曜日・祝日の利用希望



【長期休暇の利用希望】

「低学年の間だけ利用したい」が56.1%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が30.5%、「利用する必要はない」が1.2%となっています。

図表 69 長期休暇の利用希望



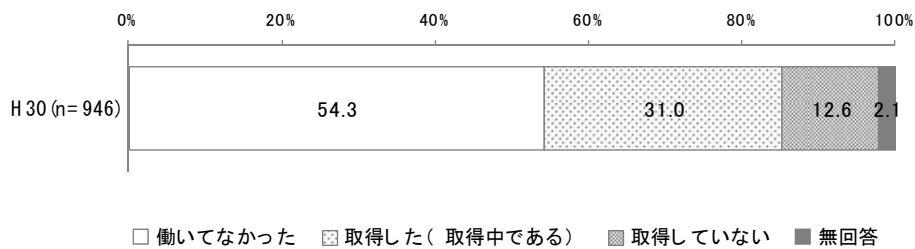
10. 育児休業等の職場の両立支援制度について

問 28 育児休業の取得の有無 (SA・MA)

【母親】

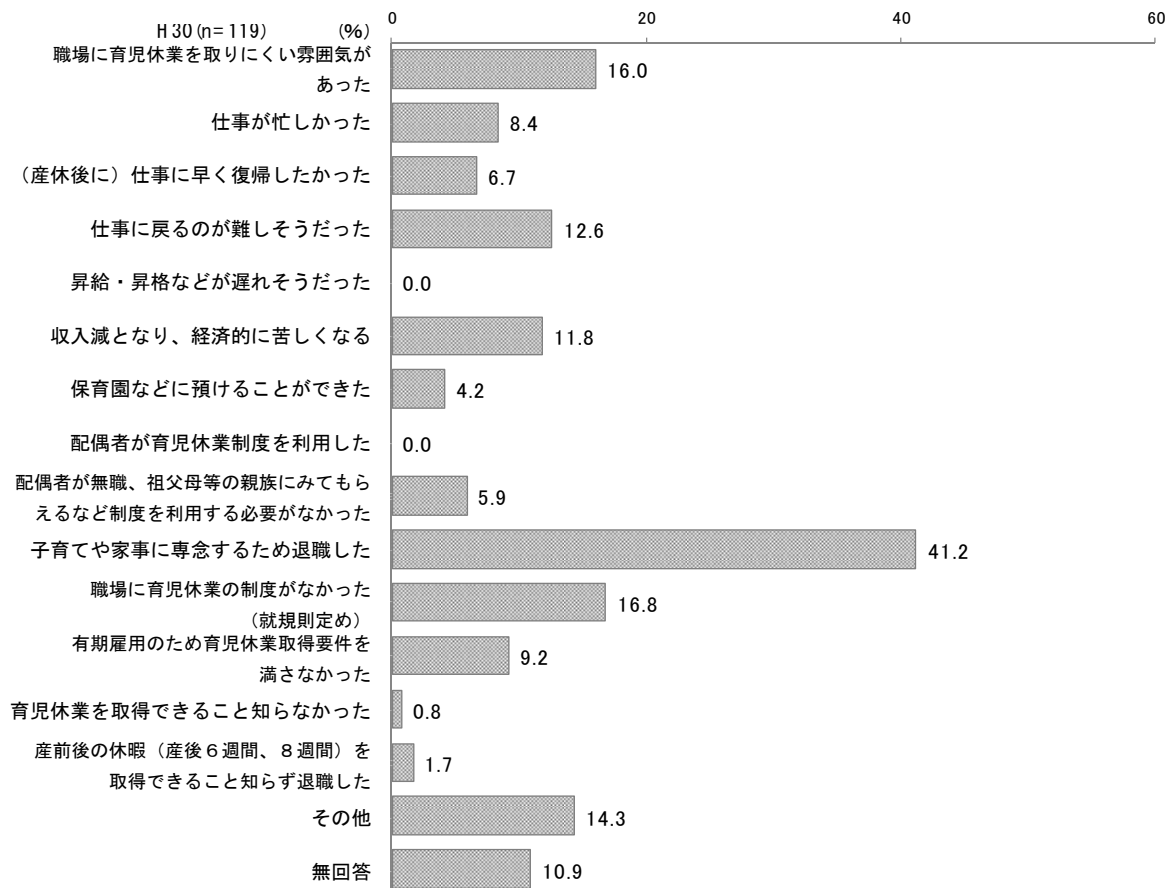
「働いていなかった」が 54.3%と最も多く、次いで「取得した（取得中である）」が 31.0%、「取得していない」が 12.6%となっています。

図表 70 母親の育児休業の取得の有無



「取得していない」と回答した方の理由は、「子育てや家事に専念するため退職した」が 41.2%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が 16.8%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が 16.0%となっています。

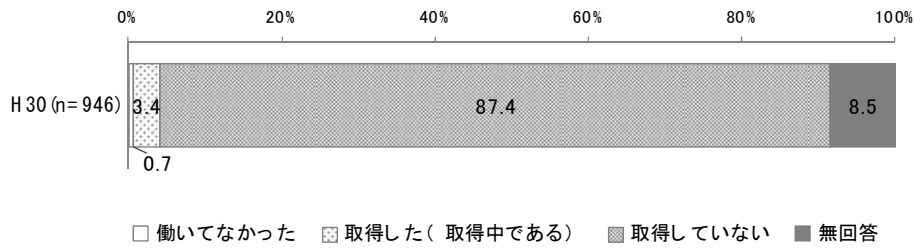
図表 71 母親の取得していない理由



【父親】

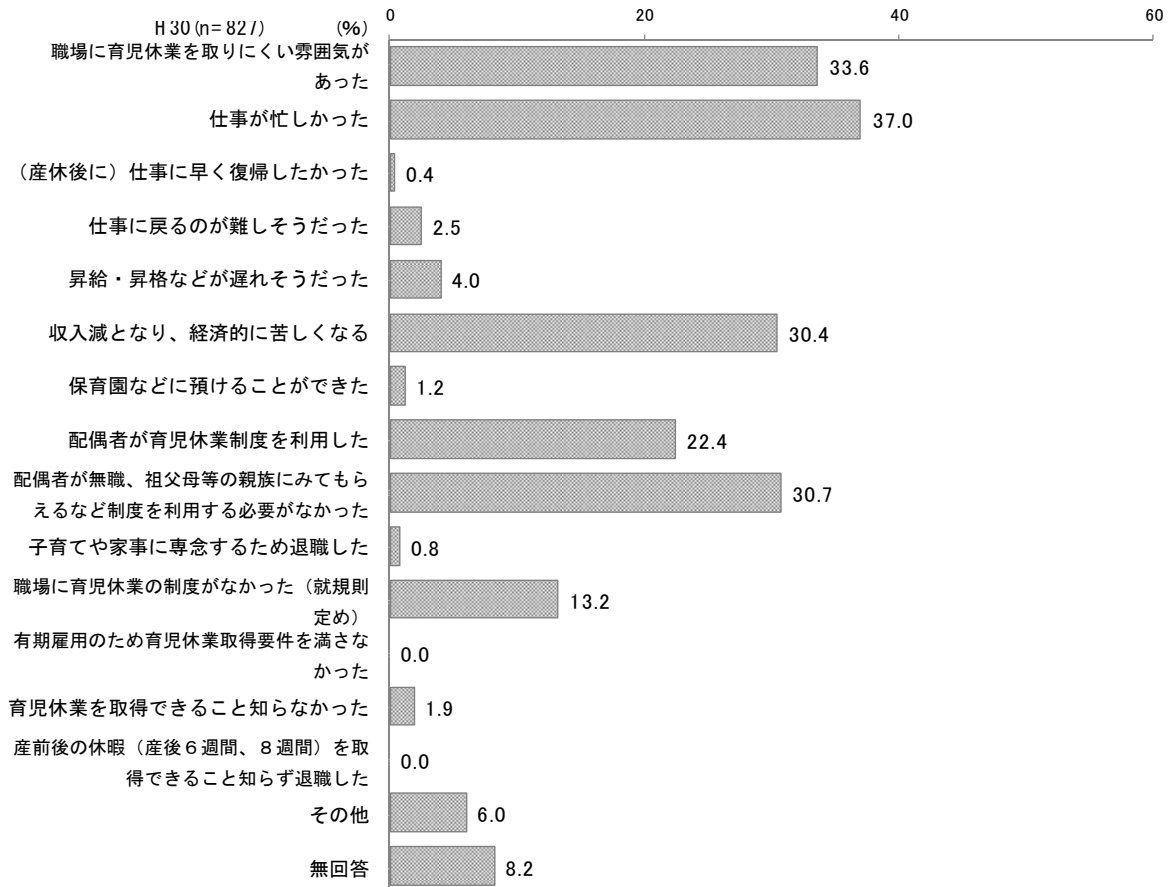
「取得していない」が87.4%と最も多くなっています。

図表 72 父親の育児休業の取得の有無



「取得していない」と回答した方の理由は、「仕事が忙しかった」が37.0%と最も多く、次いで「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が33.6%、「配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど制度を利用する必要がなかった」が30.7%となっています。

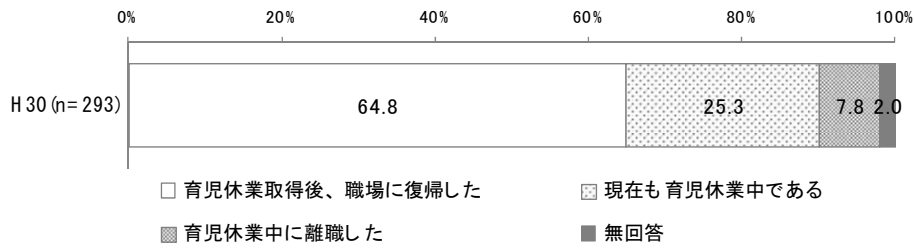
図表 73 父親の取得していない理由



問 28-1 (1) 母親の育児休業後の職場復帰の有無 (SA)

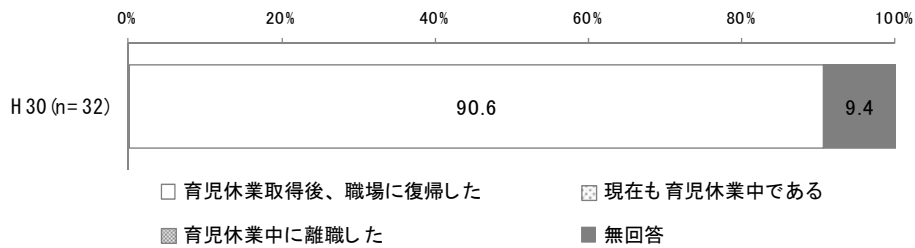
「育児休業取得後、職場に復帰した」が 64.8%と最も多く、次いで「現在も育児休業中である」が 25.3%、「育児休業中に離職した」が 7.8%となっています。

図表 74 母親の育児休業後の職場復帰の有無



問 28-1 (2) 父親の育児休業後の職場復帰の有無 (SA)

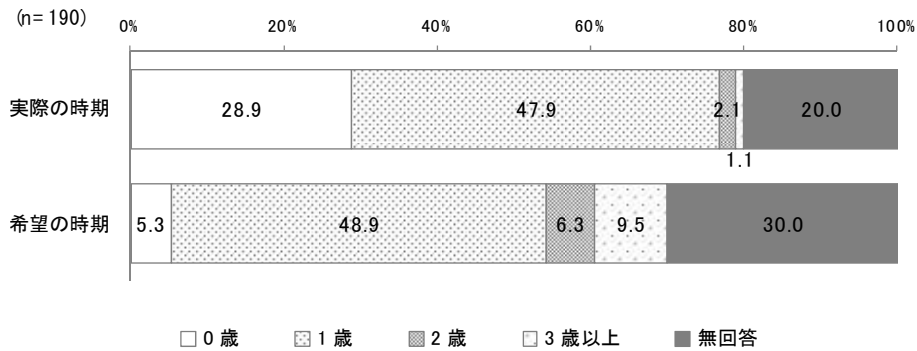
図表 75 父親の育児休業後の職場復帰の有無



問 28-2 (1) 母親の育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間 (NA)

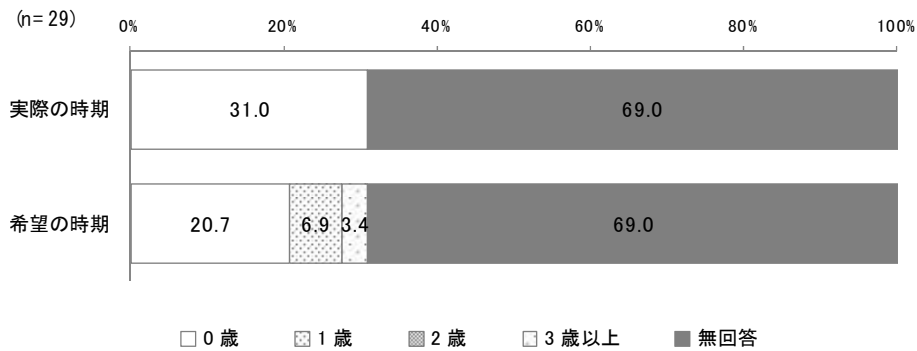
実際の取得期間は「1歳」が47.9%と最も多く、希望の取得期間も「1歳」が48.9%と最も多くなっています。

図表 76 母親の育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間



問 28-2 (2) 父親の育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間 (NA)

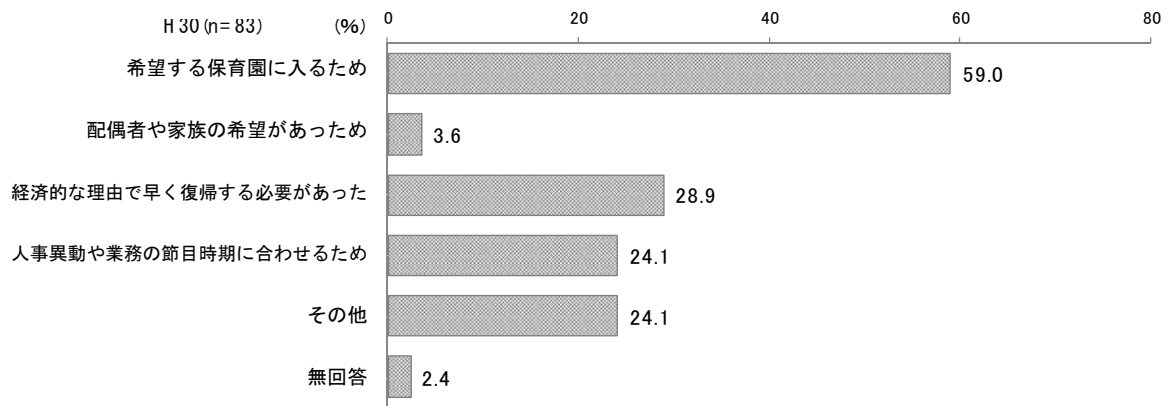
図表 77 父親の育児休業の実際の取得期間と希望の取得期間



問 28-3 (1) 母親の希望より早く職場復帰した理由 (MA)

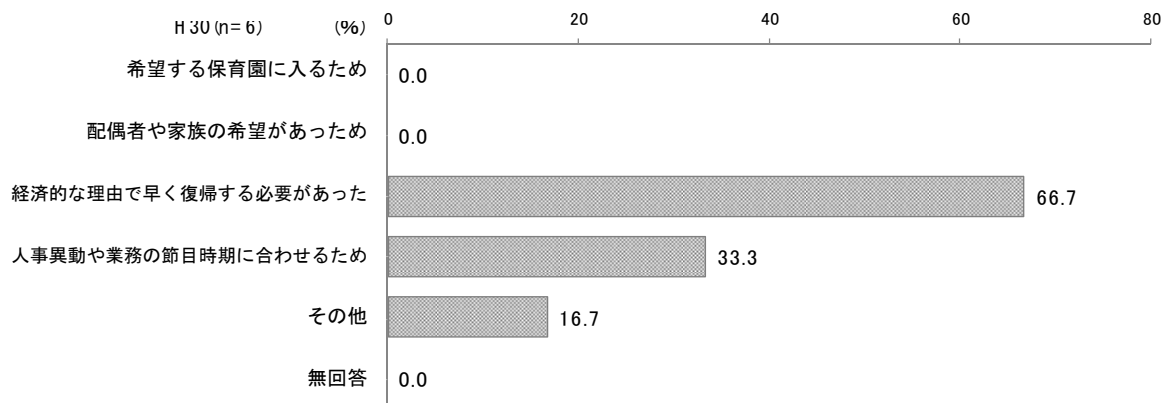
「希望する保育園に入るため」が 59.0%と最も多く、「経済的な理由で早く復帰する必要があった」が 28.9%となっています。

図表 78 母親の希望より早く職場復帰した理由



問 28-3 (2) 父親の希望より早く職場復帰した理由 (MA)

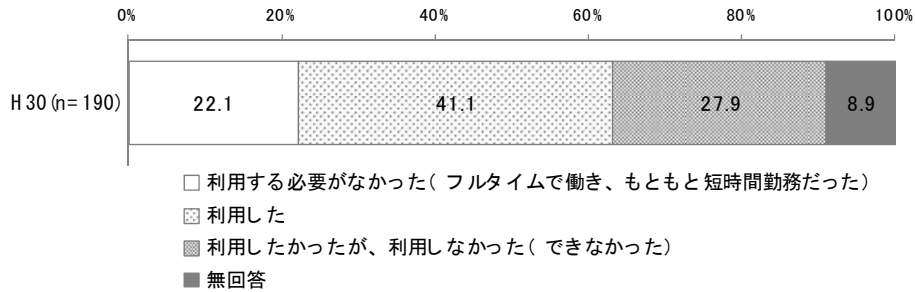
図表 79 父親の希望より早く職場復帰した理由



問 28-4 (1) 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無 (SA)

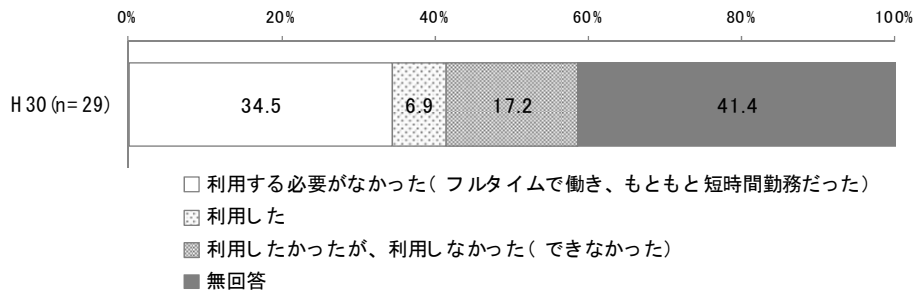
「利用した」が 41.1%と最も多く、次いで「利用したかったが、利用しなかった(できなかった)」が 27.9%、「利用する必要がなかった(フルタイムで働き、もともと短時間勤務だった)」が 22.1%となっています。

図表 80 母親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無



問 28-4 (2) 父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無 (SA)

図表 81 父親の職場復帰時の短時間勤務制度の利用の有無

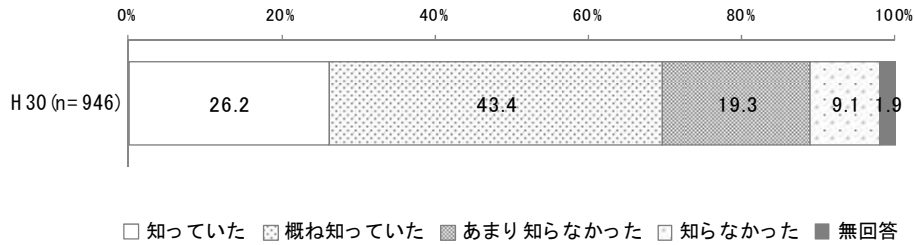


1.1. 幼児教育・保育の無償化について

問 29 幼児教育・保育の無償化の認知度 (SA)

「知っていた」と「概ね知っていた」の合計が69.6%となっています。

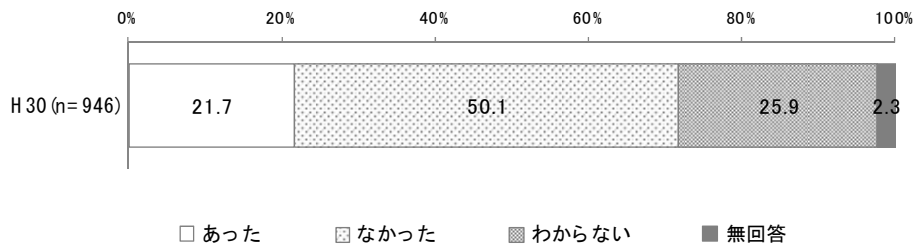
図表 82 幼児教育・保育の無償化の認知度



問 30 就労意欲や教育・保育事業の利用希望の変化 (SA)

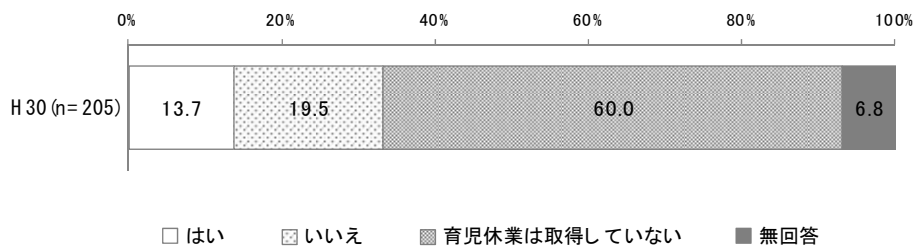
「あった」が21.7%、「なかった」が50.1%となっています。

図表 83 就労意欲や教育・保育事業の利用希望の変化



問 30-1 育児休業期間短縮の検討 (SA)

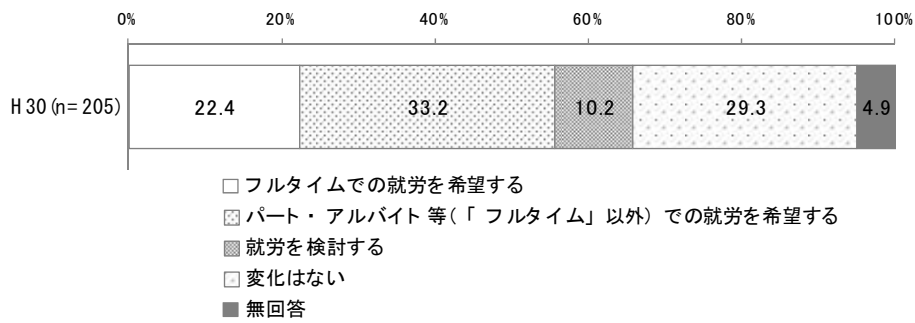
図表 84 育児休業期間短縮の検討



問 30-2 母親の就労希望の変化 (SA)

「フルタイムでの就労を希望する」と「パート・アルバイト等での就労を希望する」の合計が 55.6% となっており、「就労を検討する」も 10.2% となっています。

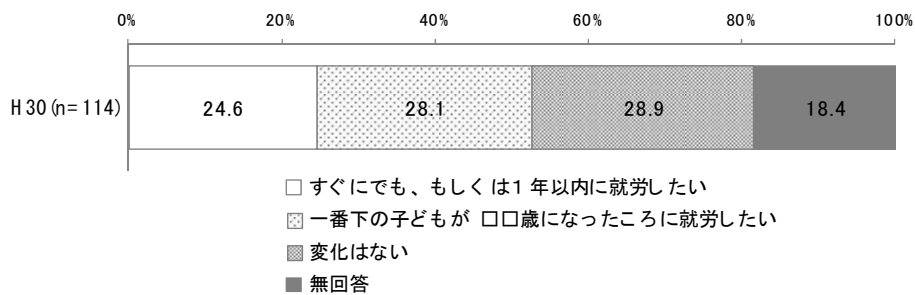
図表 85 母親の就労希望の変化



問 30-3 母親の就労希望時期の変化 (SA・NA)

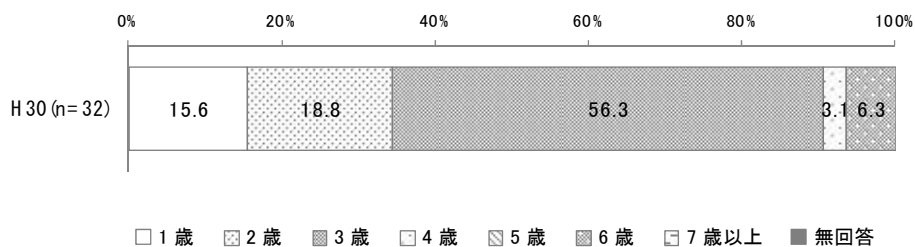
「すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい」が 24.6%、「一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」が 28.1% となっています。

図表 86 母親の就労希望時期の変化



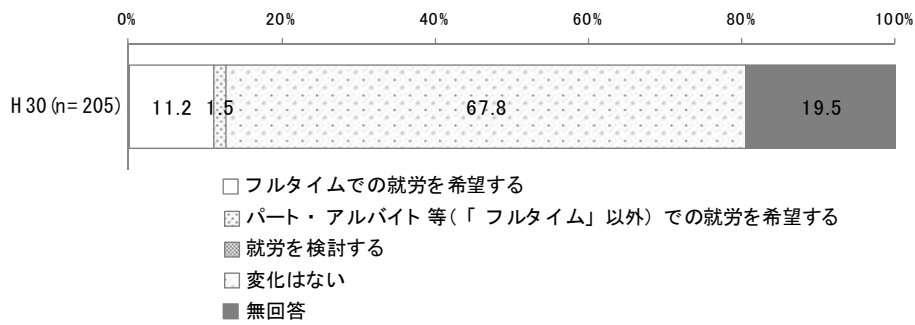
「一番下の子どもが□□歳になったところに就労したい」と回答した方の□□歳頃の年齢は、「3歳」が 56.3% と最も多く、次いで「2歳」が 18.8%、「1歳」が 15.6% となっています。

図表 87 □□歳になったころ



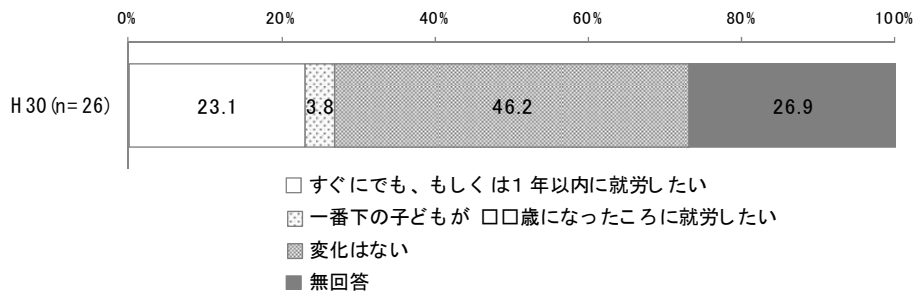
問 30-4 父親の就労希望の変化 (SA)

図表 88 父親の就労希望に変化があったか



問 30-5 父親の就労希望時期の変化 (SA)

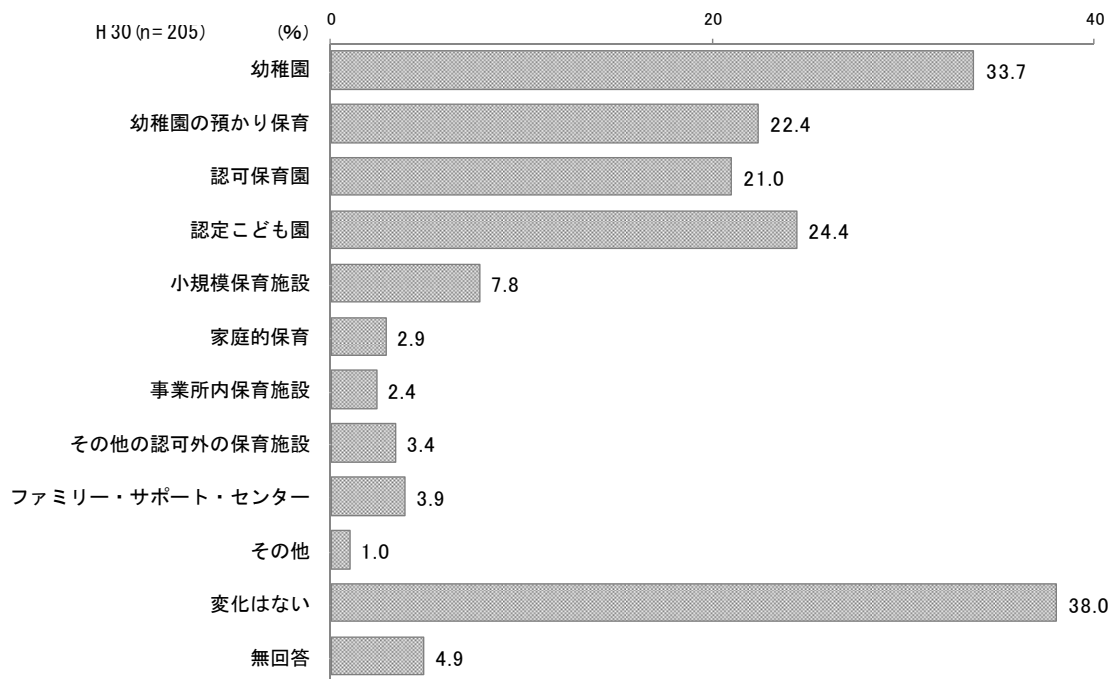
図表 89 父親の就労時期の希望に変化があったか



問 30-6 定期的にご利用したい教育・保育事業の変化 (MA)

「変化はない」が38.0%と最も多く、次いで「幼稚園」が33.7%、「認定こども園」が24.4%となっています。

図表 90 定期的にご利用したい教育・保育事業の変化



問 31 幼児教育・保育の無償化についてのご意見（FA）

幼児教育・保育の無償化について、345人からご意見等をいただきました。
主な意見内容等は、以下のとおりです。

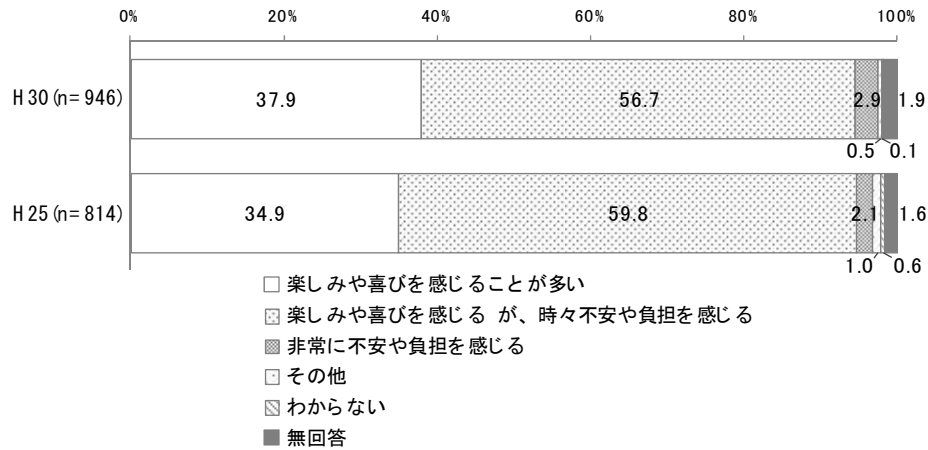
- 無償化になると待機児童が発生しないか心配になる。
- 保育士・幼稚園教諭の待遇改善をして欲しい。
- 無償化の対象者を年齢や課税状況に関係なくして欲しい。
- もっと早く無償化にして欲しかった。
- 無償化をするより医療費無料化や児童手当の増額をして欲しい。
- 無償化になるとありがたい。

1 2. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 32 子育ての感想 (SA)

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が 56.7%と最も多く、次いで「楽しみや喜びを感じることが多い」が 37.9%となっています。

図表 91 子育ての感想



問 32-1 理由 (FA)

理由について、622 人が回答しています。

主な意見内容等は、以下のとおりです。

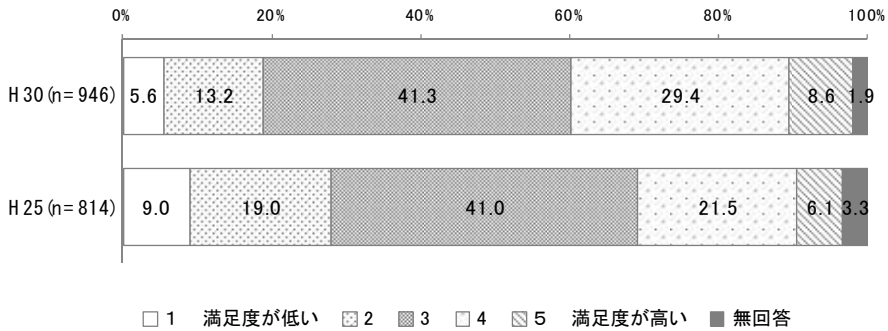
○負担や不安を感じる理由としては、自分の時間が持てない、預けたい保育園に入園できるのか、小学生になったら医療費が高くなる、ほかの子と比べると成長が遅いなどがあげられています。

○楽しみや喜びを感じるが多い理由としては、子どもの成長が楽しい、「ママ」と言えるようになったとき嬉しい、できることが日々増えていくことに感動するなどがあげられています。

問 33 地域の子育ての環境や支援の満足度 (SA)

中間の「3」が41.3%と最も多く、次いで「4」が29.4%、「2」が13.2%となっています。
 前回調査 (H25) と比較して、満足度が高くなっています。

図表 92 地域の子育ての環境や支援の満足度

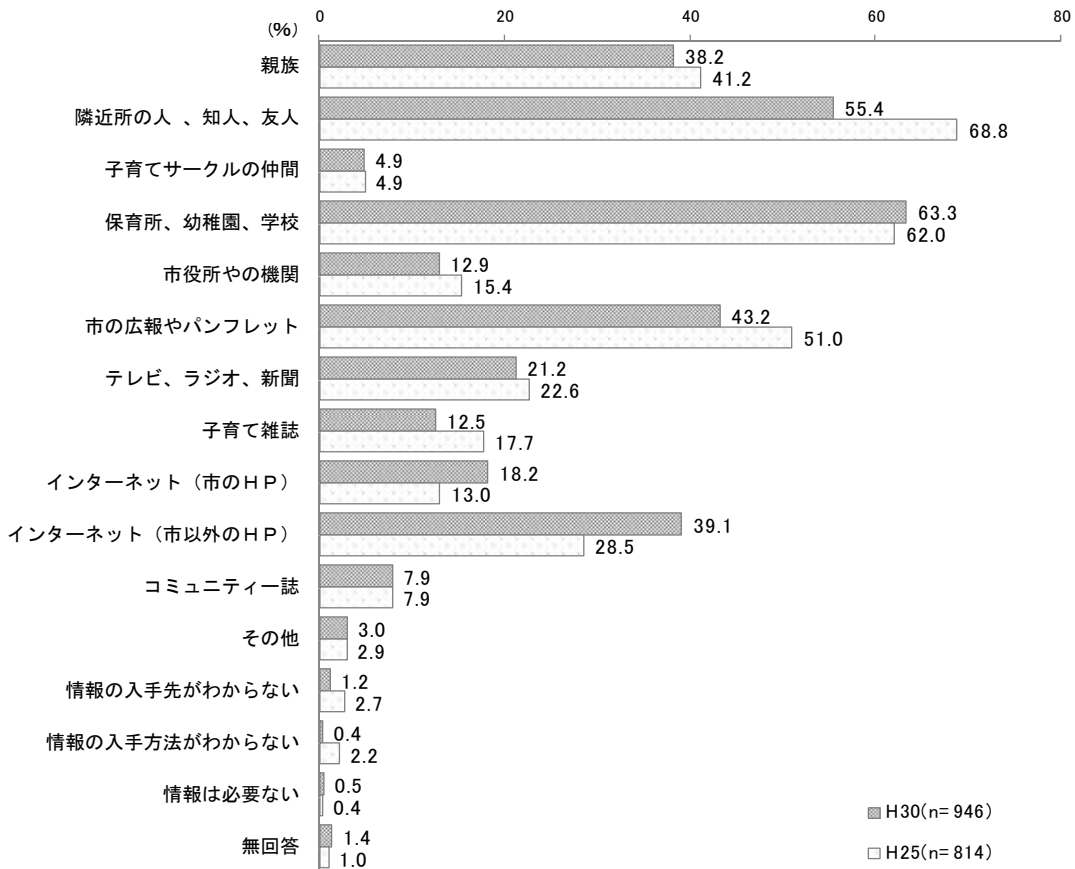


問 34 子育てに関する情報の入手先 (MA)

「保育所、幼稚園、学校」が63.3%と最も多く、次いで「隣近所の人、知人、友人」が55.4%、「市の広報やパンフレット」が43.2%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「インターネット (市以外のHP)」「インターネット (市のHP)」が増加し、「隣近所の人、知人、友人」「市の広報やパンフレット」が減少しています。

図表 93 子育てに関する情報の入手先

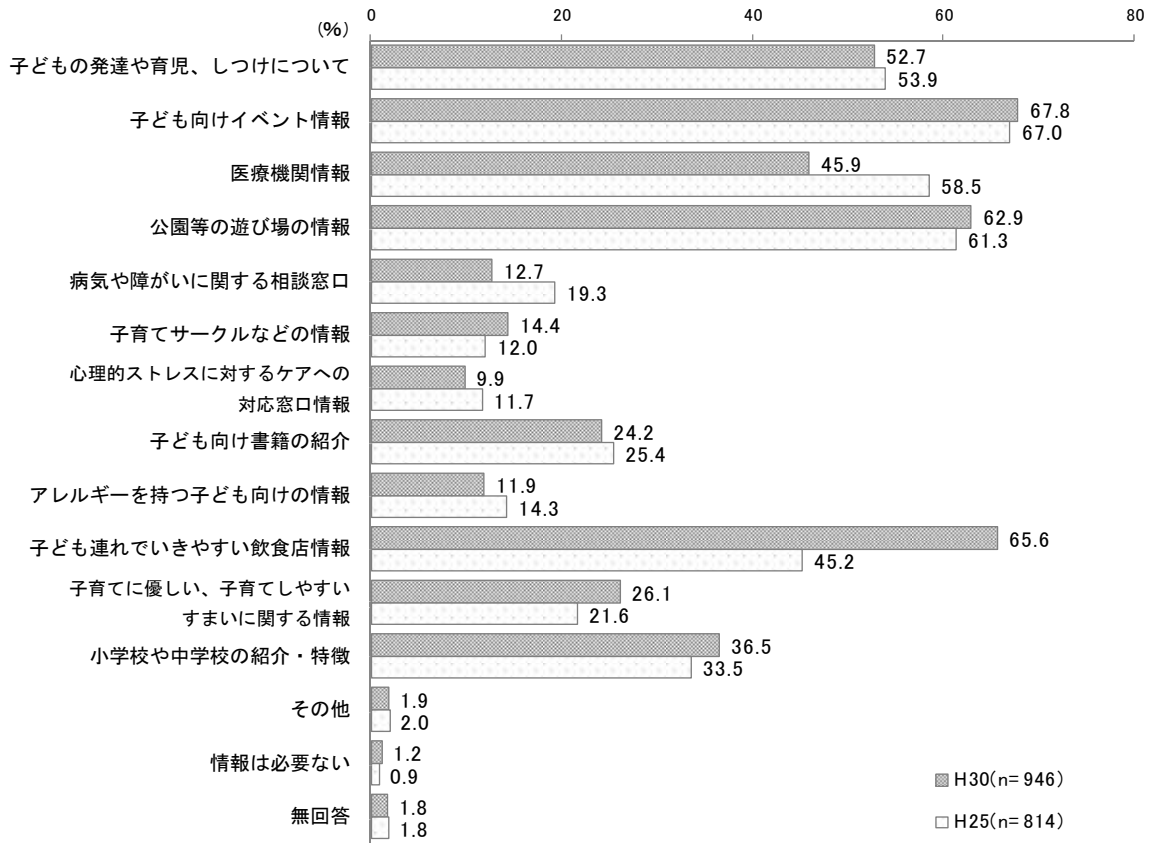


問 35 子育てに関して欲しい情報 (MA)

「子ども向けイベント情報」が67.8%と最も多く、次いで「子ども連れでいきやすい飲食店情報」が65.6%、「公園等の遊び場の情報」が62.9%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「子ども連れでいきやすい飲食店情報」が増加し、「医療機関情報」が減少しています。

図表 94 子育てに関して欲しい情報

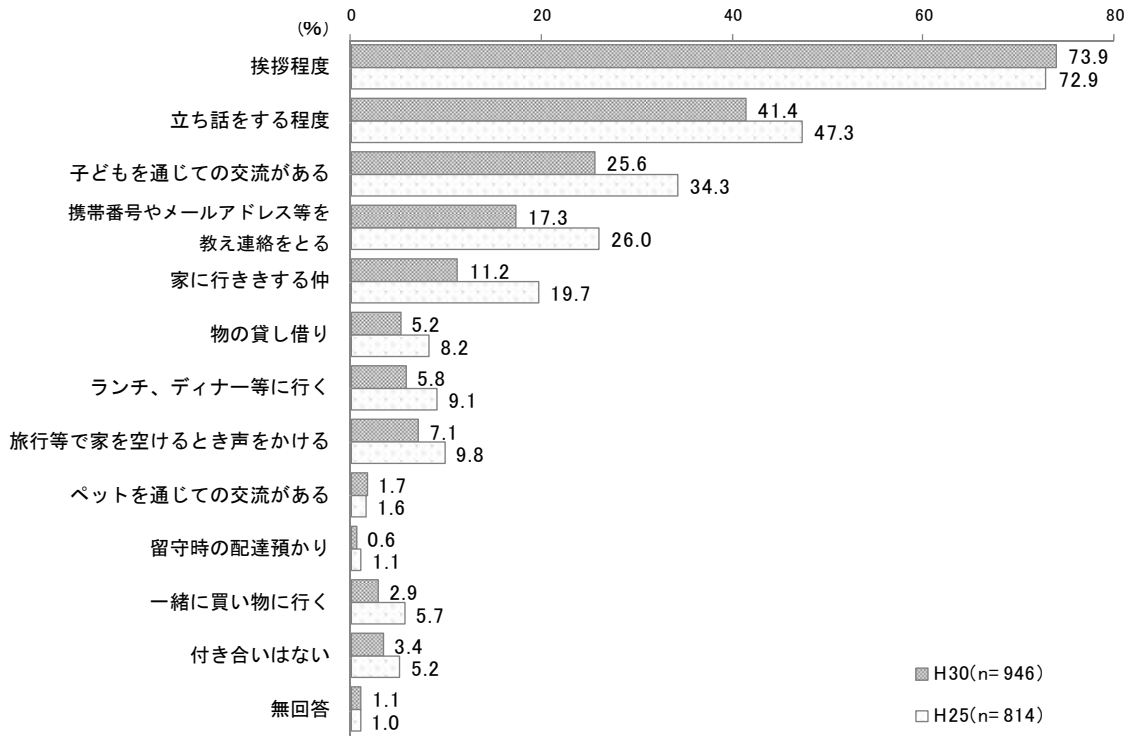


問 36 近所とのつきあいの程度 (MA)

「挨拶程度」が73.9%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が41.4%、「子どもを通じての交流がある」が25.6%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、減少している項目が多くなっています。

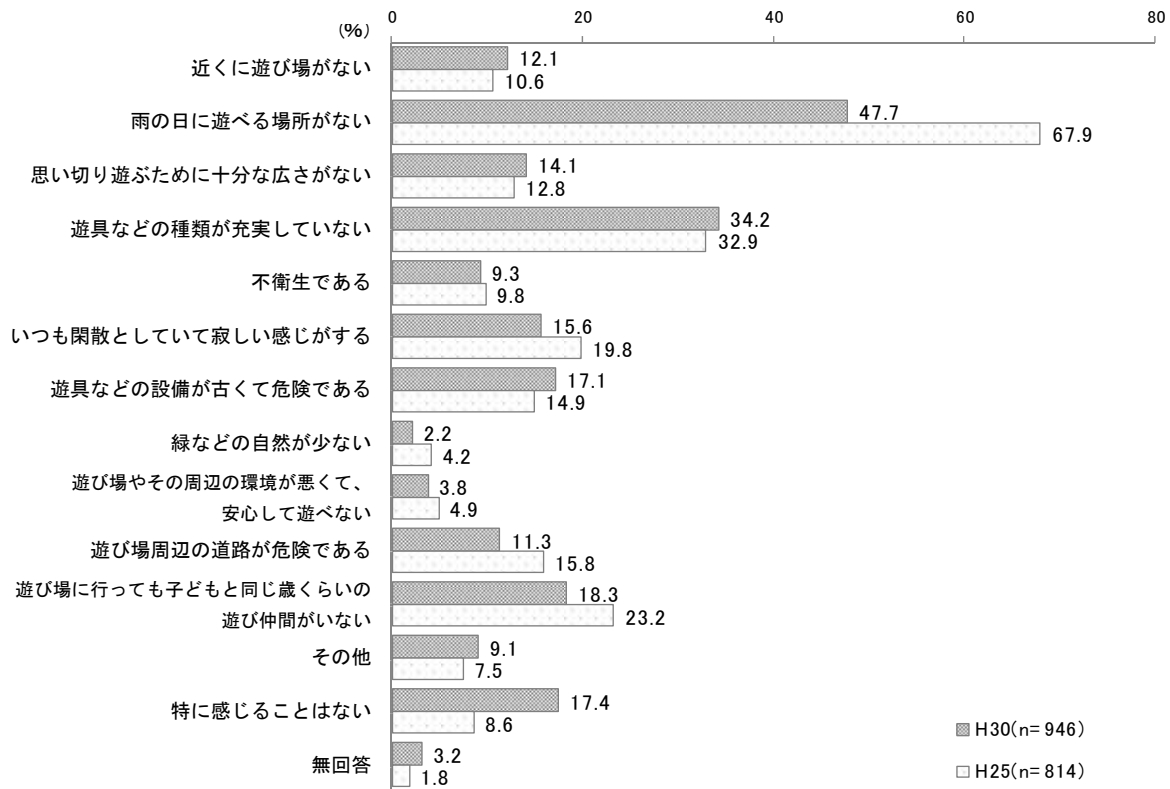
図表 95 近所とのつきあいの程度



問 37 家の近くの遊び場について感じていること (MA)

「雨の日に遊べる場所がない」が47.7%と最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が34.2%、「遊び場に行っても子どもと同じ歳くらいの遊び仲間がない」が18.3%となっています。前回調査（H25）と比較して、「雨の日に遊べる場所がない」が減少しています。

図表 96 家の近くの遊び場について感じていること

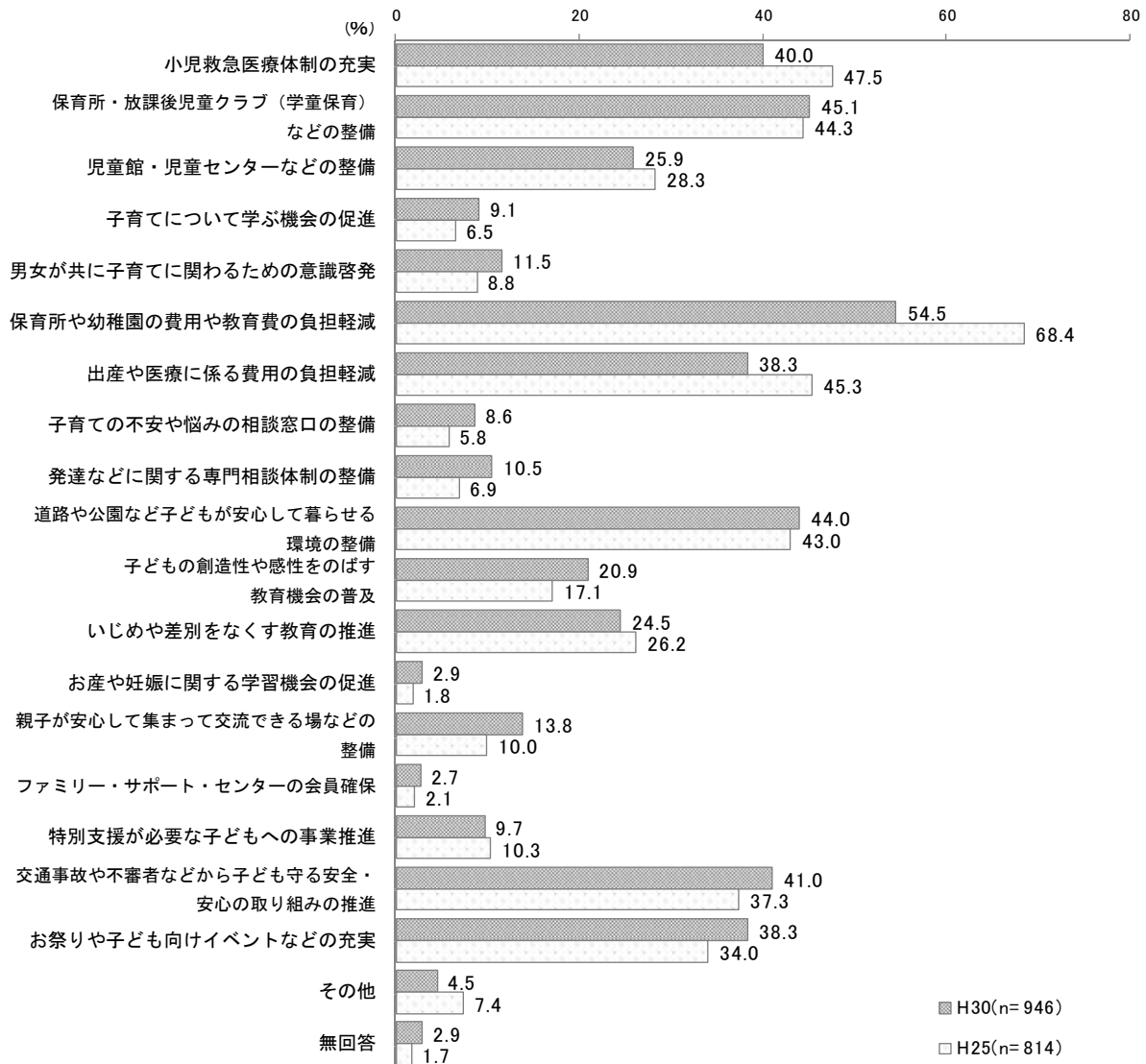


問 38 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと (MA)

「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」が 54.5%と最も多く、次いで「保育所・放課後児童クラブなどの整備」が 45.1%、「道路や公園など子どもが安心して暮らせる環境の整備」が 44.0%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」「小児救急医療体制の充実」「出産や医療に係る費用の負担軽減」が減少しています。

図表 97 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと



問 39 子育ての環境や支援に関してのご意見（FA）

子育ての環境や支援に関して、350人から470件のご意見等をいただきました。
主な意見内容等は、以下のとおりです。

主な記述内容	件数
1. 保育サービスの充実（延長、一時保育、預かりなど）	87
2. 生活環境の整備（交通・遊び場）	68
3. 医療費の無料化	59
4. 地域における子育て支援（経済的支援、周囲の援助・情報）	54
5. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実	39
6. 安全等の確保、不審者・交通事故	32
7. 職場と家庭の両立	25
8. 幼児教育・保育の無償化	22
9. 健康の確保及び増進	17
10. 学校教育環境の整備（学校・幼稚園）	11
11. その他	56
合計	470

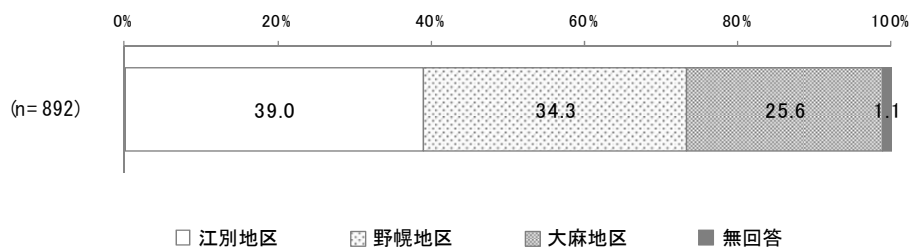
III 小学生調査

1. お子さんご家族の状況について

問1 お住まいの地区 (FA)

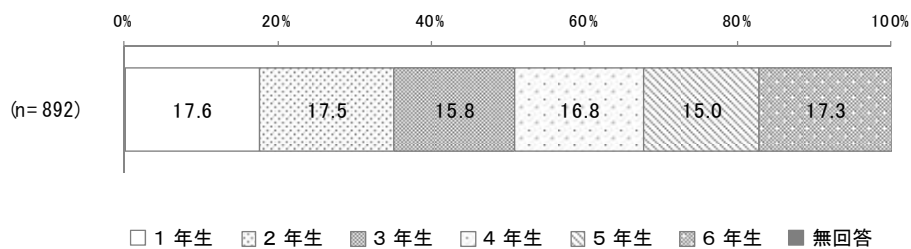
「江別地区」が39.0%、「野幌地区」が34.3%、「大麻地区」が25.6%となっています。

図表 98 お住まいの地区



問2 お子さんの学年 (SA)

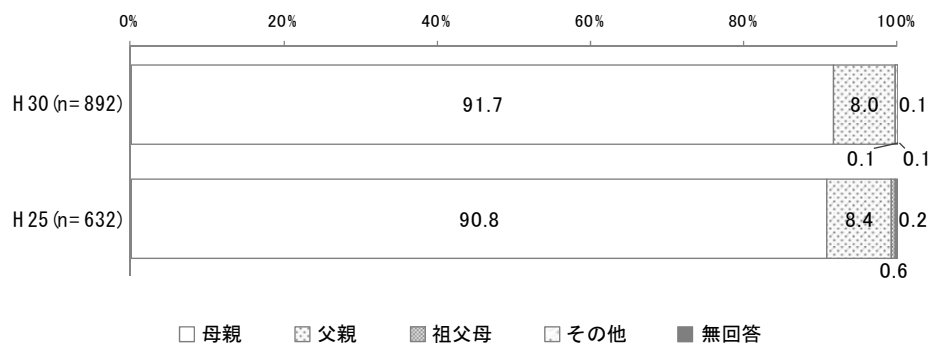
図表 99 お子さんの学年



問3 回答者 (SA)

「母親」が91.7%となっています。

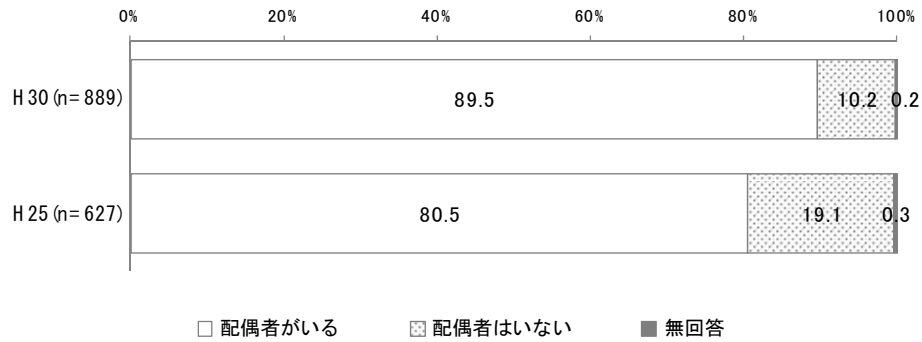
図表 100 回答者



問4 回答者の配偶関係 (SA)

「配偶者がいる」が89.5%となっています。

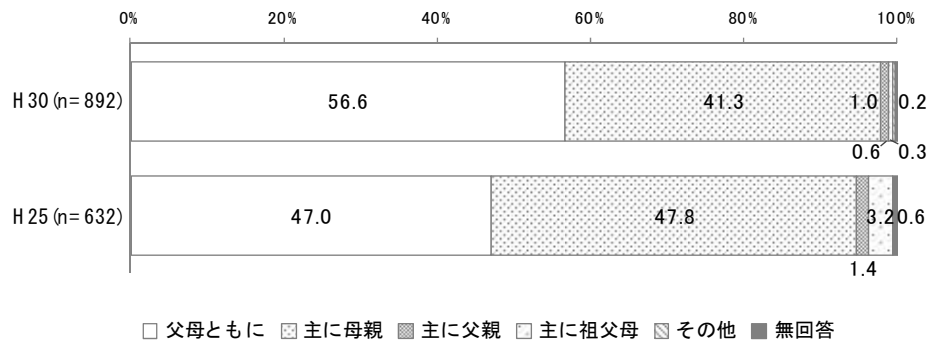
図表 101 回答者の配偶関係



問5 子育てを主に行っている人 (SA)

「父母ともに」が56.6%と最も多く、次いで「主に母親」が41.3%となっています。前回調査 (H25) と比較して、「父母ともに」が増加し、「主に母親」が減少しています。

図表 102 子育てを主に行っている人

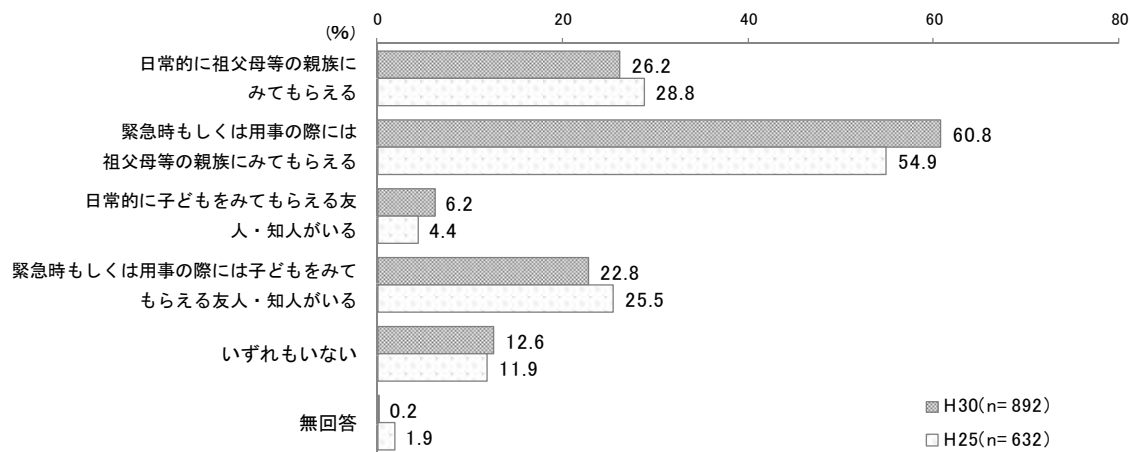


2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問6 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無 (MA)

「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が60.8%と最も多く、次いで「日常的に祖父母等の親族にみてもらえる」が26.2%となっています。

図表 103 お子さんをみてもらえる親族・知人の有無

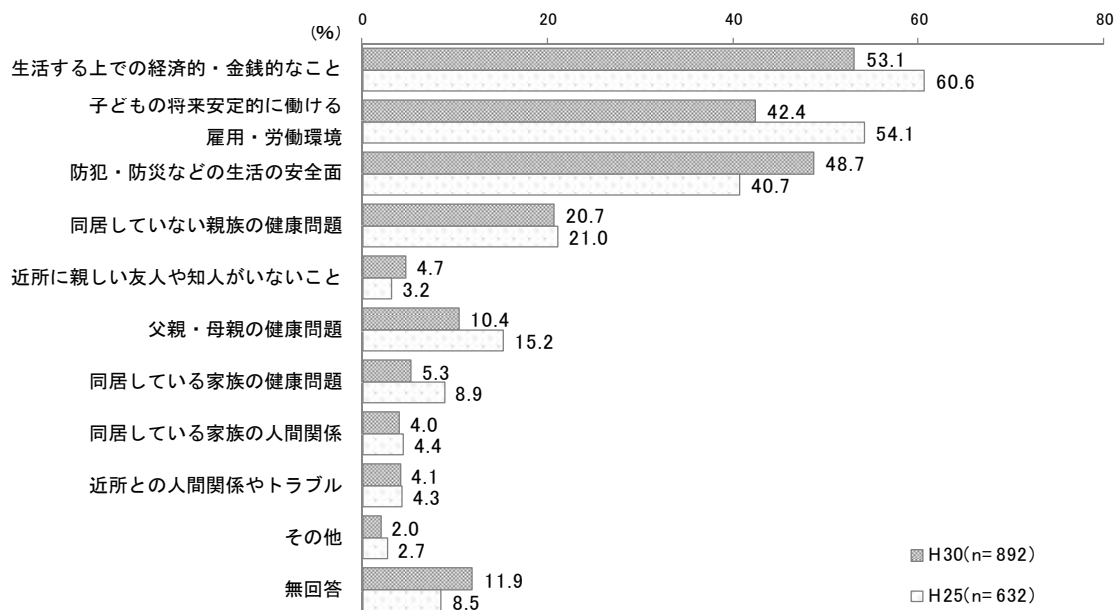


問7 (1) 家庭で気になっていること 生活全般 (MA)

「生活する上での経済的・金銭的なこと」が53.1%と最も多く、次いで「防犯・防災などの生活の安全面」が48.7%、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」が42.4%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「防犯・防災などの生活の安全面」が増加し、「子どもの将来安定的に働ける雇用・労働環境」「生活する上での経済的・金銭的なこと」が減少しています。

図表 104 家庭で気になっていること 生活全般

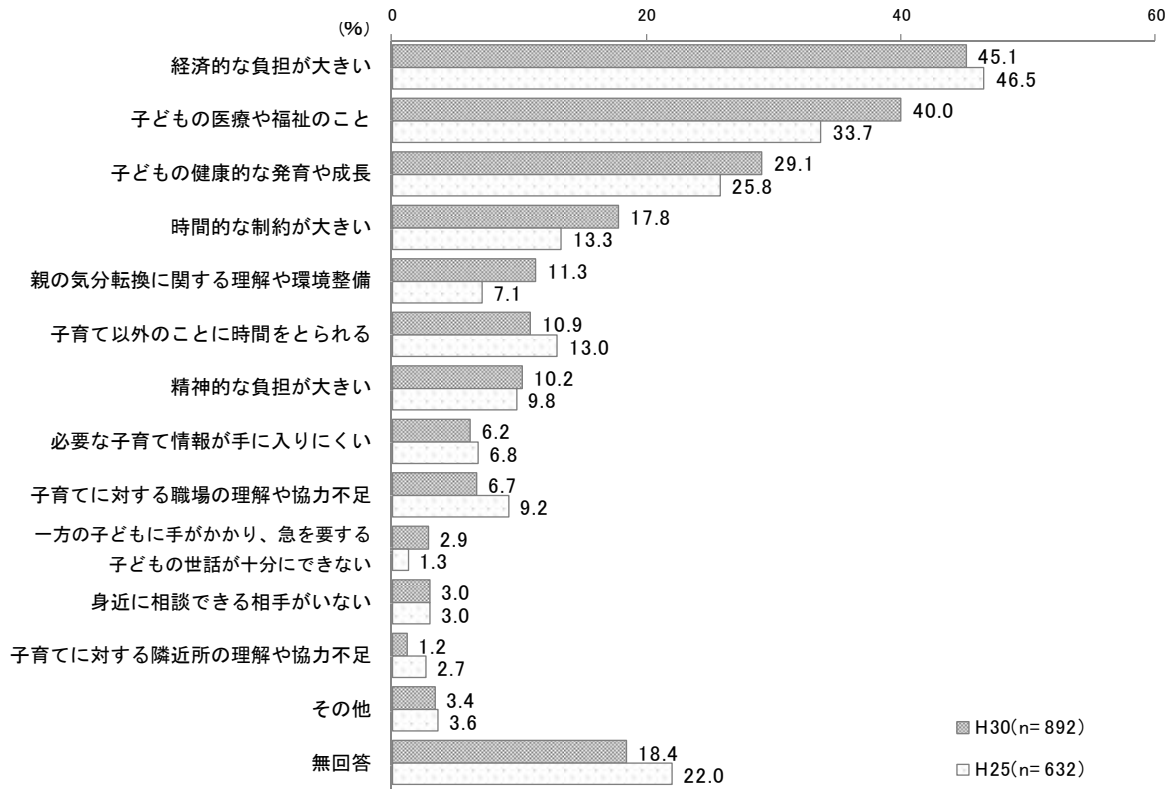


問7 (2) 家庭で気になっていること 子育て (MA)

「経済的な負担が大きい」が45.1%と最も多く、次いで「子どもの医療や福祉のこと」が40.0%、「子どもの健康的な発育や成長」が29.1%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「子どもの医療や福祉のこと」が増加しています。

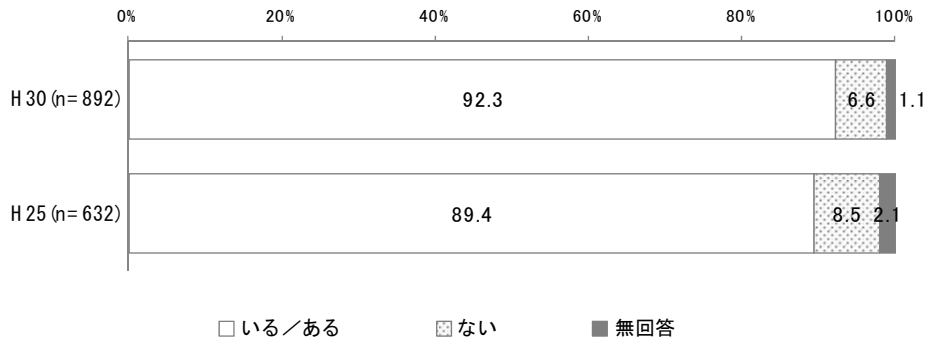
図表 105 家庭で気になっていること 子育て



問8 相談相手や場所の有無 (SA)

「いる／ある」が92.3%となっています。

図表 106 相談相手や場所の有無

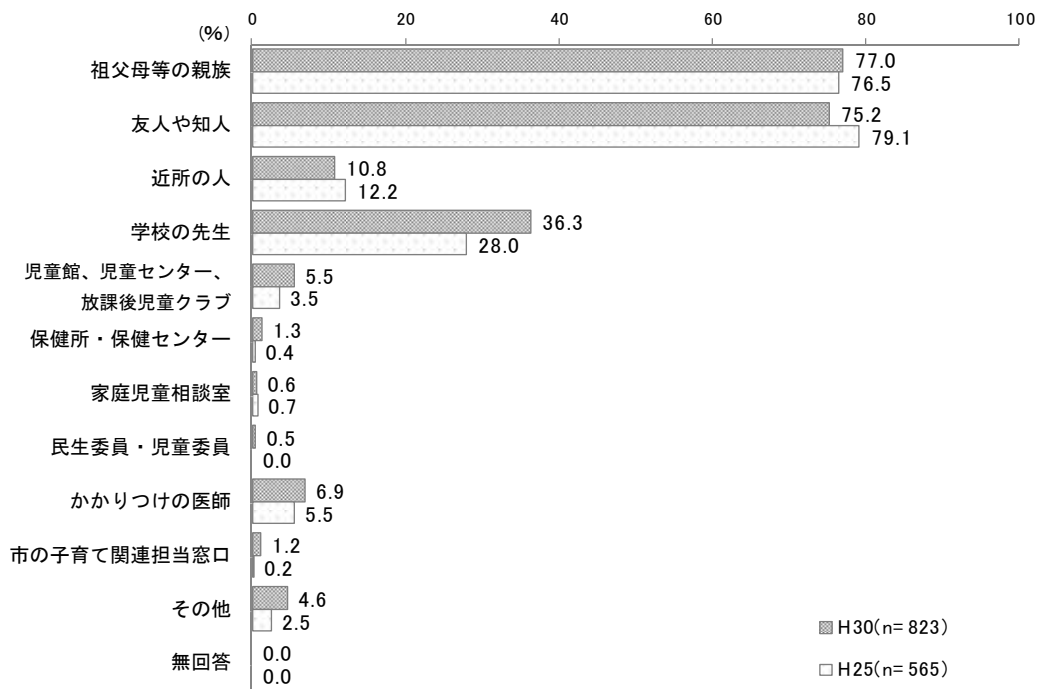


		問8 相談できる人・相談できる場所の有無			
		合計	いる／ある	ない	無回答
全 体		889	821	58	10
		100.0	92.4	6.5	1.1
問4 配偶関係	配偶者がいる	796	743	43	10
		100.0	93.3	5.4	1.3
	配偶者がいない	91	77	14	-
		100.0	84.6	15.4	-
問6 お子さんを みてもらえる親 族・知人の有無	日常的に祖父母等の親族にみてもらえる	234	223	8	3
		100.0	95.3	3.4	1.3
	緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる	542	506	28	8
		100.0	93.4	5.2	1.5
	日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる	55	53	1	1
		100.0	96.4	1.8	1.8
	緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる	203	202	-	1
	100.0	99.5	-	0.5	
	いずれもない	112	88	23	1
		100.0	78.6	20.5	0.9

問 8 - 1 相談先 (MA)

「祖父母等の親族」が77.0%と最も多く、次いで「友人や知人」が75.2%となっています。
 前回調査 (H25) と比較して、「学校の先生」が増加しています。

図表 107 相談先



問9 周囲からあればよいと思うサポート（FA）

周囲からあればよいと思うサポートについて、238人からご意見等をいただきました。
主な意見内容等は、以下のとおりです。

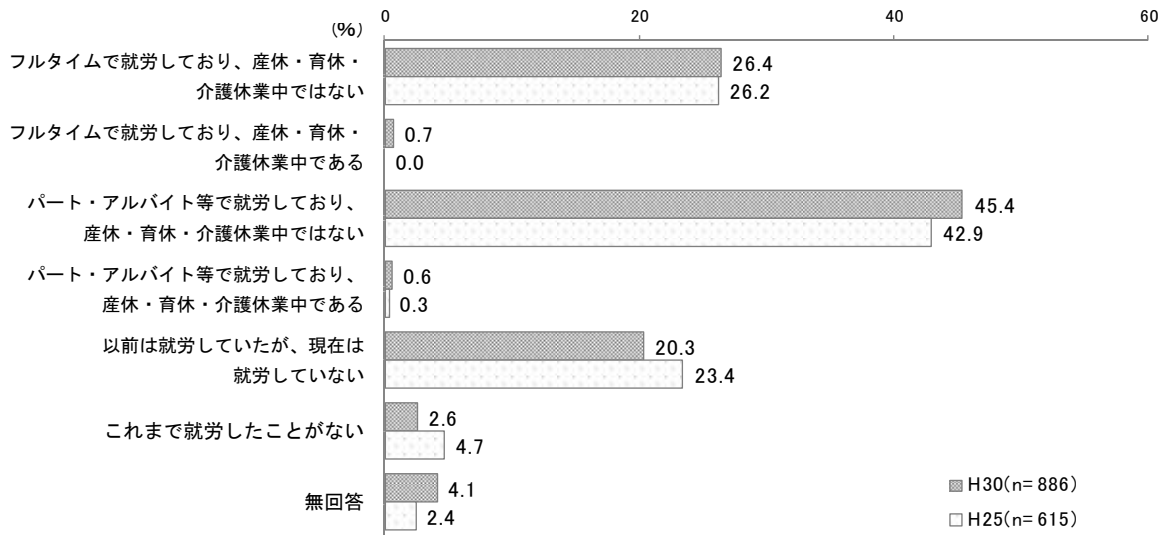
生活環境・遊び場
<input type="checkbox"/> 放課後児童クラブを6年生まで利用できるようにして欲しい。 <input type="checkbox"/> 放課後児童クラブを学校の近くに開設して欲しい。 <input type="checkbox"/> 放課後児童クラブの利用料金を安くして欲しい。 <input type="checkbox"/> 子どもが集まることができる場所が欲しい。 <input type="checkbox"/> 公園の遊具を充実して欲しい。 <input type="checkbox"/> 児童センターや児童館が欲しい。
地域における支援
<input type="checkbox"/> 子ども参加のイベントを充実して欲しい。 <input type="checkbox"/> 放課後に学習できる場所を作って欲しい。
健康・医療
<input type="checkbox"/> 医療費の助成を拡大して欲しい。 <input type="checkbox"/> 予防接種の助成をして欲しい。
相談体制
<input type="checkbox"/> 小学生になったら誰に相談してよいかわからないので教えて欲しい。 <input type="checkbox"/> 土日に対応する電話相談を実施して欲しい。
教育環境
<input type="checkbox"/> 学習サポートをして欲しい。 <input type="checkbox"/> 安価な学習塾を作って欲しい。 <input type="checkbox"/> 水泳・スキー・英語のサポートをして欲しい。
仕事と子育ての両立支援
<input type="checkbox"/> 子どもが病気になったときに休みやすい環境を作って欲しい。

3. 保護者の就労状況について

問10 母親の就労状況 (SA)

「パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が45.4%と最も多く、次いで「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が26.4%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が20.3%となっています。

図表 108 母親の就労状況



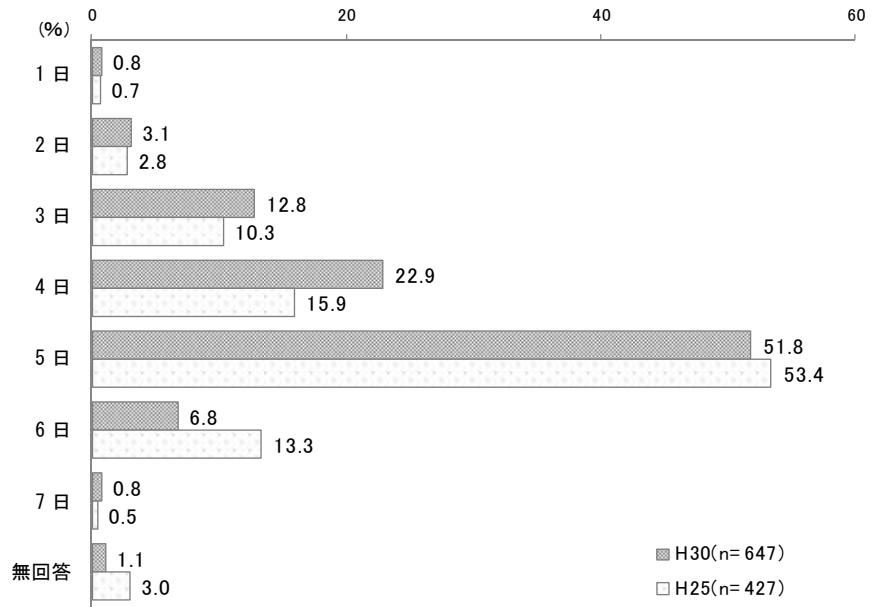
		問10 母親の就労状況							
		合計	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中である	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中ではない	パート・アルバイト等で就労しており、産休・育休・介護休業中である	以前は就労していたが、現在は就労していない	これまで就労したことがない	無回答
全体		886 100.0	234 26.4	6 0.7	402 45.4	5 0.6	180 20.3	23 2.6	36 4.1
問2 お子さんの学年	1年生	156 100.0	37 23.7	1 0.6	56 35.9	1 0.6	56 35.9	1 0.6	4 2.6
	2年生	155 100.0	32 20.6	2 1.3	74 47.7	2 1.3	35 22.6	4 2.6	6 3.9
	3年生	140 100.0	40 28.6	1 0.7	64 45.7	-	26 18.6	4 2.9	5 3.6
	4年生	149 100.0	41 27.5	1 0.7	70 47.0	-	26 17.4	5 3.4	6 4.0
	5年生	133 100.0	33 24.8	1 0.8	63 47.4	2 1.5	23 17.3	5 3.8	6 4.5
	6年生	153 100.0	51 33.3	-	75 49.0	-	14 9.2	4 2.6	9 5.9

問 10-1 母親の1週当たりの平均就労日数と1日当たりの平均就労時間 (NA)

「5日」が51.8%と最も多くなっています。

前回調査 (H25) と比較して、「4日」が増加しています。

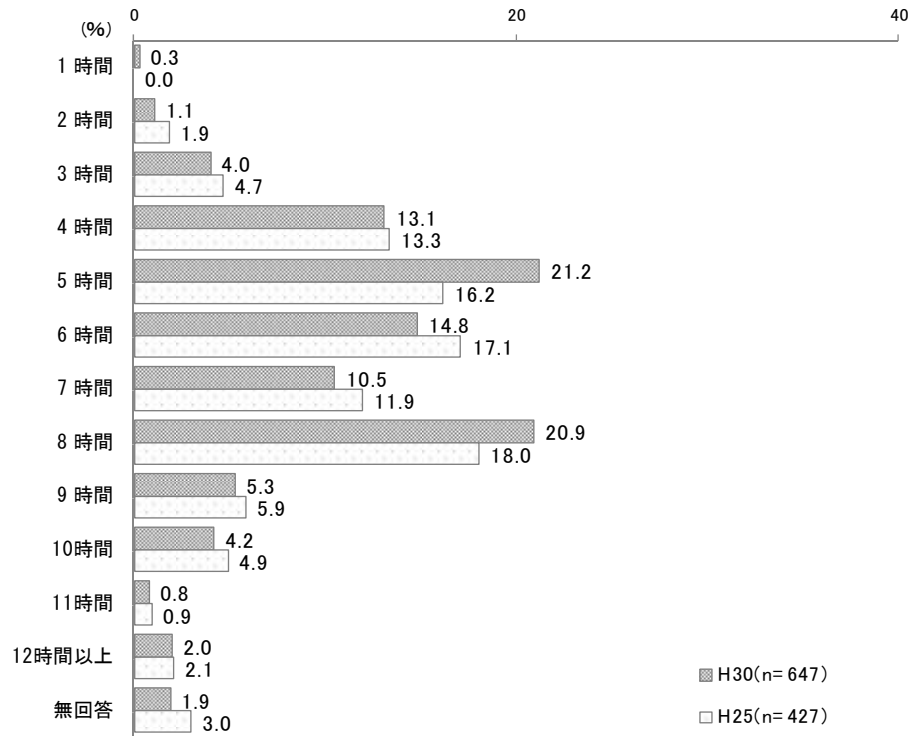
図表 109 母親の1週当たりの平均就労日数



「5時間」が21.2%と最も多く、次いで「8時間」が20.9%、「6時間」が14.8%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「5時間」が増加しています。

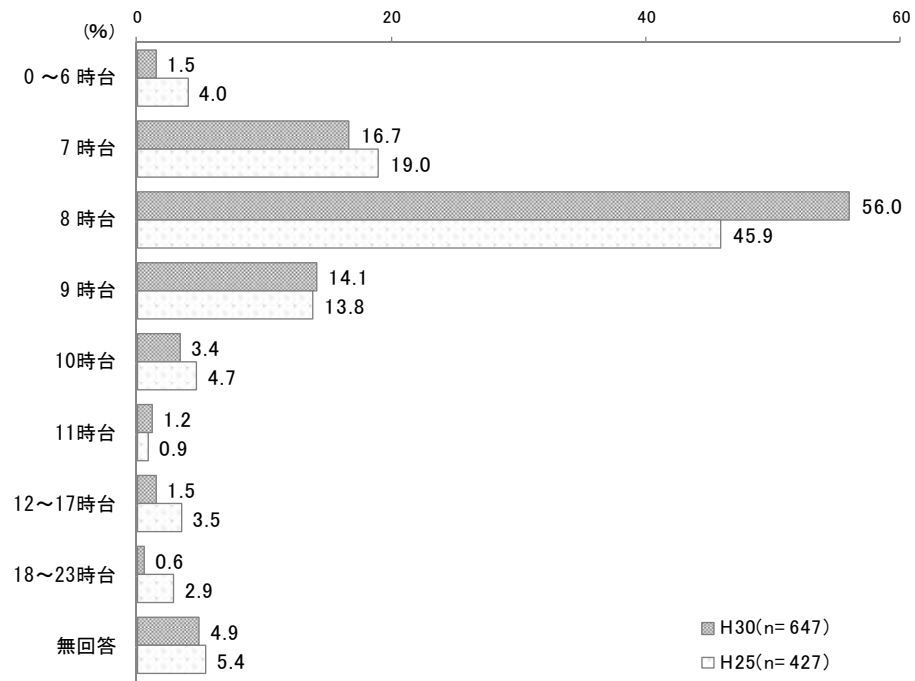
図表 110 母親の1日当たりの平均就労時間



問 10-2 母親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

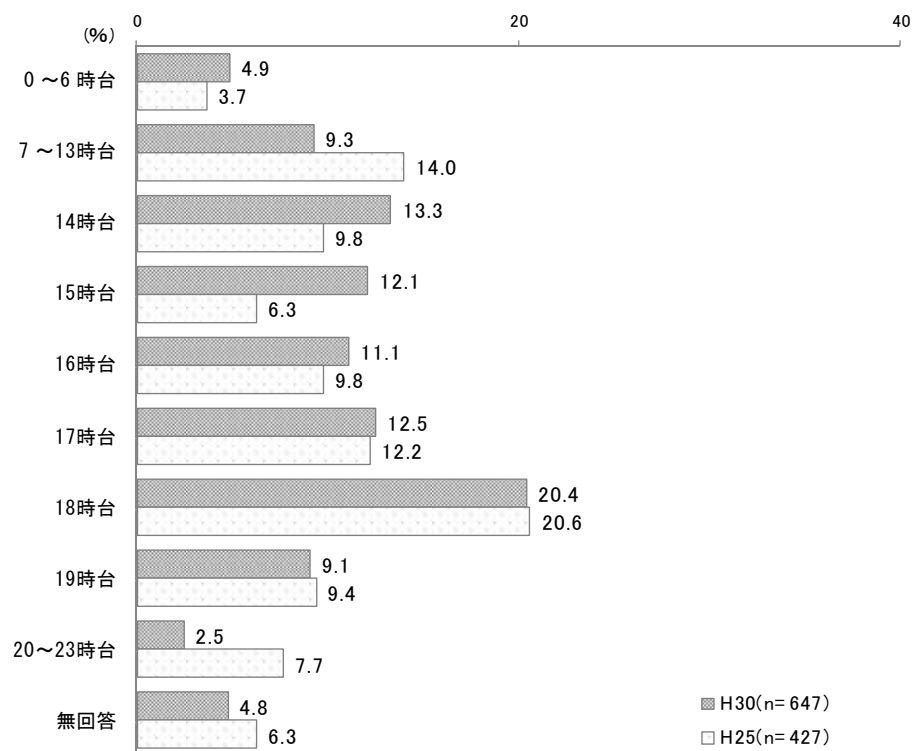
「8時台」が56.0%と最も多く、次いで「7時台」が16.7%、「9時台」が14.1%となっています。前回調査（H25）と比較して、「8時台」が増加しています。

図表 111 母親の家を出る時間



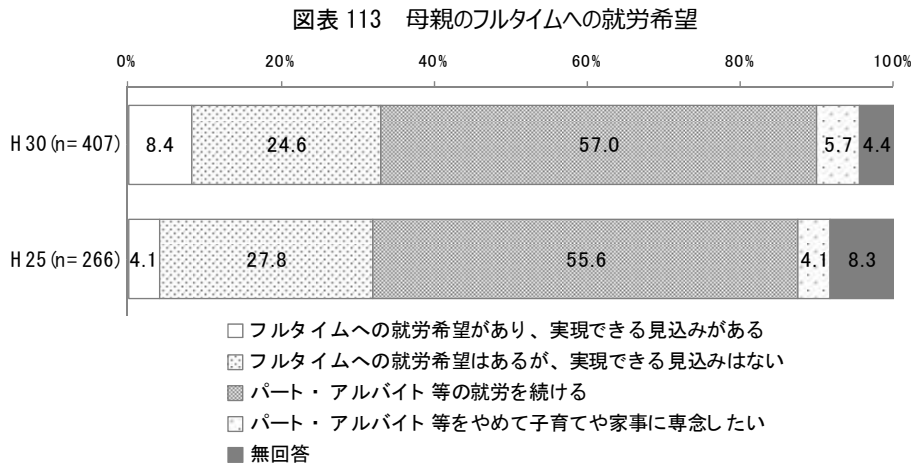
「18時台」が20.4%と最も多く、次いで「14時台」が13.3%、「17時台」が12.5%となっています。前回調査（H25）と比較して、「15時台」が増加し、「20～23時台」が減少しています。

図表 112 母親の帰宅時間



問 10-3 母親のフルタイムへの就労希望 (SA)

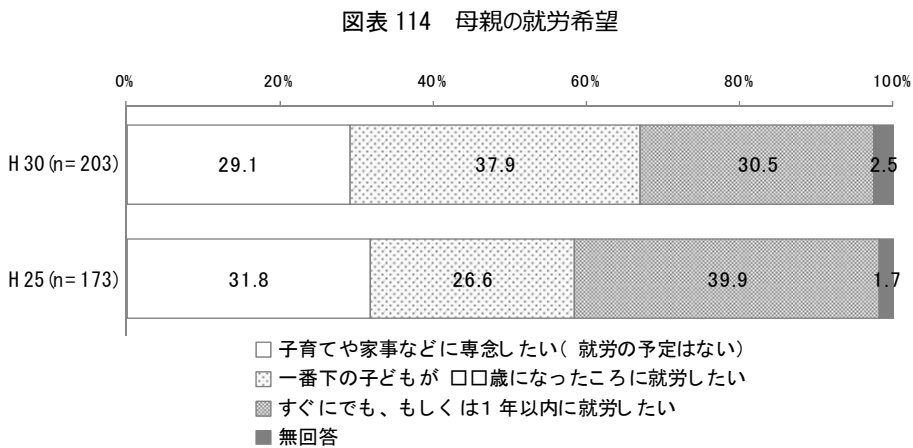
「パート・アルバイト等の就労を続ける」が57.0%と最も多くなっています。



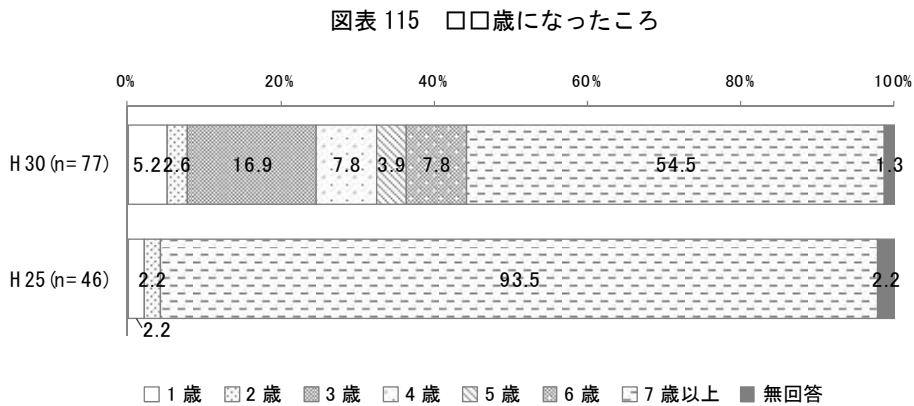
問 10-4 母親の就労希望 (SA・NA)

「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」が37.9%と最も多くなっています。

前回調査 (H25) と比較して、「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」が増加しています。



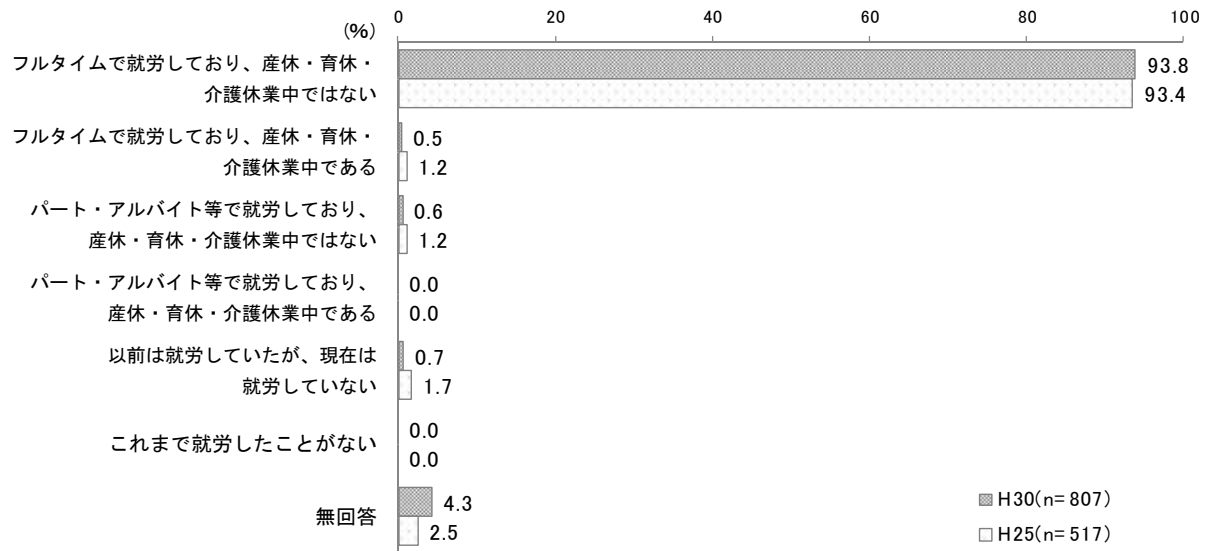
「一番下の子どもが〇〇歳になったところに就労したい」と回答した方の〇〇歳頃の年齢は、「7歳以上」が54.5%と最も多く、次いで「3歳」が16.9%となっています。



問 11 父親の就労状況 (SA)

「フルタイムで就労しており、産休・育休・介護休業中ではない」が93.8%となっています。

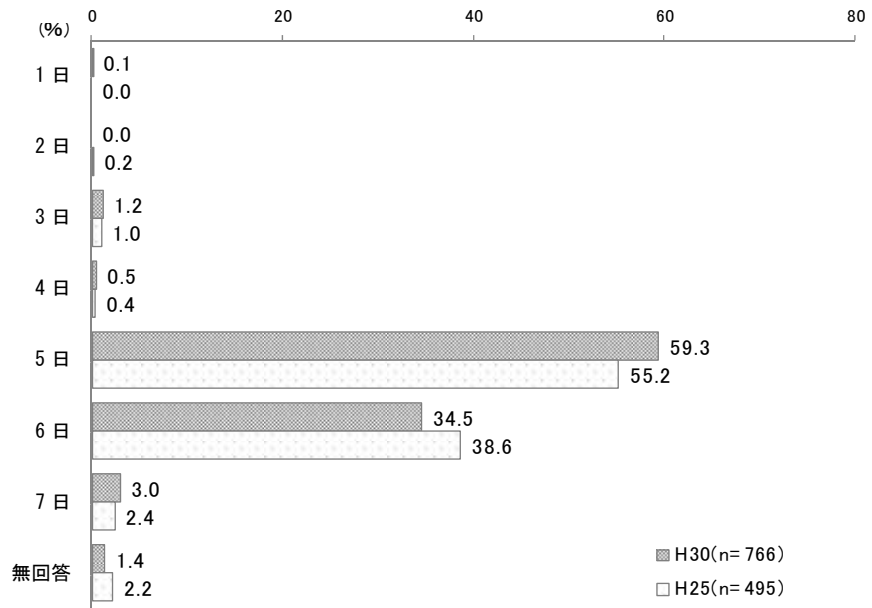
図表 116 父親の就労状況



問 11 - 1 父親の1週当たりの平均就労日数と1日当たりの平均就労時間 (NA)

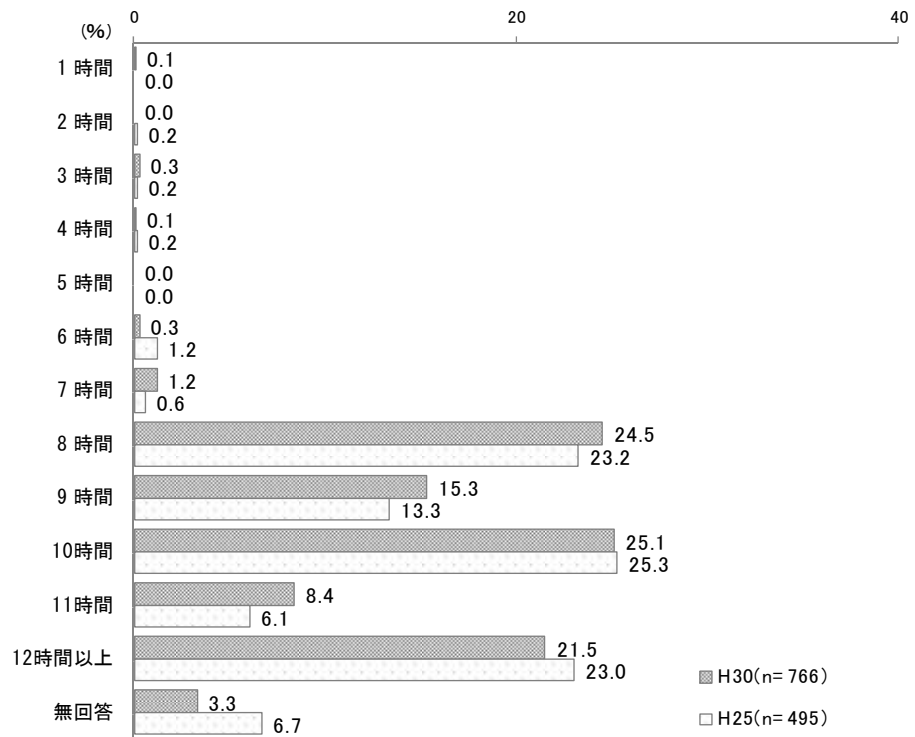
「5日」が59.3%、「6日」が34.5%となっています。

図表 117 父親の1週当たりの平均就労日数



「10時間」が25.1%と最も多く、次いで「8時間」が24.5%、「12時間以上」が21.5%となっています。

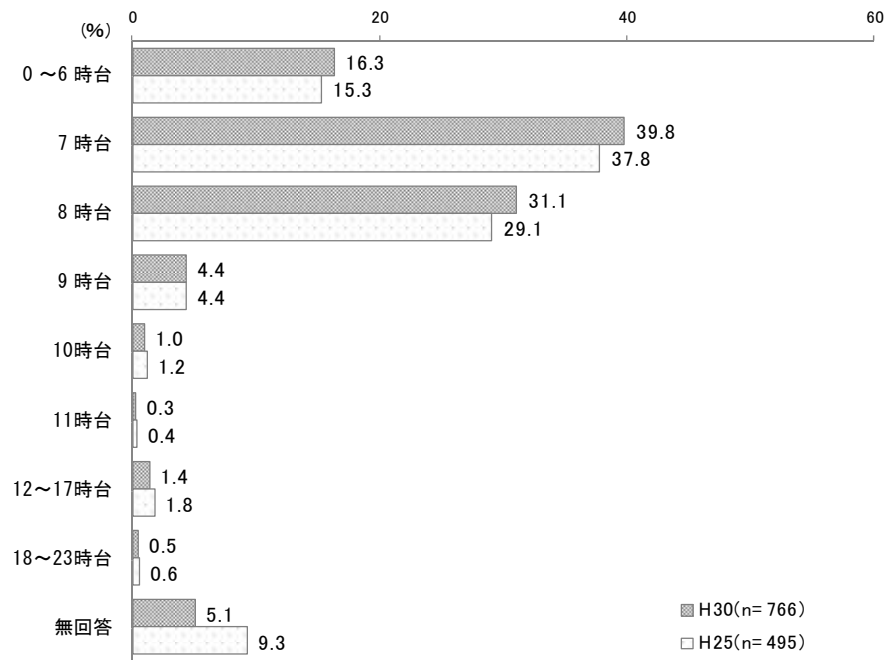
図表 118 父親の1日当たりの平均就労時間



問 11 - 2 父親の家を出る時間と帰宅時間 (NA)

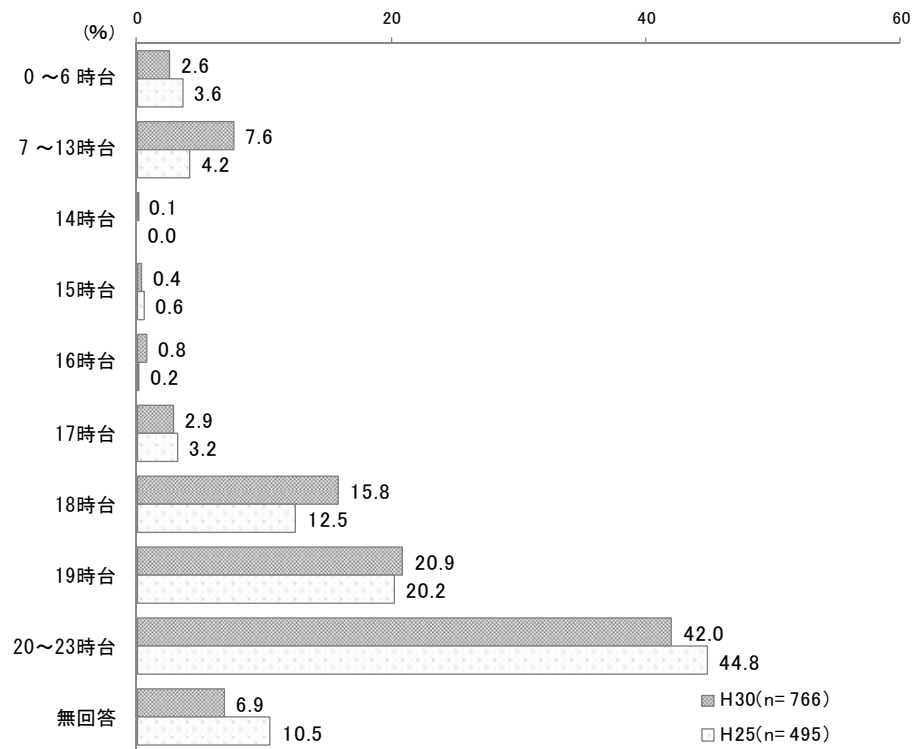
「7時台」が39.8%と最も多く、次いで「8時台」が31.1%、「0～6時台」が16.3%となっています。

図表 119 父親の家を出る時間



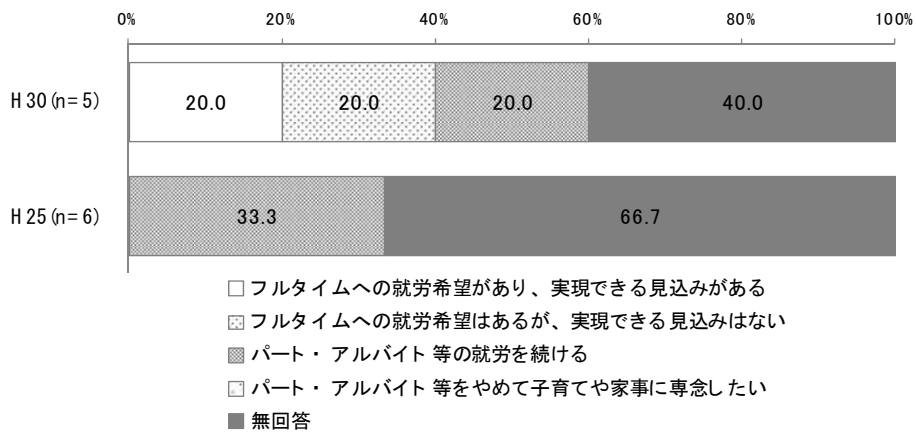
「20～23時台」が42.0%と最も多く、次いで「19時台」が20.9%、「18時台」が15.8%となっています。

図表 120 父親の帰宅時間



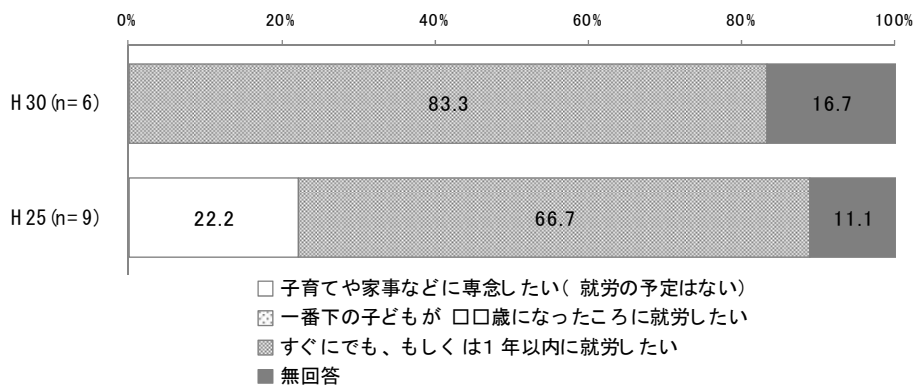
問 11-3 父親のフルタイムへの就労希望 (SA)

図表 121 父親のフルタイムへの就労希望



問 11-4 父親の就労希望 (SA)

図表 122 父親の就労希望



4. 放課後の過ごし方について

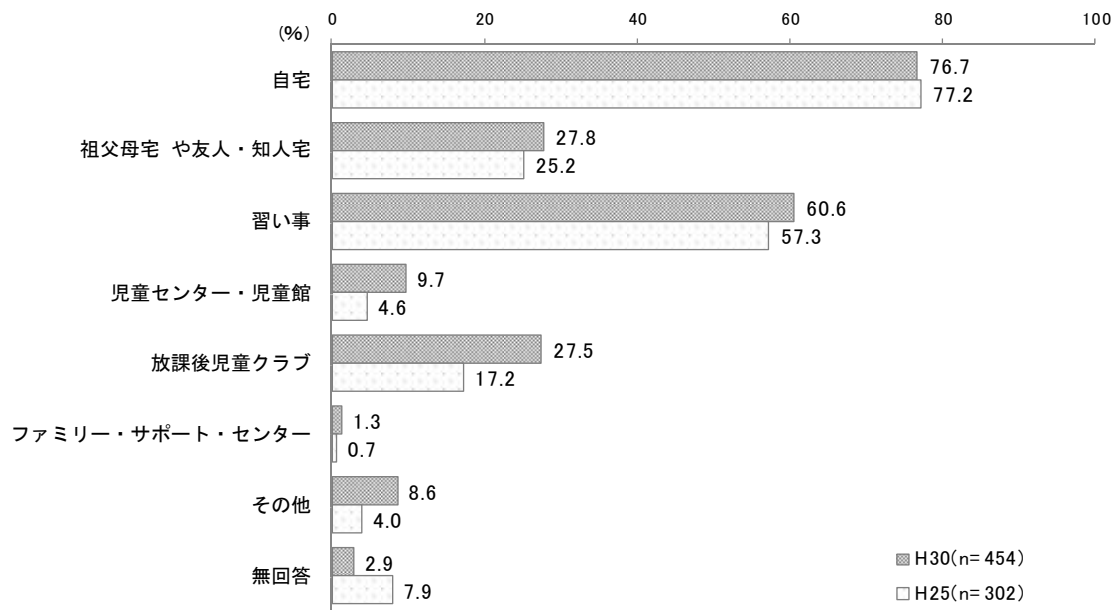
問 12 平日の放課後の居場所 (MA)

【1～3年生までの間】

「自宅」が76.7%と最も多く、次いで「習い事」が60.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が27.8%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「放課後児童クラブ」が増加しています。

図表 123 平日の放課後の現在の居場所 低学年

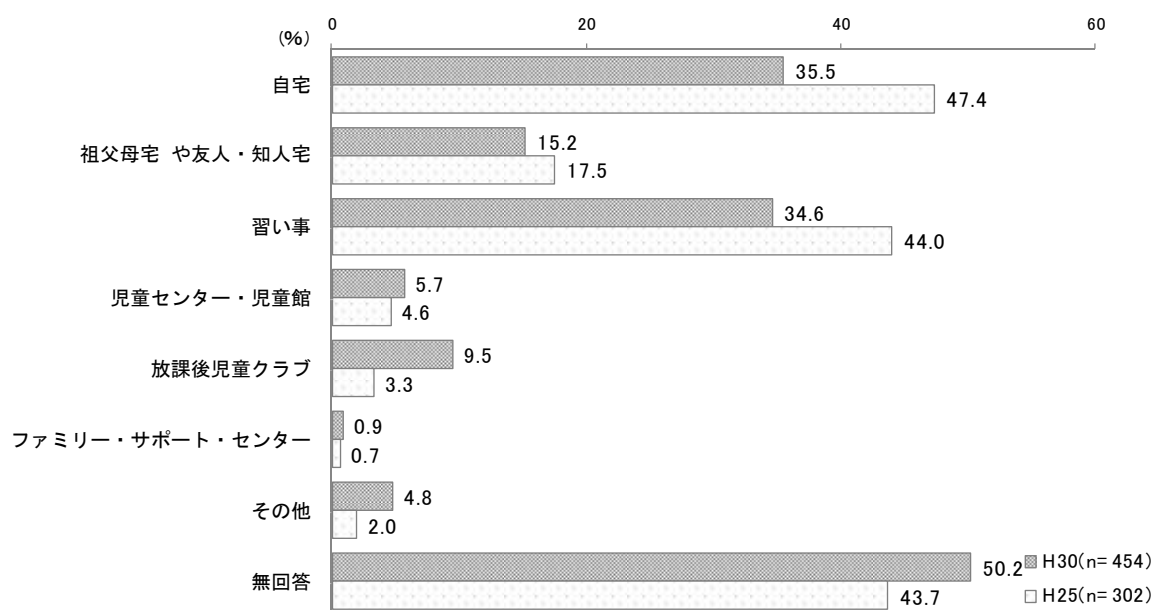


【4～6年生までの間】

「自宅」が35.5%と最も多く、次いで「習い事」が34.6%、「祖父母宅や友人・知人宅」が15.2%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「放課後児童クラブ」が増加し、「自宅」「習い事」が減少しています。

図表 124 平日の放課後に希望する居場所 高学年



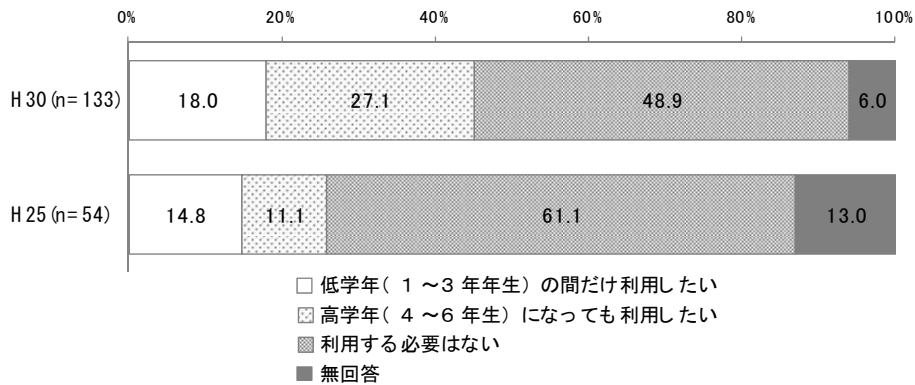
問 13 土曜日、日曜日・祝日、長期休暇（夏休み・冬休みなど）での放課後児童クラブの利用希望（SA）

【土曜日の利用希望】

「利用する必要はない」が48.9%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が27.1%、「低学年の間だけ利用したい」が18.0%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「高学年になっても利用したい」が増加し、「利用する必要はない」が減少しています。

図表 125 土曜日の利用希望

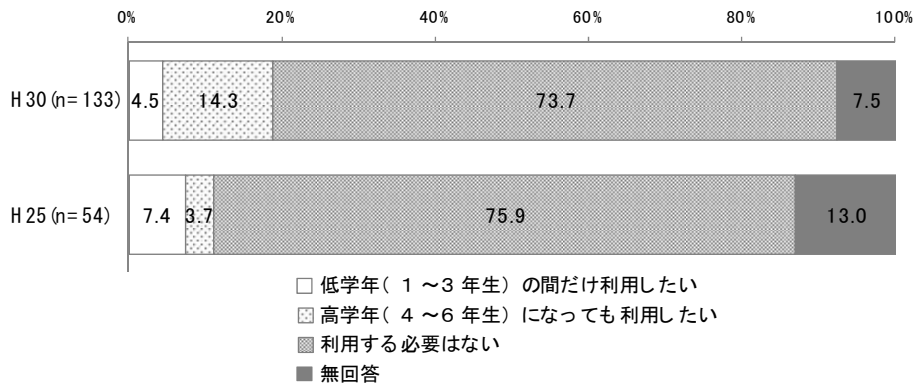


【日曜日・祝日の利用希望】

「利用する必要はない」が73.7%と最も多く、次いで「高学年になっても利用したい」が14.3%、「低学年の間だけ利用したい」が4.5%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「高学年になっても利用したい」が増加しています。

図表 126 日曜日・祝日の利用希望

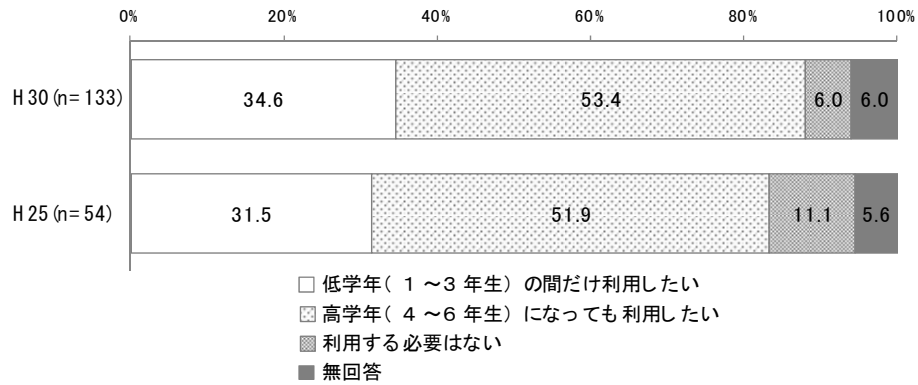


【長期休暇の利用希望】

「高学年になっても利用したい」が53.4%と最も多く、次いで、「低学年の間だけ利用したい」が34.6%、「利用する必要はない」が6.0%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「利用する必要はない」が減少しています。

図表 127 長期休暇の利用希望

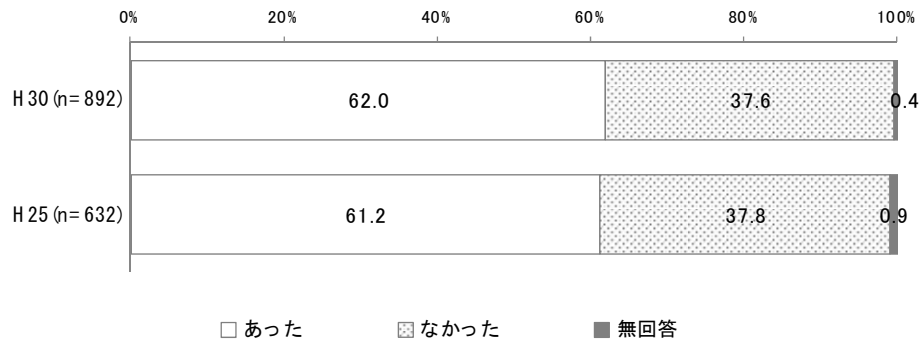


5. お子さんの病気の際の対応について

問 14 お子さんの病気やケガで学校を休んだこと (SA)

「あった」が62.0%、「なかった」が37.6%となっています。

図表 128 お子さんの病気やケガで学校を休んだこと

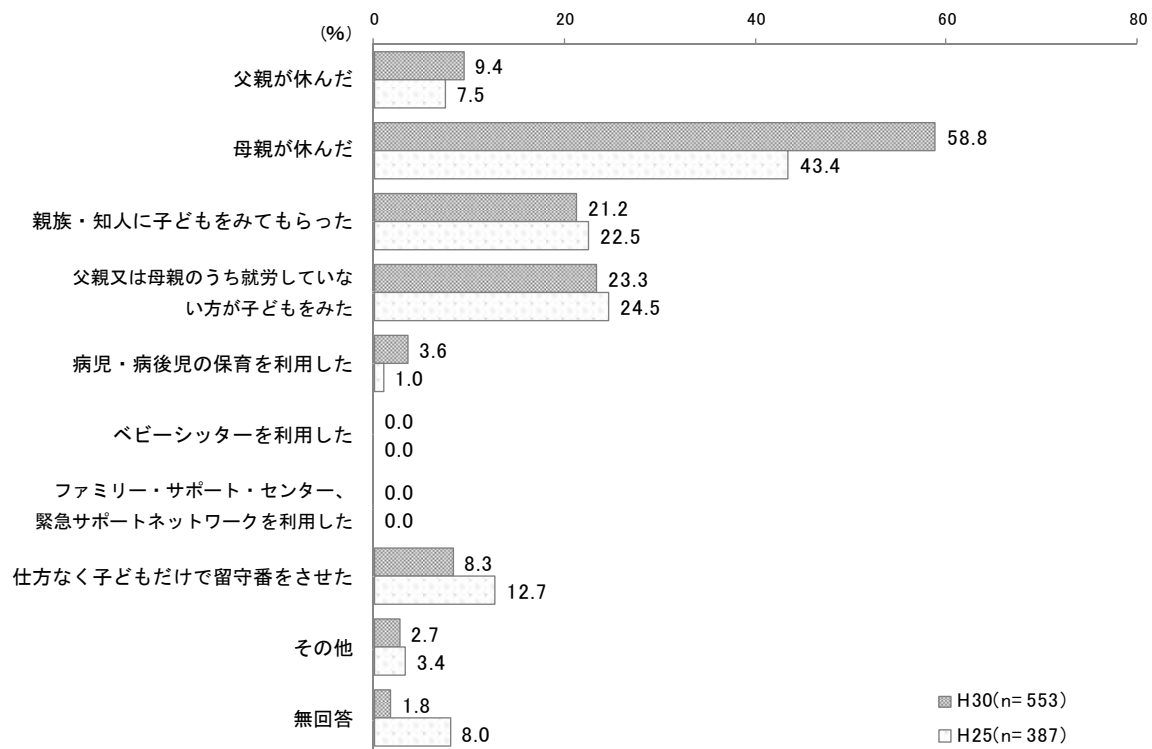


問 14-1 学校を休んだときの対処方法 (MA)

「母親が休んだ」が58.8%と最も多く、次いで「父親又は母親のうち就労していない方が子どもをみた」が23.3%、「親族・知人に子どもをみてもらった」が21.2%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「母親が休んだ」が増加しています。

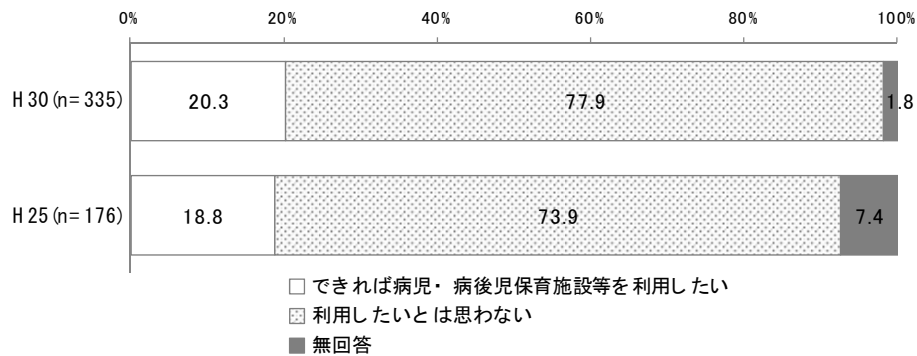
図表 129 学校を休んだときの対処方法



問 14-2 病児・病後児の保育施設等の利用希望 (SA・NA)

「利用したいとは思わない」が77.9%、「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」が20.3%となっています。

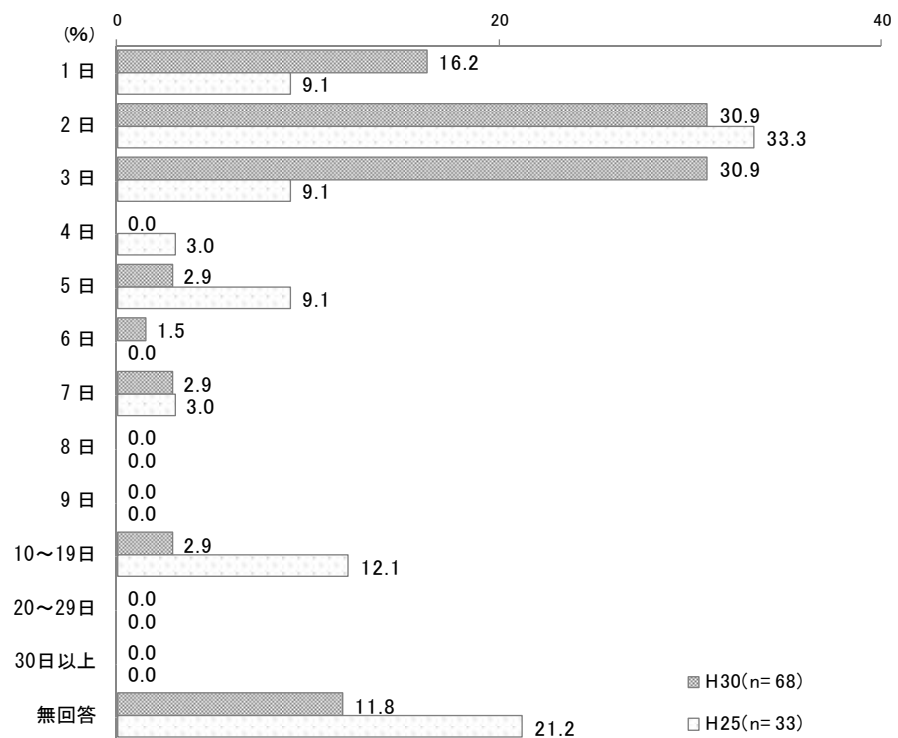
図表 130 病児・病後児の保育施設等の利用希望



「できれば病児・病後児保育施設等を利用したい」と回答した方の利用したい日数は、「2日」「3日」がともに30.9%と最も多くなっています。

前回調査 (H25) と比較して、「3日」「1日」が増加し、「10~19日」「5日」が減少しています。

図表 131 病児・病後児の保育施設等の利用希望日数

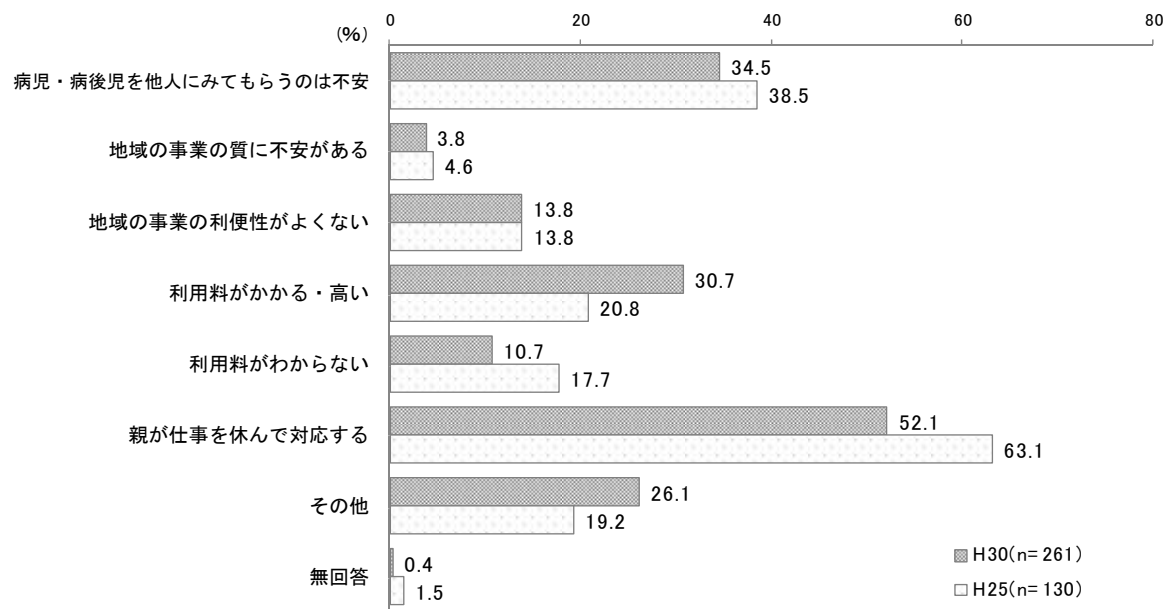


問 14－3 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由 (MA)

「親が仕事を休んで対応する」が52.1%と最も多く、次いで「病児・病後児を他人にみてもらうのは不安」が34.5%、「利用料がかかる・高い」が30.7%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「利用料がかかる・高い」が増加し、「親が仕事を休んで対応する」が減少しています。

図表 132 病児・病後児の保育施設等を利用したくない理由

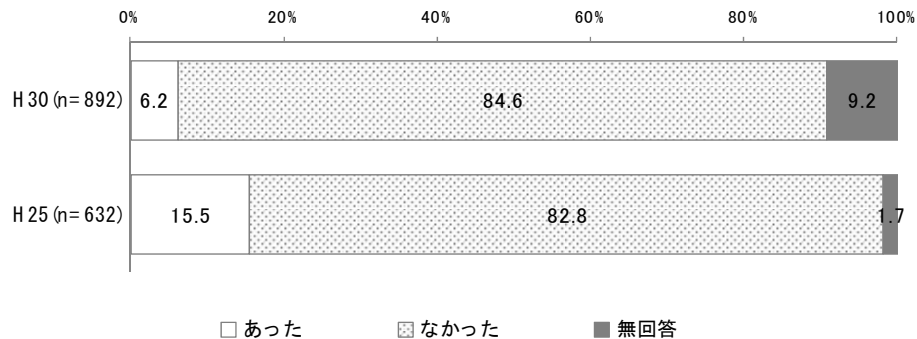


6. 一時預かり等の利用について

問 15 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無 (SA・MA)

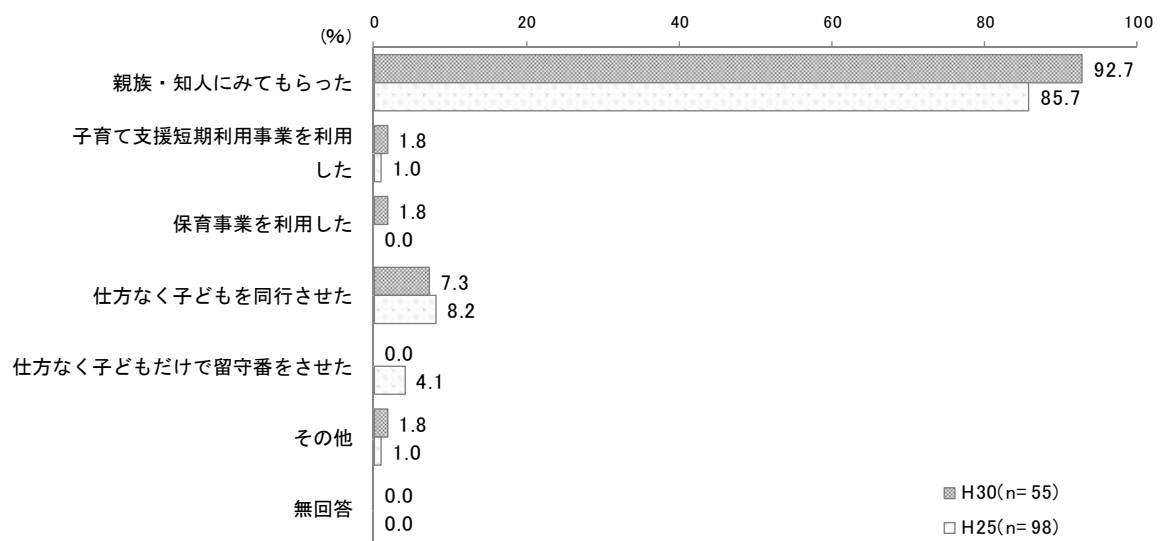
「なかった」が84.6%、「あった」が6.2%となっています。

図表 133 宿泊を伴う一時預かり等の必要性の有無



「あった」と回答した方の対処方法は、「親族・知人にみてもらった」が92.7%と最も多くなっています。

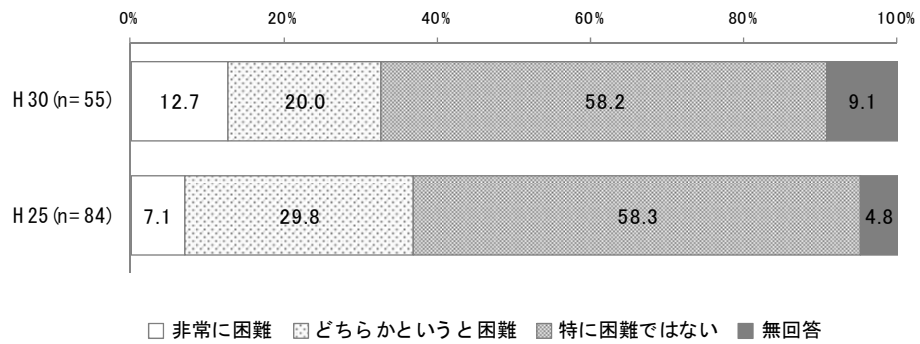
図表 134 対処方法



問 15 - 1 親族・知人にみてもらう場合の困難度 (SA)

「特に困難ではない」が 58.2%となっています。

図表 135 親族・知人にみてもらう場合の困難度

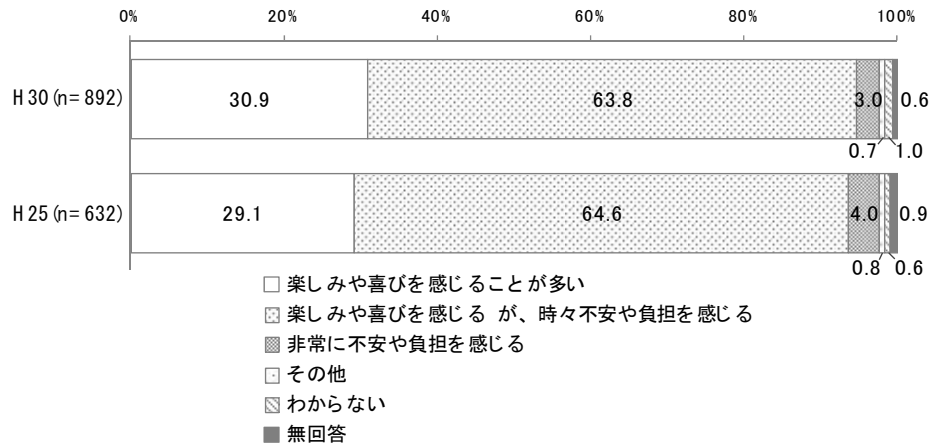


7. 子育て情報や子育てしやすいまちづくりについて

問 16 子育ての感想 (SA)

「楽しみや喜びを感じるが、時々不安や負担を感じる」が63.8%と最も多く、次いで「楽しみや喜びを感じることが多い」が30.9%となっています。

図表 136 子育ての感想



問 16-1 子育てで感じていることの原因 (FA)

理由について、590人が回答しています。

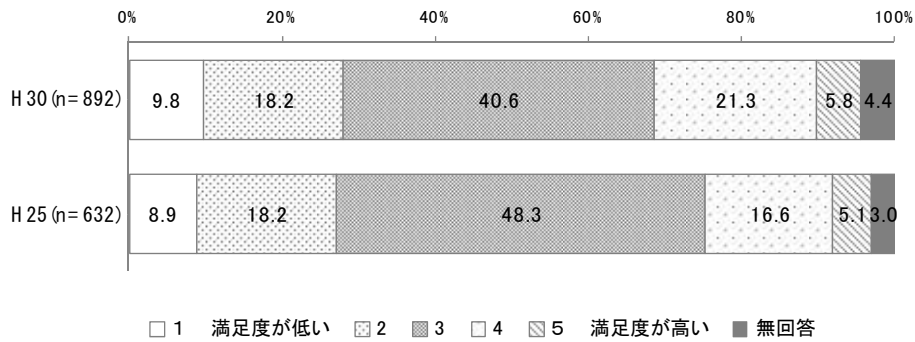
主な意見内容等は、以下のとおりです。

- 負担や不安を感じる理由としては、自分の子育てが正しいのか不安、子どもの勉強をみることが負担、少年団や部活動の送迎負担などがあげられています。
- 楽しみや喜びを感じるが多い理由としては、成長を感じると嬉しい、子どもがかわいいので楽しい、困難を乗り越えていくたびに自信をつけていく姿をみると嬉しいなどがあげられています。

問 17 地域の子育ての環境や支援の満足度 (SA)

中間の「3」が40.6%と最も多く、次いで「4」が21.3%、「2」が18.2%となっています。
 前回調査 (H25) と比較して、満足度が高くなっています。

図表 137 地域の子育ての環境や支援の満足度

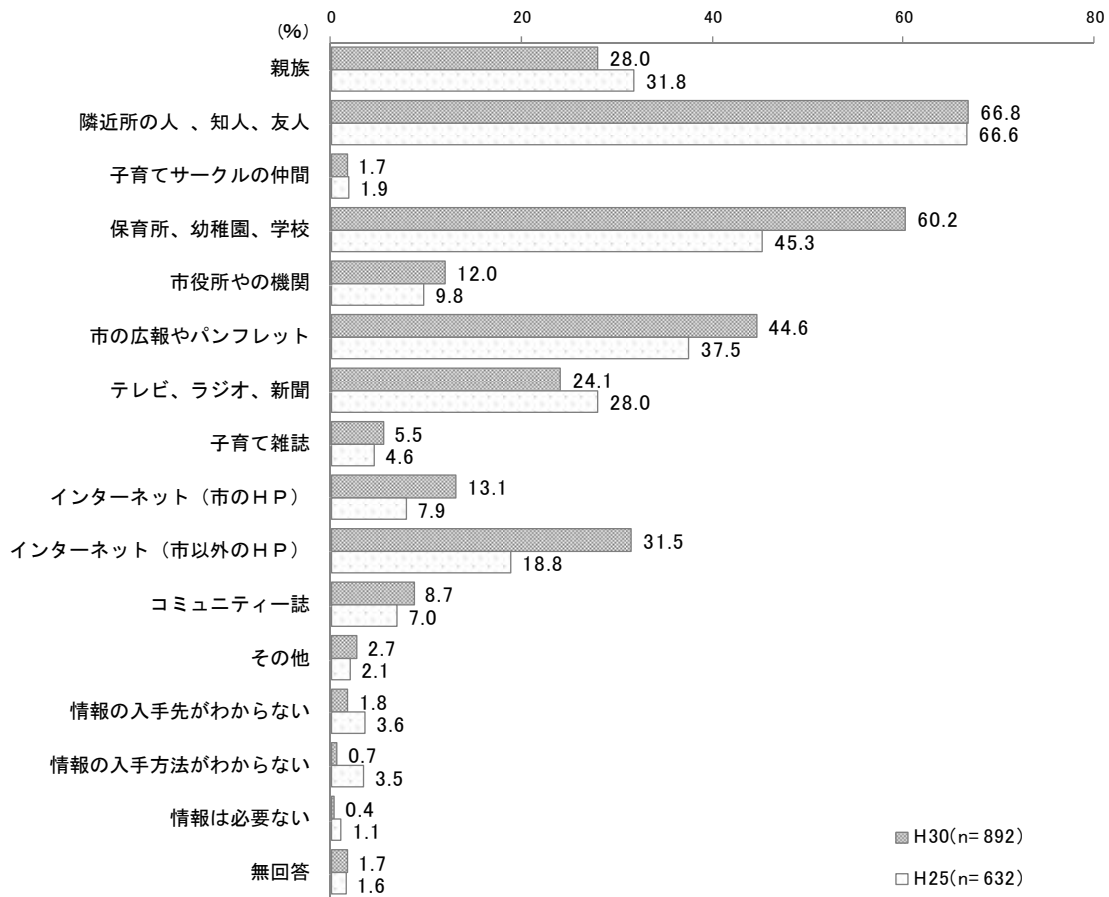


問 18 子育てに関する情報の入手先 (MA)

「隣近所の人、知人、友人」が66.8%と最も多く、次いで「保育所、幼稚園、学校」が60.2%、「市の広報やパンフレット」が44.6%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「保育所、幼稚園、学校」「インターネット (市以外の HP)」「市の広報やパンフレット」「インターネット (市の HP)」が増加しています。

図表 138 子育てに関する情報の入手先

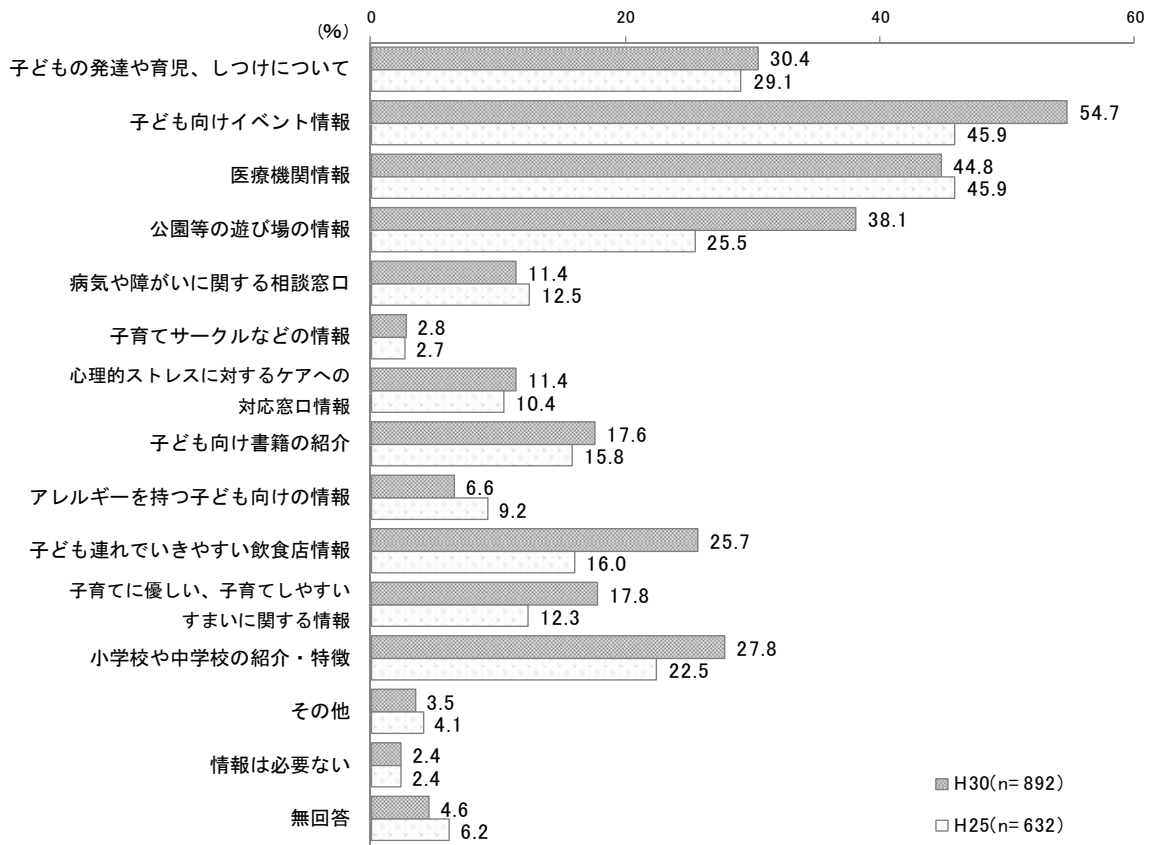


問 19 子育てに関して欲しい情報 (MA)

「子ども向けイベント情報」が54.7%と最も多く、次いで「医療機関情報」が44.8%、「公園等の遊び場の情報」が38.1%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「公園等の遊び場の情報」「子ども向けイベント情報」「子ども連れでいきやすい飲食店情報」が増加しています。

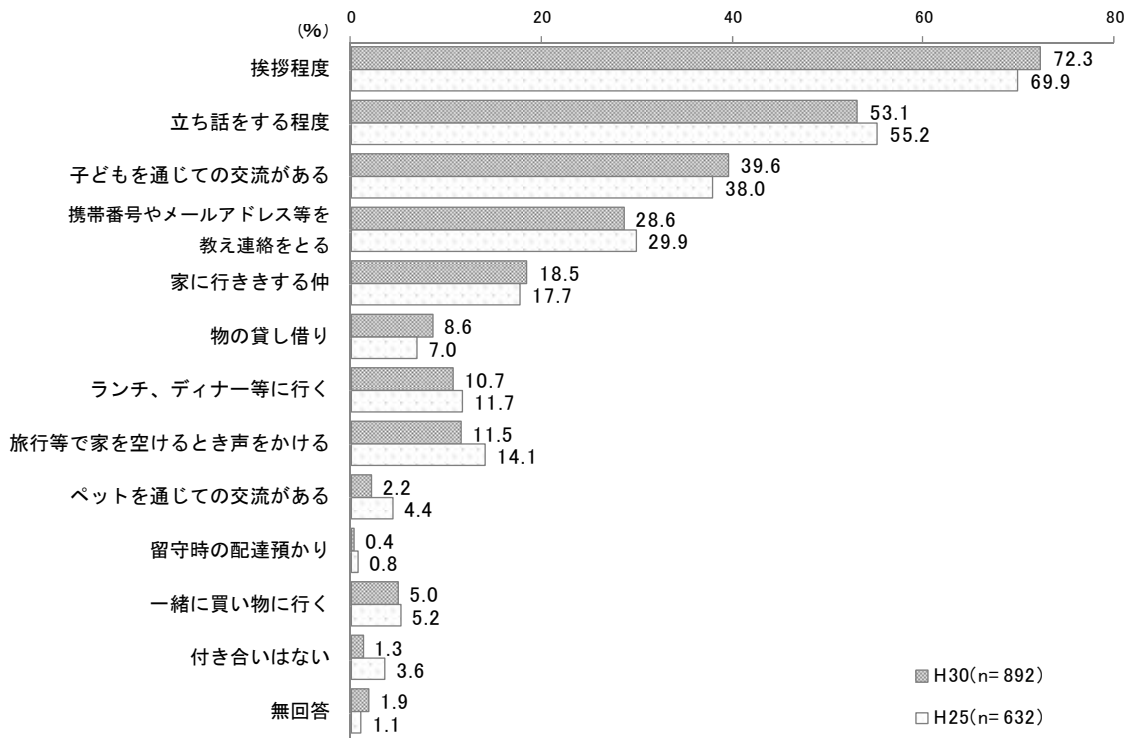
図表 139 子育てに関して欲しい情報



問 20 近所とのつきあいの程度 (MA)

「挨拶程度」が72.3%と最も多く、次いで「立ち話をする程度」が53.1%、「子どもを通じての交流がある」が39.6%となっています。

図表 140 近所とのつきあいの程度

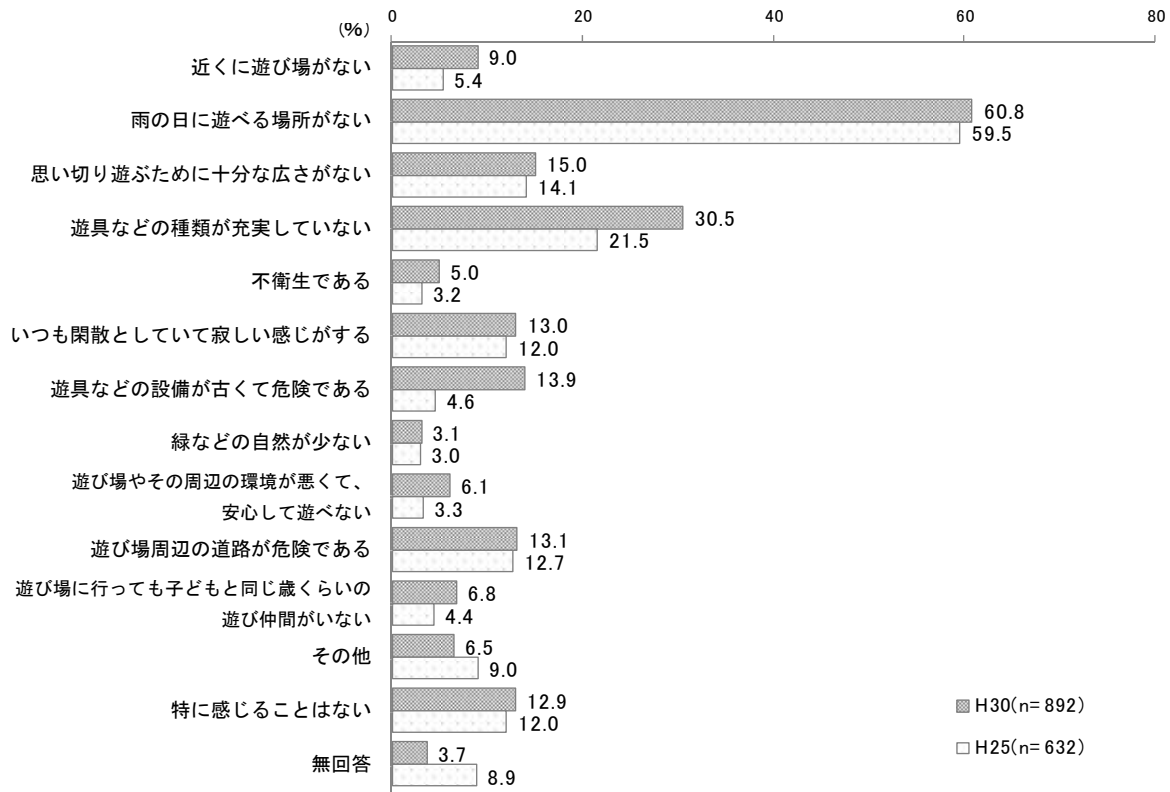


問 21 家の近くの遊び場について感じていること (MA)

「雨の日に遊べる場所がない」が60.8%と最も多く、次いで「遊具などの種類が充実していない」が30.5%、「思い切り遊ぶために十分な広さがない」が15.0%となっています。

前回調査（H25）と比較して、「遊具などの設備が古くて危険である」「遊具などの種類が充実していない」が増加しています。

図表 141 家の近くの遊び場について感じていること

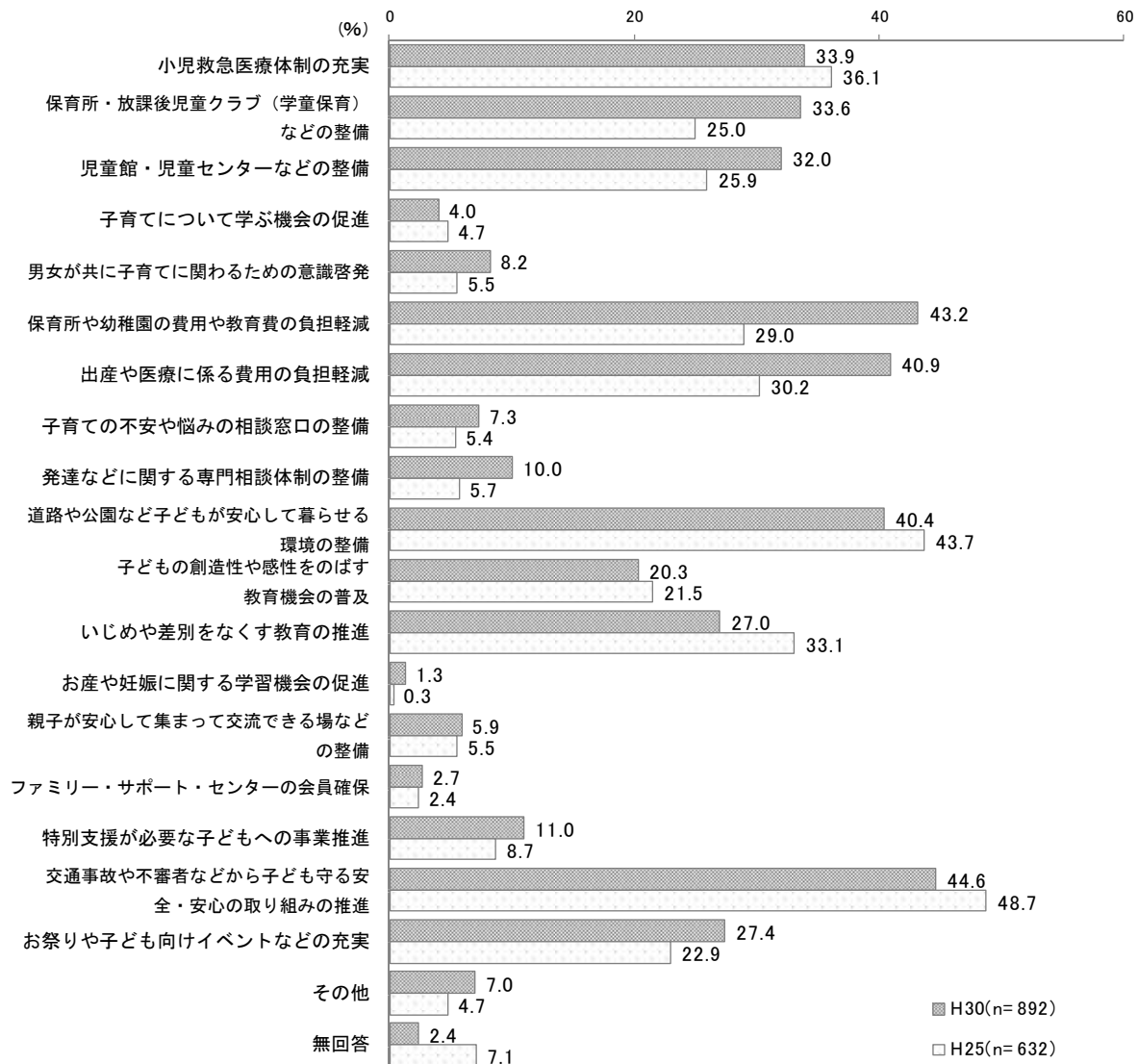


問 22 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと (MA)

「交通事故や不審者などから子どもを守る安全・安心の取り組みの推進」が44.6%と最も多く、次いで「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」が43.2%、「出産や医療に係る費用の負担軽減」が40.9%となっています。

前回調査 (H25) と比較して、「保育所や幼稚園の費用や教育費の負担軽減」「出産や医療に係る費用の負担軽減」「保育所・放課後児童クラブなどの整備」「児童館・児童センターなどの整備」が増加し、「いじめや差別をなくす教育の推進」が減少しています。

図表 142 子育てしやすいまちになるために重要だと思うこと



問 23 子育ての環境や支援に関してのご意見（FA）

子育ての環境や支援に関して、359 人から 617 件のご意見等をいただきました。
主な意見内容等は、以下のとおりです。

主な記述内容	件数
1. 医療費の無料化	108
2. 学童保育（放課後児童クラブ）の充実	93
3. 生活環境の整備（交通・遊び場）	79
4. 地域における子育て支援（経済的支援、周囲の援助・情報）	57
5. 安全等の確保、不審者・交通事故	46
6. 学校教育環境の整備（学校・幼稚園）	41
7. 職場と家庭の両立	37
8. 保育サービスの充実（延長、一時保育、預かりなど）	30
9. 健康の確保及び増進	23
10. 幼児教育・保育の無償化	13
11. その他	90
合計	617